

# 芸術の森事業部



札幌芸術の森バレエセミナー（3年ぶりの対面式）  
令和4年8月3日(水)～7日(日)

## 芸術の森事業部

### 事業体系

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次により行った。

## 事業体系

### 芸術の森事業部

管理運営事業 — 貸館事業、施設の維持管理等

#### 主催事業

- 1 音楽・舞台芸術事業
- 2 芸術の森美術館事業
- 3 工芸・工房事業
- 4 利用促進
- 5 彫刻美術館事業

## 管理運営事業

### ○各施設の利用状況

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
札幌芸術の森				
札幌芸術の森野外美術館	入館者数	61,246人	22,221人	61,451人
	利用料金収入	6,382,000円	4,786,360円	2,329,880円
札幌芸術の森美術館	入館者数	177,066人	109,390人	145,398人
工房等施設（アートホール、アトリエ、各工房、 野外ステージ）	利用料金収入	8,614,055円	10,511,114円	15,282,999円
※注）行為許可申請料を含む				
総入園者数		434,520人	271,719人	410,210人
アウトリーチ	実施数	277件	391件	338件
	参加者数	15,203人	18,455人	70,924人
※注）各工房の講習会受講者数等は総入園者数に含まれる。				
本郷新記念札幌彫刻美術館				
本館	入館者数	10,863人	7,502人	10,104人
記念館	入館者数	7,091人	4,344人	4,422人
総入館者数		17,954人	11,846人	14,526人
アウトリーチ	実施数	7件	2件	6件
	参加者数	259人	181人	128人

#### ＜＜臨時休館等＞＞

※芸術の森において、札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～5月25日は駐車場を含めた全施設を休館。令和2年5月26日～31日は駐車場、芸術の森センター、野外美術館を除いた施設の休館を継続。令和3年5月18日～6月20日、7月4日～11日、9月27日～30日は臨時休園。

※札幌彫刻美術館において、札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～5月24日、令和3年5月4日～7月11日、8月31日～9月30日は臨時休館。

※令和2年4月1日～6月30日、11月17日～令和3年2月28日、3月27日～10月14日、令和4年1月27日～10月31日における貸館利用取消に対する返金を行った。

※利用料金収入には、利用取消手数料収入を含まない。

#### ＜＜観覧料補助＞＞

※【令和2年度】芸術の森野外美術館、札幌彫刻美術館記念館において、札幌市による施設無料化月間により、令和2年8月1日～8月31日の期間で全額補助。

※【令和3年度】札幌彫刻美術館記念館において、札幌市による施設無料化キャンペーンにより、令和3年11月20日～12月19日の期間で全額補助。

※【令和4年度】札幌市による文化芸術鑑賞促進事業により、芸術の森美術館においては、「銀の匙」展（令和4年7月16日～9月11日）、「北海道の建築展」（令和4年9月23日～10月10日）、「北海道陶芸の変遷」展（令和4年10月22日～11月6日）、「野田弘志」展（令和4年11月19日～令和5年1月15日）で半額補助。野外美術館においては、令和4年7月16日～11月3日の期間で全額補助。札幌彫刻美術館においては「藤川叢三展」（令和4年6月11日～8月31日）、「上遠野徹」展（令和4年9月10日～12月11日）で半額補助。記念館は令和4年6月11日～12月11日の期間で全額補助。

## 主 催 事 業

## 音 楽 ・ 舞 台 芸 術 事 業

## 1 札幌の文化芸術発信事業

## ① サッポロ・シティ・ジャズ2022

平成19年に始まり、今年で開催16回目を迎えた国内有数のジャズフェスティバル。

夏期間は、7月にオープンエアな屋外会場など市内各所での「パークジャズライブ」と国際ジャズフェスティバルへの出場権をかけた「パークジャズライブコンテスト」を3年ぶりにライブ形式で開催し、街中にジャズを響かせた。

8月にはユース世代の交流による音楽創造事業「ユースジャムセッション」を芸術の森で開催。アメリカ・ボストンのパークリー音楽大学教授のタイガー大越を招聘し、ワークショップとノースジャムセッションでの成果発表を行った。「ノースジャムセッション」は、飲食エリアを設け従来の形に近づけて実施し、青空の下、ユースメンバーとプロミュージシャンが熱い演奏を繰り広げた。

冬期間は、市民交流プラザを会場に、hitaruでの「シアタージャズライブ」をアルコールとフードを復活し、多面舞台の機構を駆使した6日間8公演を開催。あわせて、地元ミュージシャンの演奏を無料で楽しめる「ランチタイムコンサート」や障がいを持つ方も楽しめる「ユニバーサルジャズライブ」などの普及プログラムを実施し、コアなジャズファンはもとより、幅広い年代の数多くの方々にジャズを楽しむ機会を提供した。

1年を通じ、地元団体、企業とのタイアップ事業を実施したほか、運営に関しては約100人の市民ボランティア「ジャズセーバーズ」が夏期間と冬期間に活動し、市民とともに創るジャズフェスティバルとして開催した。

期 日：通年

令和4年7月16日（土）

～令和5年1月29日（日）

主 催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会、札幌市、札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、STV札幌テレビ放送、北海道新聞社、読売新聞北海道支社、札幌駅前通まちづくり株式会社、毎日新聞北海道支社、朝日新聞北海道支社、HBC北海道放送、HTB北海道テレビ

放送、UHB北海道文化放送、TVh テレビ北海道、STVラジオ、AIR-G'エフエム北海道、FMノースウェーブ

後 援：外務省、ノルウェー大使館、オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム、北海道、北海道運輸局、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、在札幌米国総領事館、中華人民共和国駐札幌総領事館、駐札幌大韓民国総領事館、在札幌カナダ名誉領事館、一般財団法人地域創造、公益財団法人北海道文化財団、公益社団法人北海道観光振興機構、公益財団法人札幌国際プラザ、一般社団法人札幌観光協会、公益財団法人札幌市公園緑化協会、札幌商工会議所、北海道旅客鉄道株式会社、北海道カナダ協会

協 賛：株式会社太陽グループ、株式会社アミノアップ、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社、株式会社サッポロドラッグストア・ライオン株式会社、北ガスグループ、大和ハウス工業株式会社、片桐企業グループ、株式会社アングル・株式会社パワーハウスエージェンシー、全日本空輸株式会社、札幌PARCO、株式会社ブルーノート・ジャパン、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、ぴあ株式会社、株式会社札幌エネルギー供給公社、北海道エネルギー株式会社、クロスホテル札幌、株式会社ティーケーピー、株式会社エルム楽器、ルスツリゾート、石屋製菓株式会社、三浦印刷株式会社、浅海電気株式会社、札幌日信電子株式会社、株式会社札幌都市開発公社、コーチャンフォーグループ株式会社リライアブル、地崎商事株式会社、社会福祉法人札幌市社会福祉協議会、TAKEDA GROUP 武ダホールディングス株式会社、一般財団法人めまんべつ産業開発公社、一般財団法人札幌市下水道資源公社、株式会社キタデン、北電力設備工事株式会社、なりたクリニック、SKタクシーグループ、株式会社Jファーム、株式会社ほくせん、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、株式会社ニッセンレンエスコート、パール楽器製造株式会社、ワンボックスレンタカー札幌北広島インター店、札幌美容協同組合、ディーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン株式会社



協 力：株式会社玉光堂、HMV 札幌ステラプレイス、タワーレコード札幌ピヴォ店、音楽処、カワイ札幌コンサートサロン Chou Chou、紙ひこうき、サッポロファクトリー、旧永山武四郎邸、北海道教育大学岩見沢校、札幌駅総合開発株式会社、株式会社アンフル、株式会社えんれいしゃ、創価学会、一般財団法人民主音楽協会、JTB、house of jazz、有限会社ガイアデザイン、公益財団法人PMF 組織委員会、株式会社北海道救急リリース、株式会社ブライトサッポロ、株式会社オフィスエム・ツー、ジャストプランニング、くう、EL MANGO、Live & Bar after dark、Live & Dining JAMUSICA、JAMAICA、Jazz & booze Half Note、BOSSA、SLOWBOAT、JERICHO、DAY BY DAY、BUDDY BUDDY、JAZZ Bar Rondo、Kitchen & Bar 浪漫風、FAMOUS DOOR、Lazy Bird、Groovy、bar moderno、Café & bar Radio & Records、BISTRO & RHUM BAR BETTY、MALAVOI、“D-Bop” Jazz Club Sapporo、カフェ & バー マンハッタン、Jass915、Living Room、ライブ&バー ラティール、BAR Apple Lodge、炭火焼肉えん

### 【札幌観光の資源創出】

ジャズフェスティバルによりジャズの街さっぽろを国内外に発信し、新しい価値の創造や事業を通して都市のブランド力を高め、観光客の誘致につながる観光資源の創出を図った。



#### (1) シアタージャズライブ

高機能ホール「札幌文化芸術劇場 hitaru」を会場に、舞台上にステージと客席を設け、6日間で8公演を実施した。

期 日：令和4年12月2日（金）～7日（水）

会 場：札幌市民交流プラザ 札幌文化芸術劇場 hitaru

入場料：デュオ席13,000円（7,000円）、カウンター席7,000円（4,000円）、トリオ席18,000円（9,000円）、プレミアムデュオ席15,000円（9,000円）

※（ ）内は12月2日（金）オープニングセレモニーの料金

※未就学児入場不可 ※当日各500円増

入場者数：2,471人（招待者数含む）

(1) 寺久保エレナ SCJ Special 2022

期 日：12月2日（金）開場18:00、開演19:00

入場者数：297人

(2) 海野雅威 NY トリオ

期 日：12月3日（土）開場11:30、開演12:30

■ 札幌の文化芸術発信事業

- 入場者数：324人
- (3) WONK  
期 日：12月3日（土）開場18:00、開演19:00  
入場者数：336人
- (4) 古内東子  
期 日：12月4日（日）開場11:30、開演12:30  
入場者数：327人
- (5) DIMENSION  
期 日：12月4日（日）開場18:00、開演19:00  
入場者数：238人
- (6) ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ directed by エリック・ミヤシロ  
期 日：12月5日（月）開場18:00、開演19:00  
入場者数：341人
- (7) 日野皓正クインテット  
期 日：12月6日（火）開場18:00、開演19:00  
入場者数：329人
- (8) ジミーオールスターズ  
期 日：12月7日（水）開場18:00、開演19:00  
入場者数：279人

【札幌市民交流プラザを活用した普及事業】

事業部間連携事業の一環として、札幌市民交流プラザの機能を活用し、市民に広くジャズ音楽に親しんでいただくとともに、ジャズファンを増やすことを目的としたコンサートや展示会を開催した。

(1) ランチタイムコンサート

「ミュージカルとジャズ」をテーマに、市民がランチタイムに気軽に音楽を楽しむことができるコンサートを開催した。

- 期 日：令和4年12月4日（日）13:00～13:45  
会 場：札幌市民交流プラザ SCARTS コート  
主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会  
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）  
出 演：齋藤桃子、古舘賢治、按田佳央理  
入場料：無料  
入場者数：80人

(2) ユニバーサルジャズライブ

ジャズへの入り口としてどなたでも楽しむことができるジャズライブを開催した。映像と音楽のコラボレーションをテーマに、写真愛好家の浦島久が撮影した

「ジュエリーアイス」の写真をスクリーンに投影し、そのインスピレーションによる即興ジャズ演奏を披露した。初心者や障がいのある方も気軽に鑑賞できるように司会による解説を付けたほか、点字プログラムを配布するなどの工夫を行った。



- 期 日：令和4年12月3日（土）15:00～16:15  
会 場：札幌市民交流プラザ クリエイティブスタジオ  
主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会  
後 援：公益社団法人札幌市身体障害者福祉協会、公益財団法人北海道盲導犬協会、一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会

特別協賛：株式会社アミノアップ  
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

企画制作：house of jazz

- 出 演：ジュエリーアイス LOVERS  
野瀬栄進、蛇池雅人、飛澤良一、豊田健、大山淳、MIZUHO、箭原顕  
（トークゲスト）浦島久  
（MC）タック・ハーシー

入場料：前売2,000円 当日2,500円

入場者数：185人

(3) シティジャズ オフィシャルブース

シアタージャズライブの開催期間を通して、サッポロ・シティ・ジャズのオフィシャルグッズの販売を行った。

- 期 日：令和4年12月2日（金）～7日（水）  
17:00～21:30（土日10:00～21:30）  
会 場：札幌市民交流プラザ 札幌文化芸術劇場 hitaru ホワイエ  
入場者数：672人

## 芸術の森事業部

### 主催事業

#### (4) ジャズライブラリー

札幌市図書・情報館とのタイアップとして、今年のサッポロ・シティ・ジャズのテーマ『ENJOY JAZZ』をコンセプトに、ジャズの楽しさを伝える書籍を紹介した。シアタージャズライブ出演アーティストにより選書された書籍の特集や、サクソ奏者ジョン・コルトレーンの名盤レコードジャケットなどを展示した。



期 日：令和4年11月17日（木）～12月13日（火）  
9:00～21:00（土日10:00～18:00）

会 場：札幌市民交流プラザ 札幌市図書・情報館  
1階展示エリア

料 金：無料

入場者数：1,626人

#### 【企業・団体とのタイアップ事業】

商業施設でのにぎわいの創出や、北海道観光の振興などを目的としたタイアップイベントによりジャズの普及を図った。

#### (1) サッポロ・サウンド・スクエア

サッポロ・シティ・ジャズのプロモーションイベントとして、無料のジャズライブイベントを実施した。

期 日：令和4年4月27日（水）

～令和5年1月14日（土）

①16:00～16:30 ②18:00～18:30

会 場：札幌駅前通地下歩行空間  
北3条交差点広場（西）

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、札幌  
駅前通まちづくり株式会社

協 力：bon 株式会社

入場料：無料

入場者数：2,616人

(1) 令和4年4月27日（水）

Indigo Frame

入場者数：239人

(2) 令和4年5月17日（火）

①BLUE MOON STRINGS

②snack time

入場者数：524人（①205人 ②319人）

(3) 令和4年9月13日（火）

①本山禎朗 TRIO

②Summer Peach House

入場者数：496人（①265人 ②231人）

(4) 令和4年10月11日（火）

①Bossa Trio

②Abucon

入場者数：512人（①171人 ②341人）

(5) 令和4年12月22日（木）

①世界旅行音楽団 つきのさんぼ

②SAPPORO CITY JAZZ VOICES

入場者数：493人（①270人 ②223人）

(6) 令和5年1月14日（土）

札幌ジュニアジャズスクール Club SJF

入場者数：352人

#### (2) TAIYO GROUP×SAPPORO CITY JAZZ タイアップ公演「Jimmy All Stars Premium LIVE 2022」

サッポロ・シティ・ジャズスポンサーの株式会社太陽グループとのタイアップ公演として、ブラスロックバンド「ジミーオールスターズ」のライブに、ボーカル川島沙耶、クリスタルスノー・スペシャル・ストリングスを加え、オペラ、ミュージカル、ジャズ、ポップスとジャンルを越えたライブを開催した。

期 日：令和4年7月20日（水）

開場17:30 開演18:30

会 場：札幌市民交流プラザ 札幌文化芸術劇場  
hitaru

主 催：ジミーオールスターズPremium Live事務局、  
北海道新聞社、ブラスロック北海道実行委員  
会、サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、HBC北海道放  
送、UHB北海道文化放送、STV札幌テレビ  
放送、HTB北海道テレビ放送、TVhテレビ  
北海道

特別協力：AIR-G'エフエム北海道

協 賛：株式会社ホリ、株式会社すずらん商事、札幌  
ばんけい株式会社、株式会社太陽流通

特別協賛：株式会社太陽グループ

出 演：ジミーオールスターズ、川島沙耶、クリスタ

ルスノー・スペシャル・ストリングス  
(ゲストMC)喜瀬ひろし

入場料：5,000円

入場者数：778人

### (3) サッポロ・シティ・ジャズ×北ガスグループ 創成East JAZZ

再開発が急進する創成東地区において、2019年に同地区に本社を移転した北海道ガス株式会社とのタイアップにより、地域住民を対象に、同社が牽引するまちづくり事業の一環として企画。本社横に屋外のステージを設置し、2日間にわたり地元のジャズミュージシャン等が出演するジャズライブを開催した。



期 日：令和4年10月1日(土)～2日(日)

前半ステージ 開場12:00、開演13:00

後半ステージ 開場14:30、開演15:00

会 場：北海道ガス株式会社 本社敷地内特設会場  
(札幌市東区北7条東2丁目)

協 賛：北海道ガス株式会社

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

出 演：①10月1日(土) 前半ステージ

中の島小学校ジャズバンド BECON、  
北ガススペシャルバンド

②10月1日(土) 後半ステージ

HONEY BEE、須山恭一 Quartet、  
札幌ジャズアンビシャス

③10月2日(日) 前半ステージ

札幌ジュニアジャズスクール Club SJF、  
Hiro ABE Trad Jazz 4

④10月2日(日) 後半ステージ

蛇池雅人 Quartet、金澤緋彩 Project、  
Solid Sounds Jazz Orchestra

入場料：無料

入場者数：846人(①204人 ②215人 ③209人 ④218人)

### (4) SAPPORO CITY JAZZ × JAZZBAR スタンプラリー

札幌市内のジャズバー・喫茶店26店と提携し、抽選でライブのチケットが当たるスタンプラリーを開催した。

期 日：令和4年9月15日(木)～12月15日(木)

会 場：Groovy、Jass915、BOSSA、Jazz & booze  
Half Note、JAMAICA、“D-Bop”Jazz Club  
Sapporo、自家焙煎珈琲 紙ひこうき、Live  
& Bar after dark、SLOWBOAT、くう、EL  
MANGO、BUDDY BUDDY、JAZZ Bar  
Rondo、Live & Dining JAMUSICA、DAY  
BY DAY、JERICHO、Lazy Bird、Kitchen  
& Bar 浪漫風、Café & bar Radio & Records、  
FAMOUS DOOR、bar moderno、カフェ &  
バー マンハッタン、MALAVOI、BISTRO  
& RHUM BAR BETTY、ライブ & バー  
ラティール、BAR Apple Lodge

主 催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会

参加者数：30人(期間延べ人数)

### (5) Rusutsu 100 days Music Live -Season 11-

「ルスツリゾート」とのタイアップにより、ルスツリゾートを訪れるスキー客、観光客向けにサッポロ・シティ・ジャズセレクトのミュージシャンによるライブを行った。

期 日：令和4年12月18日(日)

～令和5年3月27日(月)

会 場：ルスツリゾート内 パブ「クリケット」

出 演：

12月18日(日)～20日(火) 山木将平

12月21日(水)～23日(金) 瀧村アフロキューバンジャズ

12月24日(土)～25日(日) VOICE OF BRIGHT

12月26日(月)～28日(水) SongBook Trio

12月29日(木)～30日(金) 小野健悟 Acoustic Trio

12月31日(土)～1月2日(月・祝)

Summer Peach House

1月3日(火)～5日(木) Wander Around

1月6日(金)～8日(日) FELIZ DE LA VIDA

1月9日(月・祝)～11日(水)

忍弥(NIYA)×田中K助×田村幸崇

1月12日(木)～14日(土) PAN DURO

1月15日(日)～17日(火) 高橋智美トリオ

1月18日(水)～20日(金) Receita de triângulo

## 芸術の森事業部

### 主催事業

1月21日(土)～23日(月) taUtau  
1月24日(火)～25日(水)  
BillRings DUO w/Orihara Toshikazu  
1月26日(木)～27日(金) 玉村優香 duo  
1月28日(土)～29日(日) Tomoka Trio  
1月30日(月)～31日(火) Indigo Frame  
2月1日(水)～2日(木) 花田進太郎トリオ  
2月3日(金)～5日(日) Hiro ABE Trad Jazz 4  
2月6日(月)～8日(水)  
忍弥(NIYA)×佐藤ケンゴ×田中K助  
2月9日(木) イノイタル  
2月10日(金)～12日(日) David Matthews Trio  
2月13日(月)～15日(水) Nature Rock Band  
2月16日(木)～18日(土) SOS-203  
2月19日(日)～20日(月) Latte  
2月21日(火)～23日(木・祝) 砂月トリオ  
2月24日(金)～25日(土) 吉澤早紀と優しいお友達  
2月26日(日)～28日(火) Fuente  
3月1日(水)～3日(金) Cuatro Especies  
3月4日(土)～6日(月) My&Jennie with 小夜子  
3月7日(火)～9日(木) Notes of North  
3月10日(金)～12日(日) 山木将平  
3月13日(月)～15日(水) Hikablef  
3月16日(木)～17日(金) SAYAKA's Cuban Project  
3月18日(土)～19日(日) KFC  
3月20日(月)～22日(水) LUNA  
3月23日(木)～24日(金) 蛇池トリオ  
3月25日(土) Islay 3  
3月26日(日)～27日(月) Islay 4  
主 催：加森観光株式会社  
共 催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会  
入場料：無料  
入場者数：10,000人

### (6) 札幌時計台LIVE2023×SAPPORO CITY JAZZ

開催3年目を迎える「札幌時計台 おもてなしフェア」のメインプログラムのひとつである「札幌時計台LIVE2023」のタイアップライブとして、パークジャズライブコンテストのファイナリストや、札幌を拠点に活躍するミュージシャンが出演する無料ライブを、4日間に渡り8ステージ実施した。あわせて同時動画配信も行った。

期 日：令和5年2月1日(水)  
～3日(金)、9日(木)  
①19:00～19:40 ②20:00～20:40  
会 場：札幌時計台 2Fホール  
主 催：特定非営利活動法人さっぽろ時計台の会、サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会  
協 力：テイクエーエンターテイメント株式会社  
入場料：無料(事前応募制、各回50組100人限定)  
入場者数：344人  
視聴料金：無料  
視聴回数：1,122回  
(1) 期 日：2月1日(水)  
出 演：①金澤緋彩Project  
②吉澤吉澤  
入場者数：85人  
視聴回数：243回  
(2) 期 日：2月2日(木)  
出 演：①板谷大トリビュート  
②The GUMBO CATS  
入場者数：96人  
視聴回数：254回  
(3) 期 日：2月3日(金)  
出 演：①Melange  
②古舘賢治&齊藤桃子“bluffer”  
入場者数：67人  
視聴回数：210回  
(4) 期 日：2月9日(木)  
出 演：①山木将平  
②Chaotic Trio  
入場者数：96人  
視聴回数：415回

### 【海外プロモーション】

#### ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

サッポロ・シティ・ジャズのPR及び若手ミュージシャンの活動振興を目的として、サッポロ・シティ・ジャズ2019パークジャズライブコンテストのチャンピオンバンドのMongoloid Union、2020パークジャズライブコンテストのチャンピオンバンドのRS Piano Trio、2021パークジャズライブコンテストのチャンピオンバンドの草田一駿 五重奏体系を、海外のジャズフェスティバルに派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期とした。

## 2 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業

## ② ノースジャムセッション

札幌芸術の森野外ステージを会場に、国内のトップミュージシャンとユース世代のメンバーが出演する野外ジャズフェスティバルを開催した。プログラムでは、ユースジャムセッションの成果発表としてタイガー大越ユースドリームセッションが熱いセッションを繰り広げたほか、ジャズスクール出身の石若駿、馬場智章がプロの部で出演した。

新型コロナウイルス感染症予防のため、入場定員を減らし、飲食エリアを分けて実施した。



期 日：令和4年8月28日（日）

開場12:00 開演13:00

会 場：野外ステージ

主 催：札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)、サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会、STV札幌テレビ放送

助 成：独立行政法人日本芸術文化振興会、一般財団法人地域創造

出 演：カムカム“モダン”ジャズバンド presented by 金子隆博 a.k.a. フラッシュ金子、Calmera、石若駿 & Friends featuring 馬場智章、井上銘、シンサカイノ、ermhoi with The attention please、タイガー大越ユースドリームセッション、札幌ジュニアジャズスクール（オープニングアクト）

入場料：椅子指定席4,500円、芝生席自由席一般3,500円、芝生自由席大学生以下1,000円、車いす席500円（当日車いす席以外500円増）

入場者数：1,190人

## 2 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業

## ① 第23期札幌ジュニアジャズスクール

小中学生を対象とする通年型ジャズスクールの23年目。オーディションで選考された小学生18名（SJF Junior Jazz Orchestra）、中学生19名（Club SJF）が第23期メンバーとして参加。毎週土・日を中心とした定期練習のほか、市内外でのイベントや演奏会への出演、他地域のジャズスクールとの交流など通年で活動を行った。



期 日：通年

会 場：アートホール ほか

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

協 賛：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社、株式会社エルム楽器、有限会社福岡燃料、大地みらい信用金庫、北海道エネルギー株式会社、札幌総合情報センター株式会社、名鉄観光サービス株式会社、共創技建株式会社

特別支援：株式会社ほくていホールディングス、札幌日信電子株式会社、札幌ライラックライオンズクラブ

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

参 加：小学生クラス（SJF Junior Jazz Orchestra）18人

中学生クラス（Club SJF）19人

常任講師：蛇池雅人（アルトサクソ奏者）、中嶋和哉（トランペット奏者）

受講料：1ヶ月2,500円

定期練習：令和4年4月10日（日）

～令和5年2月19日（日）合計67日間

## 芸術の森事業部

### 主催事業

演奏会等(会場／参加クラス／来場者数)：

- ・ 4月9日(土) 開講式・オリエンテーション(アートホール／小・中学生)
- ・ 4月30日(土) エルム楽器リペアクリニック(アートホール／小・中学生)
- ・ 5月4日(水・祝) 砂川ワークセッション(砂川市地域交流センターゆう／中学生、砂川キッズジャズスクール)
- ・ 6月14日(火) 北海道神宮例祭(北海道神宮 土俵舞台／中学生／445人)
- ・ 6月19日(日) ルスツワークセッション(ルスツリゾート ホテル&コンベンション／小学生、Mt.ようてい・ジュニア・ジャズスクール／71人(成果発表ミニライブ))
- ・ 7月10日(日) サッポロ・シティ・ジャズ2022 キックオフライブ(さっぽろ地下街オーロラプラザ／中学生／210人)
- ・ 7月16日(土) パークジャズライブ(大通公園2丁目特設ステージ／小・中学生／543人)
- ・ 7月29日(金) 第36回全国仏教保育北海道大会(ロイトン札幌／中学生／230人)
- ・ 7月31日(日) 札幌市制100周年記念式典 NEXT 100 YEARS KICK OFF FES.(札幌文化芸術劇場 hitaru／中学生／1,617人)
- ・ 8月7日(日) 大ほっかいどう祭(札幌ドーム／小学生／11,679人)
- ・ 8月19日(金)、20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日) ユースジャムセッション(アートホール／中学生)
- ・ 8月24日(水) タイガー大越特別ワークショップ(アートホール／中学生)
- ・ 8月28日(日) ノースジャムセッション(野外ステージ／小・中学生／1,190人)
- ・ 9月17日(土) ルスツうまいもんまつり(ルスツリゾート／小学生／1,516人)
- ・ 9月23日(金・祝)～24日(土)「北海道ジャズの種プロジェクト」合同合宿 in 砂川(砂川市地域交流センターゆう、北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル砂川／小・中学生)
- ・ 9月25日(日) 市立清田高校吹奏楽局定期演奏会(カナモトホール／中学生／808人)
- ・ 10月2日(日) サッポロ・シティ・ジャズ×北ガスグループ 創成 East JAZZ(北海道ガス株式会社 本社敷地内特設会場／中学生／209人)
- ・ 10月16日(日) ハロウィンライブ(アートホール／小・中学生／221人)
- ・ 11月3日(木・祝) 旭山公園通地区センター ふれあいフェスティバル(旭山公園通地区センター／小学生／163人)
- ・ 11月12日(土) ともだちコンサート in SAPPORO 合同ワークショップ(アートホール アリーナ／小・中学生)
- ・ 11月13日(日) ともだちコンサート in SAPPORO ※第23期札幌ジュニアジャズスクール定期演奏会をあわせて開催(アートホール アリーナ／小・中学生／387人)
- ・ 12月18日(日) 道エネぬくもりクリスマスコンサート(アートホール／小・中学生／217人)
- ・ 1月14日(土) サッポロ・サウンド・スクエア(札幌駅前通地下歩行空間北3条交差点広場(西)／中学生／352人)
- ・ 1月21日(土) ありがとうライブ(アートホール／小学生／36人)
- ・ 2月8日(水) 在日米陸軍軍楽隊 交流ワークショップ(アートホール／小・中学生)
- ・ 2月24日(金) インプロバースン合同リハーサル(アートホール／小・中学生)
- ・ 2月25日(土) ライラックチャリティ MUSIC LAMP Vol.12(札幌コンサートホール Kitara 大ホール／小・中学生／631人)
- ・ 2月26日(日) 第23期札幌ジュニアジャズスクール ファイナルライブ(札幌コンサートホール Kitara 大ホール／小・中学生／502人)
- ・ 3月4日(土) 修了式(アートホール／小・中学生)

### 【ジャズの種プロジェクト】

「ジュニアジャズで街を元気に！」を合言葉に、札幌ジュニアジャズスクールの活動をモデルに、道内の市町村にジャズスクールを創設し、活動を支援するプロジェクト。砂川、幕別、羊蹄、広尾の4地域と合宿や合同演奏会を3年ぶりに行い、1年を通じて各地それぞれにスクール活動を行った。合同演奏会「ともだちコンサート」は札幌芸術の森アートホールを会場として開催し、盛況となった。

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

#### (1) 砂川キッズジャズスクール(砂川市)

期 日：通年

会 場：砂川市地域交流センターゆう

主 催：砂川市地域交流センターゆう(NPO法人ゆう)

## ② 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業

協 力：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

常任講師：菅原昇司、砂川プラススタイル（多比良和伸、多比良千晶ほか）

参 加：砂川市内及び近郊の小・中学生13人

定期練習：令和4年4月9日（土）

～令和5年3月25日（土）23回

演奏会等（会場／来場者数）：

- ・ 5月4日（水・祝）札幌ジュニアジャズスクール中学生クラス合同ワークショップ＆ミニライブ（砂川市地域交流センターゆう／40人）
- ・ 5月8日（日） FELIZ DE LA VIDA 特別ワークショップ＆ウェルカムロビーコンサート（砂川市地域交流センターゆう／50人）
- ・ 7月16日（土）パークジャズライブ（大通公園2丁目特設ステージ／190人）
- ・ 8月5日（金）第26回ラブ・リバー砂川夏まつり（砂川市オアシスパーク特設会場／3,000人）
- ・ 9月18日（日）なかそらち大収穫祭（砂川ハイウェイオアシス館ふるさと活性化プラザ／1,000人）
- ・ 9月23日（金・祝）～24日（土）「北海道ジャズの種プロジェクト」合同合宿 in 砂川（砂川市地域交流センターゆう、北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川）
- ・ 10月15日（土）第53回砂川市民文化祭（砂川市地域交流センターゆう／900人）
- ・ 11月12日（土）ともだちコンサート in SAPPORO 合同ワークショップ（アートホール アリーナほか）
- ・ 11月13日（日）ともだちコンサート in SAPPORO（アートホールアリーナ／387人）
- ・ 2月5日（土）砂ブラ大演会～いつも何度でも～（砂川市地域交流センターゆう／450人）
- ・ 2月19日（日）こどもならいごとフェスティバル2023（砂川市地域交流センターゆう）
- ・ 3月19日（日）KIDS JAZZ TIME SEASON 4（砂川市地域交流センターゆう／100人）

## （2）まくべつジュニア・ジャズスクール （幕別町）

期 日：通年

会 場：幕別町百年記念ホール

主 催：NPO まくべつ町民芸術劇場

協 力：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

常任講師：佐々木源市

参 加：幕別町内及び近郊の小・中学生12人

定期練習：令和4年4月9日（土）

～令和5年3月18日（土）27回

演奏会等（会場／来場者数）：

- ・ 4月10日（日）MJSライブ in マクラショーケース & 募集説明会（幕別町百年記念ホール／30人）
- ・ 4月23日（土）MJSクライマックスライブ2022（幕別町百年記念ホール／0人※無観客ライブのため）
- ・ 5月3日（火・祝）こどもの日企画！百年記念ゆめホール探検（幕別町百年記念ホール／50人）
- ・ 5月21日（土）デビッド・マシューズカルテット特別ワークショップ（幕別町百年記念ホール）
- ・ 7月16日（土）パークジャズライブ（大通公園2丁目特設ステージ／150人）
- ・ 8月6日（土）まくまくサマー2022（幕別町百年記念ホール前広場／200人）
- ・ 8月15日（月）サマーフェスティバル2022～おびひろ音楽祭～おびひろ未来JAZZ～ジャズDay～（帯広市多目的広場（夢の北広場）／250人）
- ・ 9月17日（土）藤丸でお買物をしようコンサート（藤丸百貨店正面玄関前ロビー／80人）
- ・ 9月23日（金・祝）～24日（土）「北海道ジャズの種プロジェクト」合同合宿 in 砂川（砂川市地域交流センターゆう、北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川）
- ・ 10月16日（日）スクオーラフェスティバル2022（とちプラザアトリウム／50人）
- ・ 11月12日（土）ともだちコンサート in SAPPORO 合同ワークショップ（アートホールアリーナほか）
- ・ 11月13日（日）ともだちコンサート in SAPPORO（アートホールアリーナ／387人）
- ・ 12月18日（日）クリスマスフェスタ2022（ホテル日航ノースランド帯広ノースランドホール／230人）
- ・ 1月8日（日）ありがとう藤丸ライブ（藤丸百貨店／120人）
- ・ 1月15日（日）新春ジャズフェスティバル in とちプラザ（とちプラザ／100人）
- ・ 3月5日（日）MJSクライマックスライブ2023・MJSメンバー募集説明会（幕別町百年記念ホール／70人）

## （3）Mt.ようてい・ジュニア・ジャズスクール （羊蹄山麓町村）

期 日：通年

会 場：ニセコ環境ほか

運 営：Mt.ようてい・ジュニア・ジャズスクール運

## 芸術の森事業部

### 主催事業

営委員会

協 力：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

常任講師：青砥義隆、時田正浩、深澤正之

参 加：羊蹄エリア4町村の小・中・高生17人

定期練習：令和4年4月24日（日）

～令和5年3月19日（日）26回

演奏会等（会場／来場者数）：

- ・6月19日（日）ルスツワークセッション（ルスツリゾート ホテル&コンベンション／71人）
- ・7月17日（日）パークジャズライブ（大通公園2丁目特設ステージ／51人）
- ・7月31日（日）北央コミュニティ協議会夏祭り（倶知安町北地域会館／42人）
- ・8月7日（日）くっちゃんじゃが祭り（倶知安町くとさんパーク／500人）
- ・8月11日（木・祝）倶知安町交通安全イベント「わくわくパーキング」（倶知安町役場駐車場／100人）
- ・8月14日（日）北海道JAZZ in 小樽 JAZZ 2022（おたるマリン広場／100人）
- ・8月20日（土）ひらふ祭り（サンスポーツランドくっちゃん／200人）
- ・9月4日（日）ニセコグラベルフェスティバル2022（ニセコアンヌプリ国際スキー場 第1駐車場／200人）
- ・9月9日（金）東小学校地域教育研究会 みんなの教室（倶知安東小学校）
- ・9月18日（日）ニセコオータムフェスティバル2022（グランヒラフスキー場 第3駐車場／100人）
- ・9月19日（月・祝）ルスツうまいもん祭り（ルスツリゾート／451人）
- ・9月23日（金・祝）～24日（土）「北海道ジャズの種プロジェクト」合同合宿 in 砂川（砂川市地域交流センターゆう、北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル砂川）
- ・11月12日（土）ともだちコンサート in SAPPORO 合同ワークショップ（アートホールアリーナほか）
- ・11月13日（日）ともだちコンサート in SAPPORO（アートホールアリーナ／387人）
- ・11月20日（日）くっこま Mix 音楽会（倶知安町公民館大ホール／250人）
- ・3月26日（日）ファイナルライブ（倶知安町公民館／200人）

## （4）広尾サンタランド・ジャズスクール

（広尾町）

期 日：通年

会 場：広尾コミュニティセンター、旧広尾町立広尾小学校ほか

主 催：広尾サンタランド・ジャズスクール事務局

協 力：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

常任講師：小野健悟、清水もところ

参 加：広尾町及び近郊の小・中学生11人

定期練習：令和4年4月9日（土）

～令和5年3月18日（土）28回

演奏会等（会場／来場者数）：

- ・7月17日（日）パークジャズライブ（大通公園2丁目特設ステージ／48名）
- ・8月7日（日）大樹町歴舟川清流まつり（歴舟川大樹橋上流河川敷／50人）
- ・9月18日（日）ピロロフェス（菊池ファーム／100人）
- ・9月23日（金・祝）～24日（土）「北海道ジャズの種プロジェクト」合同合宿 in 砂川（砂川市地域交流センターゆう、北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル砂川）
- ・10月22日（土）ひろおサンタランド点灯式（広尾町コミュニティセンター／200人）
- ・11月12日（土）ともだちコンサート in SAPPORO 合同ワークショップ（アートホールアリーナほか）
- ・11月13日（日）ともだちコンサート in SAPPORO（アートホールアリーナ／387人）
- ・11月20日（日）広尾文化祭芸能部門（広尾町児童福祉会館／100人）
- ・2月11日（土・祝）第2回広尾合宿（広尾町青少年研修センター）
- ・3月19日（日）令和4年度定期演奏会・演奏体験会（広尾町児童福祉会館／50人）

## 【国際交流事業】

## 国際ユースジャズキャンプ

ノルウェーのキッズジャズスクール「インプロバースン」を札幌へ招聘し、札幌ジュニアジャズスクールや地元小学校ジャズバンドとの演奏会での共演や交流会など、音楽を通じた国際交流を行った。



期 日：令和5年2月24日（金）～26日（日）

会 場：アートホール アリーナ、  
札幌コンサートホールKitara 大ホール

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

助 成：一般財団法人地域創造

参 加：インプロバースン、札幌ジュニアジャズスクール、中の島小学校ジャズバンド BECON、福住北野平合同バンド、SIT Band - 札幌国際情報高校吹奏楽部

演奏会等：

2月24日（金）

ライラックチャリティ MUSIC LAMP Vol.12、  
第23期札幌ジュニアジャズスクールファイナルラ  
イブリハーサル（アートホール 大練習室）

2月25日（土）

ライラックチャリティ MUSIC LAMP Vol.12、  
交流ワークショップ、Jass915ライブ（札幌コン  
サートホールKitara 大ホール、Jass915）

2月26日（日）

第23期札幌ジュニアジャズスクールファイナルラ  
イブ（札幌コンサートホールKitara 大ホール）

## ②札幌芸術の森バレエセミナー2022

1988年（昭和63年）から実施し、本年度で32回目の開催となる。元東京バレエ団プリンシパルの高岸直樹を主任講師とし、国内外で活躍する講師陣を招き、新型コロナウイルス対策を徹底した上で、3年ぶりとなるバレエセミナーを5日間に渡り開催した。



期 日：令和4年8月3日（水）～7日（日）

会 場：アートホール アリーナ、大練習室、中練習  
室

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

協 力：名鉄観光サービス株式会社札幌支店

後 援：札幌市

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂  
等機能強化推進事業）

講 師：高岸直樹（東京バレエ団 元プリンシパル）、  
加治屋百合子（ヒューストン・バレエ プリ  
ンシパル）、川島麻実子（東京バレエ団 元プ  
リンシパル）、森優貴（振付家/ダンサー）、  
宮内真理子（GYROKINESIS® 認定マスタ  
ートレーナー）

クラス：

## 【基本レッスン】

上級（経験6年以上、高校生以上）

中級シニア（経験6年以上、中学2年生以上）

中級ジュニア（バレエ経験4年以上、小学6年生以上）

初級（バレエ経験1年以上、小学3年生以上）

## 【選択レッスン】

コンテンポラリー・ダンス

ジャイロキネシス®

アドバイスタイム

受講者数：92人（上級13人 中級シニア18人 中級ジュ  
ニア31人 初級30人）

見学者数：308人

## 芸術の森事業部

### 主催事業

#### ③ユースジャムセッション

ユース世代の交流とジャズセッションによる音楽創造事業の3年目。最終年の今年、夏に芸術監督としてパークリー音楽大学教授のタイガー大越を招聘し、市内外から集ったユース世代のメンバーとジャズコーラスによるタイガー大越ユースドリームセッションを結成。4日間にわたるワークショップを行い、札幌芸術の森野外ステージでのノースジャムセッションで若々しい演奏を披露した。

期間中にタイガー大越による市内外でのアウトリーチを実施したほか、ジャズコーラスは通年でワークショップを行った。

冬にはユースメンバーとジャズコーラスが札幌ジャズアンビシャス定期演奏会で共演し、3年間のプロジェクトの成果を発表した。

**主 催：**札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)、サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会

**助 成：**文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)、一般財団法人地域創造

#### 【ジャズコーラスワークショップ】

10代から20代のユース世代を対象とし、ジャズコーラスのワークショップを実施した。ヴォイストレーナー 箭原顕の指導のもと、SAPPORO CITY JAZZ VOICESを結成し、ユースジャムセッションのほか、サッポロ・シティ・ジャズの様々なイベントでジャズコーラスの魅力を伝えた。



**期 日：**5月～12月

**会 場：**アートホールほか

**参 加：**7名

**講 師：**箭原顕 (house of jazz 代表・ヴォイストレーナー)

**受講料：**1ヶ月1,000円

**練 習：**5月14日(土)～1月27日(金) 合計16日間  
**演奏会等(会場/来場者数)：**

・7月16日(土) パークジャズライブ(大通公園2丁

目特設ステージ/186人)

- ・8月20日(土)、21日(日)、27日(土) ユースジャムセッションワークショップ(芸術の森センターレクチャー室、アートホール 中練習室)
- ・8月28日(日) ノースジャムセッション(野外ステージ/1,190人)
- ・12月22日(木) サッポロ・サウンド・スクエア(札幌駅前地下歩行空間北3条交差点広場(西)/223人)
- ・1月28日(土)、29日(日) ユースジャムセッション札幌ジャズアンビシャス第6回定期演奏会(札幌コンサートホール Kitara/740人)

#### 【タイガー大越ユースドリームセッションワークショップ】

芸術監督にタイガー大越、講師に田中充、橋爪亮督を迎え、札幌ジュニアジャズスクールと一般公募によるユースメンバーが参加し、4日間にわたる交流ワークショップを札幌芸術の森で行った。また、ヴォイストレーナーの箭原顕のもと、SAPPORO CITY JAZZ VOICESのワークショップを行い、総勢41名がタイガー大越ユースドリームセッションのメンバーとして、野外ステージにて成果発表を行った。タイガー大越による特別講義では、札幌ジュニアジャズスクール卒業生の石若駿、馬場智章等がゲストとして参加、交流を行った。また、受講生の中から2名(藤野桐士、村越葵)を「パークリーアワード」として選考し、パークリー音楽大学の翌年の夏期セミナーに受講料免除で参加できる権利を授与した。



**期 日：**令和4年8月19日(金)～21日(日)、27日(土)  
10:00～16:40 ※19日のみ14:30～20:00

※成果発表 28日(日)

**会 場：**アートホール ほか

**芸術監督：**タイガー大越

**講 師：**田中充、橋爪亮督

② 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業

サポートメンバー：

菅原昇司、小野健悟、柳真也、瀧村正樹  
(札幌ジャズアンビシャス)

特別講義ゲスト：石若駿、馬場智章、佐々木梨子  
参加：41人

【ユースジャムセッション アウトリーチ】

芸術監督タイガー大越から直接指導を受けられる機会として、特別ワークショップを開催。札幌市内外でジャズを学ぶ中学・高校生を対象として3団体を訪問し交流を行った。



期 日：令和4年8月23日（火）～25日（木）

会 場：(1) 8月23日（火）17:00～18:30  
市立札幌清田高等学校  
(2) 8月24日（水）18:00～19:30  
アートホール 中練習室  
(3) 8月25日（木）16:00～18:00  
室蘭市立翔陽中学校

参 加：(1) 市立札幌清田高校吹奏楽局  
(2) 札幌ジュニアジャズスクール Club SJF  
(3) 室蘭市立翔陽中学校ジャズバンド部

参加者数：58人

【ユースジャムセッション成果発表会】

ユースジャムセッションの交流ワークショップの成果発表をユースジャムセッションのプログラムのひとつとして開催した。



期 日：令和4年8月28日（日）

- (1) ユースドリームセッションAグループ  
(田中クラス) 13:25～13:45
- (2) ユースドリームセッションBグループ  
(橋爪クラス) 13:50～14:10
- (3) ユースドリームセッションCグループ  
(タイガー大越クラス) 14:15～14:25
- (4) タイガー大越ユースドリームセッション  
14:30～14:40

会 場：野外ステージ

出 演：ユースドリームセッションA・B・Cグループ  
タイガー大越ユースドリームセッション

参加者数：41人

入場料：椅子指定席4,500円、芝生自由席一般3,500円、芝生自由席大学生以下1,000円、車いす席500円（当日車いす席以外500円増）

入場者数：1,190人

### 3 芸術文化を通じた市民活動の促進

#### ①パークジャズライブ

##### 【パークジャズライブ】

プロ・アマ問わずミュージシャンに広く発表の機会を与え、音楽による市民活動の促進と市民文化の醸成を目的に全国から出演者を募集し、市内10会場で無料ライブを2日間にわたり開催した。新型コロナウイルス感染症の影響によりWEB開催が続いていたが、3年ぶりにライブ形式で開催した。



**期 日：**令和4年7月16日（土）～17日（日）  
**会 場：**大通公園2丁目、札幌市役所1階ロビー、札幌駅前通地下歩行空間北3条交差点広場（西）、札幌駅南口駅前広場（サツエキテラス）、STV ホール、カワイ札幌コンサートサロン Chou Chou、札幌PARCO 屋上  
＜創成 East 会場＞紙ひこうき、旧永山武四郎邸、サッポロファクトリーアトリウム  
**主 催：**サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会、札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、STV 札幌テレビ放送  
**助 成：**文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）  
**出 演：**204組  
**入場者数：**21,429人（16日11,951人 17日9,478人）

##### 【パークジャズライブコンテスト】

パークジャズライブ参加者の中から事前の音源審査を通過した10組によるコンテストを3年ぶりにライブ形式で実施した。最優秀賞には、札幌ジュニアジャズスクールOBであり、北海道グループキャンプ2010にてバークリー賞を受賞している佐藤敬幸をメンバーに含む Don Kururi が選ばれ、国際ジャズフェスティバルに出演できる権利が授与された。

**期 日：**令和4年7月18日（月・祝）

**会 場：**アートホール アリーナ  
**協 賛：**富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社  
**助 成：**文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）  
**出 演：**MKG（東京都）、sqidoo（東京都）、Melange（北海道）、銀ノ揺らぎ（北海道）、Don Kururi（神奈川県）、Abucon（北海道）、Wander Around（北海道）、K's relations（北海道）、Frienvals（埼玉県）、Chaotic Trio（北海道）  
**司会：**タック・ハーシー  
**優 勝：**Don Kururi  
**入場者数：**323人

##### 【ジャズセーバーズ】

サッポロ・シティ・ジャズを支える市民ボランティア「ジャズセーバーズ」を公募により組織し、ノースジャムセッションやシアタージャズライブなどイベントの運営に携わった。

**期 日：**令和4年7月14日（木）  
～令和5年2月9日（木）  
**主 催：**札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会  
**助 成：**文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）  
**登録人数：**171人  
**活動人数：**472人（期間延べ人数）



#### （1）ジャズセーバーズ2022 活動説明会

ジャズセーバーズの活動説明会を、夏と冬それぞれの会期前に、運営ボランティア・撮影ボランティアを対象に接遇や撮影研修を内容として行った。

新型コロナウイルス対策として、対面での研修とあわせ、動画視聴による研修を実施した。

## 3 芸術文化を通じた市民活動の促進

## (1) 運営・撮影ボランティア研修会（夏）

期 日：令和4年6月18日（土）、19日（日）

（撮影）10:30～12:00 （運営）14:00～16:00

会 場：札幌市教育文化会館 研修室403

講 師：（撮影）相坂紀子（株式会社マークスタジオ）

（運営）青山夕香（株式会社青山プロダクション）

参加者数：（撮影）16人 （運営）55人

動画視聴回数：（撮影）55回 （運営）240回

## (2) 運営ボランティア活動説明会（冬）

期 日：令和4年11月12日（土）、13日（日）

①10:00～11:30 ②18:00～19:30

会 場：札幌市民交流プラザ 控室403、404、札幌文化芸術劇場 hitaru

参加者数：48人

動画視聴回数：394回

## ②芸森アートマーケット

札幌芸術の森の園内を会場に、市民アーティストの相互交流や発表の機会の創出を目的に、様々なジャンルの手作りアート作品によるアートマーケットを開催した。

期 日：令和4年5月29日（日）～11月19日（土）

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

協 力：株式会社エル・ワーク

出店料：手持ち出店2,000円、車出店3,500円、飲食出店4,000円



## (1) 第1回

期 日：令和4年5月29日（日）11:00～16:00

会 場：工芸館前広場、センター前広場

天 候：曇りのち晴れ（16℃）

出店数：43件（車出店38件、飲食出店5件）

入場者数：273人

## (2) 第2回

期 日：令和4年7月24日（日）11:00～16:00

会 場：工芸館前広場、美術館前芝生

天 候：曇り（23℃）

出店数：49件（車出店21件、手持ち出店24件、飲食出店4件）

入場者数：428人

## (3) 第3回

期 日：令和4年9月11日（日）11:00～16:00

会 場：工芸館前広場、美術館前芝生

天 候：晴れ（25℃）

出店数：55件（車出店30件、手持ち出店23件、飲食出店2件）

入場者数：277人

## (4) 第4回

期 日：令和4年10月16日（日）11:00～16:00

会 場：アートホール アリーナ

天 候：晴れ（20℃）

出店数：40件（手持ち出店39件、飲食出店1件）

入場者数：190人

## (5) 第5回

期 日：令和4年11月19日（土）11:00～16:00

会 場：アートホール アリーナ

天 候：曇り（6℃）

出店数：46件（手持ち出店43件、飲食出店3件）

入場者数：155人

## 芸術の森事業部

### 主催事業

#### 4 質の高い文化芸術の創造・提供

##### ①ビッグバンドプロジェクト

世界的ジャズピアニスト、デビッド・マッシュューズを音楽監督に迎え、地元ミュージシャンで編成するビッグバンド「札幌ジャズアンビシャス」によるプロジェクト。年間を通じて定期練習を実施し、1月には札幌コンサートホールKitaraにて定期演奏会を行った。

##### 【ユースジャムセッション札幌ジャズアンビシャス第6回定期演奏会】

札幌ジャズアンビシャス単独での演奏に加え、3年間実施したユースジャムセッションの成果発表として、中高生のユースメンバーとのセッションや、ジャズコース SAPPORO CITY JAZZ VOICES との共演を行い、世代を超えたステージを繰り広げた。



期 日：令和5年1月28日（土）～29日（日）

① 1月28日（土）開演18:30

② 1月29日（日）開演13:30

会 場：札幌コンサートホールKitara 小ホール

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会

後 援：札幌市

制作協力：株式会社オフィスエム・ツー

協 賛：三響楽器株式会社、北海道エネルギー株式会社

協 力：株式会社はるやまチェーン

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）、一般財団法人地域創造

出 演：デビッド・マッシュューズ

札幌ジャズアンビシャス

奥野義典、蛇池雅人、小野健悟、菅原良太、横山ユウキ、板橋夏美、河合修吾、早川隆人、菅原昇司、阿部裕一、中嶋和哉、中島翔、山口雄大、金澤緋彩、花田進太郎、

瀧村正樹、柳真也、館山健二

ユースメンバー

東海林奏美、松村心優、北原桜樹、村越蓮、安達帆香、船越倅明

SAPPORO CITY JAZZ VOICES

（司会）喜瀬ひろし

入場料：前売一般2,500円、高校・大学生・障がい者2,000円、小・中学生1,500円

入場者数：740人（①373人 ②367人）

##### 【定期練習】

期 日：令和4年6月24日（金）、7月22日（金）、9月15日（木）、10月28日（金）、11月23日（水・祝）、12月24日（土）、令和5年1月6日（金）、2月10日（金）

会 場：アートホール ほか

参 加：札幌ジャズアンビシャス

## 5 各種団体との連携による文化芸術の振興

## 5 各種団体との連携による文化芸術の振興

## ①各種団体共催・施設利用促進事業

## 【OTO TO TABI presents「しゃけ音楽会2022」】

初夏の野外ステージを会場に、OTO TO TABI presents「しゃけ音楽会2022」を開催した。

期 日：令和4年6月11日（土）、12日（日）

開場10:30 開演11:30

会 場：野外ステージ

主 催：おととたび

協 力：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、びあ株式会社

後 援：札幌市、AIR-G'エフエム北海道、FMノースウェーブ

出 演：①6月11日（土）

水曜日のカンパネラ、青葉市子、小原綾斗と  
フランチャイズオーナー、NOT WONK、  
長岡亮介、サニーデイ・サービス

②6月12日（日）

どんぐりず、Shin Sakiura、長谷川白紙、  
スカート、chikyunokiki、フルカワミキ  
ユザン×ナカコー、ZAZEN BOYS

入場料：前売8,000円、当日9,000円、2日間通し券  
15,000円

入場者数：1,238人（①637人 ②601人）

## 【あめいず村 in 札幌芸術の森】

マンガやアニメのキャラクターの衣装を着用し撮影を行って楽しむ、若年層に人気のコスプレイベントのフォトスポットとして、野外美術館や野外ステージなどで撮影会を開催した。

期 日：令和4年9月11日（日）10:00～18:00

会 場：野外美術館、野外ステージ、アートホールほか

主 催：一般社団法人新文化経済振興機構、あめいず村実行委員会

共 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

入場料：2,000円

※野外美術館は札幌市文化芸術鑑賞促進事業  
対象期間にて入館無料

入場者数：144人

## 【BIG SOUL vol.12】

若年層を中心としたヒップホップ系のストリートダンスの発表会を、札幌を拠点に活動するSOUL WAVE street dance studio（合同会社SWELL）との共催で

開催した。

期 日：令和4年10月23日（日）

（第1部）開場13:00 開演13:30

（第2部）開場17:00 開演17:30

会 場：アートホール 大練習室

主 催：合同会社SWELL

共 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

参加料：2,500円

参加者数：495人



芸術の森美術館事業

1 展覧会事業

①PIXARのひみつ展

新規

ピクサー・アニメーション・スタジオと、世界最大の科学センターの一つ、ボストンサイエンスミュージアムが共同開発した展覧会。ピクサー・アニメーションの制作の舞台裏に初めて迫り、アニメーション制作のカギとなる8つの工程について、体験展示を通して分かり易く解説した。



出品点数：54点

期 日：令和4年4月19日（火）～6月28日（火）  
70日間

会 場：札幌芸術の森美術館

主 催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）、  
札幌テレビ放送株式会社

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、STVラジオ  
企画・製作：ドリームスタジオ

特別協力：ウォルト・ディズニー・ジャパン

入場料：一般・大学生1,500円、中学・高校生1,300円、  
小学生900円

※札幌会場オリジナル自由帳2冊付き入場チ  
ケットも併せて販売

一般・大学生2,400円、中学・高校生2,200  
円、小学生1,800円

入場者数：67,908人

関連記事：『美術館博物館表』朝日新聞マリオン面2022  
年4月19日夕刊、『アイエム [インターネット  
ミュージアム]』2022年4月（WEB）、『ふ  
りっばー5月号』「施設別のイベント」総合  
商研2022年4月26日発行、『美術の窓6月号』  
「展覧会PREVIEW」生活の友社2022年5月  
20日発行

出品作品

No. Component No.

モデリング

1	MOD1.1	イントロパネル「モデリング」
2	MOD1	モデリングイマージブ
3	MOD2	ピクサーの挑戦「モデリング」
4	MOD3	アニメーションの舞台裏「トイストーリー3」
5	MOD3.2	キャラクターマーケット
6	MOD6	押し出して成形
7	MOD7	ロボットを組み立てよう
8	MOD8	バーチャルモデリングワークステーション
9	MOD8v a/b	キャラクターモデラー&リガー

リギング

10	RIG1.1	イントロパネル「リギング」
11	RIG1	リギングイマージブ
12	RIG4	フェイスリギングワークステーション
13	RIG5	アームリギングワークステーション
14	RIG5v	キャラクターリガー

サーフェイス

15	SUR1.1	イントロパネル「サーフェイス」
16	SUR1	サーフェイスイマージブ
17	SUR2	ピクサーの挑戦「サーフェイス」
18	SUR3	アニメーションの舞台裏「カーズ2」
19	SUR4	包んでみよう
20	SUR5	サーフェイスアピランスワークステーション
21	SUR5v	シェーディングテクニカルディレクター

セット&カメラ

22	SET1.1	イントロパネル「セット&カメラ」
23	SET1	セット&カメライマージブ
24	SET2	ピクサーの挑戦「セット」
25	SET4	セットレイアウトワークステーション
26	SET4v a/b	レイアウトテクニカルディレクター
27	SET5	カメラの基本
28	SET6	バリエーションをプログラミング

アニメーション

29	ANI1.1	イントロパネル「アニメーション」
30	ANI1	アニメーションイマージブ
31	ANI2	ピクサーの挑戦「アニメーション」
32	ANI3	アニメーションの舞台裏「Mr.インクレディブル」
33	ANI4	ストップモーションアニメーション
34	ANI5	コンピューターアニメーションワークステーション
35	ANI5v a/b	キャラクターアニメーター

シミュレーション

36	SIM1.1	イントロパネル「シミュレーション」
37	SIM1	シミュレーションイマージブ
38	SIM2	ピクサーの挑戦「シミュレーション」
39	SIM4	クラウドシミュレーションワークステーション
40	SIM5	シミュレーティングウォーター
41	SIM5 va/b	シミュレーションリサーチ&グローバルテクニカルディレクター

ライティング

42	LIG1.1	イントロパネル「ライティング」
43	LIG1	ライティングイマージブ
44	LIG2	ピクサーの挑戦「ライティング」
45	LIG4	ライティングエフェクトベーシック
46	LIG5	ライティングデザインベーシック
47	LIG5v	写真監督
48	LIG6	バーチャルライティングワークステーション

レンダリング

49	REN1.1	イントロパネル「レンダリング」
50	REN1	レンダリングイマージブ
51	REN2	ピクサーの挑戦「レンダリング」
52	REN4	レンダリングワークステーション
53	REN5v a/b	シニアソフトウェアデベロッパー&レンダリングスーパーバイザー

パイプライン

54	PIP	パイプライン
----	-----	--------

②銀の匙 Silver Spoon展

新規

北海道の大蝦夷農業高校（エゾノー）を舞台に、都会育ちの主人公・八軒勇吾の成長を描いた荒川弘作の漫画「銀の匙 Silver Spoon」。2019年に爽やかな余韻を残して完結した本作が連載開始から10周年を迎えることを記念し、約200点の直筆原稿やカラー原画、初公開の制作資料を紹介する本格的な原画展を開催した。また、南区区政50周年連携企画として、北海道畜産の礎の地、真駒内の歴史を紹介する独自展示を行った。



出品点数：226点

期 日：令和4年7月16日（日）～9月11日（日）  
58日間

会 場：札幌芸術の森美術館

主 催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）、  
HTB北海道テレビ、HTBプロモーション、  
北海道新聞社

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

協 賛：ミカレア、つうけんグループ

特別協力：小学館

企 画：朝日新聞社、MBS

入場料：一般700円、高校・大学生450円、小・中学生  
250円

※札幌市文化芸術鑑賞促進事業により半額

入場者数：23,526人

関連事業：（1）十勝・帯広フードマルシェ

期 日：8月6日（土）、7日（日）

会 場：札幌芸術の森美術館前広場

協 力：帯広農業高等学校

（2）銀の匙をつくろう

期 日：7月31日（日）、8月13日（土）、  
9月4日（日）

会 場：札幌芸術の森クラフト工房

※P49に再掲

同時開催：札幌南区区政50周年連携企画 エドウィン・  
ダンと真駒内牧牛場

期 日：7月16日（日）～9月11日（日）

会 場：札幌芸術の森美術館展示室内

協 力：札幌市南区地域振興課、エドウィン・  
ダン記念館

出品点数：9点

関連記事：『アイエム [インターネットミュージアム]』

2022年4月 web 配信、『poroco 7月号』

「STAGE&ART」えんれいしゃ2022年6月

20日発行、『ホットペッパー7月号』リクルー

ト2022年6月24日、『mamacha 7月号』エム

ジー・コーポレーション2022年6月25日発行、

『北海道おやこ新聞夏号（乳幼児版）』おやこ

コミュニケーションネット2022年6月28日発

行、『ウォーカープラス』グラフィオジャパン

2022年6月（WEB）、『BRUTUS No.965』

「夏のカルチャー撰取計画」マガジンハウス

2022年7月1日発行、『広報さっぽろ7月号』

「イベントカタログ」札幌市2022年7月1日

発行、『月刊MOE 8月号』「今月の展覧会」

白泉社2022年7月1日発行、『北海道おやこ

新聞7月号（小学生版）』おやこコミュニケ

ーションネット2022年7月10日発行、『美術館

博物館表』朝日新聞マリオン面2022年8月2

日夕刊、『アプリマガジン「週刊じゃらん」』

「イベントカレンダー」2022年8月4日（ア

プリ配信）、『mamacha 9月号』エムジー・

コーポレーション2022年8月25日発行、『ふ

りっぱー9月号』「施設別のイベント」総合

商研2022年8月26日発行

# 芸術の森事業部

## 主催事業

出品作品 No.	作家名	作品名	単行本掲載頁	寸法(縦×横 mm)
1	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	1巻 pp. 80-81	281×386
2	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	1巻 p. 12	386×274
3	荒川弘	銀の匙 カラー原稿	1巻 p. 5	355×253
4	荒川弘	銀の匙 カラー原稿	1巻 pp. 6-7	309×408
5	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 14	364×257
6	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 15	364×257
7	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 18	364×257
8	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 36	364×257
9	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 37	364×257
10	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 38	364×257
11	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 39	364×257
12	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 94	364×257
13	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 95	364×257
14	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 110	364×257
15	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 111	364×257
16	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 125	364×257
17	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 126	364×257
18	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 127	364×257
19	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 139	364×257
20	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 140	364×257
21	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 150	364×257
22	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 151	364×257
23	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 154	364×257
24	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 155	364×257
25	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 156	364×257
26	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 180	364×257
27	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 8	364×257
28	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 9	364×257
29	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 28	364×257
30	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 29	364×257
31	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 30	364×257
32	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 31	364×257
33	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 36	364×257
34	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 37	364×257
35	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 38	364×257
36	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 43	364×257
37	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 44	364×257
38	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	3巻 pp. 46-47	386×466
39	荒川弘	2017年「少年サンデー」32号 表紙		335×245
40	荒川弘	2011年「少年サンデー」34号 表紙		356×253
41	荒川弘	2012年「少年サンデー」33号 表紙		319×239
42	荒川弘	2018年「少年サンデー」26号 表紙		364×256
43	荒川弘	銀の匙 カラー原稿	2巻 p. 47	355×257
44	荒川弘	銀の匙 カラー原稿	2巻 pp. 48-49	385×465
45	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 75	364×257
46	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 76	364×257
47	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 77	364×257
48	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 78	364×257
49	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 79	364×257
50	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 80	364×257
51	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 126	364×257
52	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 135	364×257
53	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 136	364×257
54	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 137	364×257
55	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 81	364×257
56	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 82	364×257
57	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 85	364×257
58	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 89	364×257
59	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 90	364×257
60	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 91	364×257
61	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 92	364×257
62	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 93	364×257
63	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 82	364×257
64	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 168	364×257
65	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	4巻 p. 12	364×257
66	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	4巻 p. 13	364×257
67	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 58	364×257
68	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 59	364×257
69	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 60	364×257
70	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 69	364×257
71	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 70	364×257
72	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 71	364×257
73	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	9巻 p. 56	364×257
74	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	9巻 p. 57	364×257
75	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	9巻 p. 58	364×257
76	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	9巻 p. 101	364×257
77	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	9巻 p. 102	364×257
78	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	9巻 p. 103	364×257
79	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	11巻 p. 52	364×257

No.	作家名	作品名	単行本掲載頁	寸法 (縦×横 mm)
80	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	11巻 p. 53	364×257
81	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	11巻 p. 54	364×257
82	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	14巻 p. 117	364×257
83	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	14巻 p. 118	364×257
84	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	14巻 p. 119	364×257
85	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	1巻 p. 54	364×257
86	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	2巻 p. 35	364×257
87	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 72	364×257
88	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	3巻 p. 129	364×257
89	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 118	364×257
90	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	9巻 p. 93	364×257
91	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	10巻 p. 13	364×257
92	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	10巻 p. 31	364×257
93	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	10巻 p. 109	364×257
94	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	10巻 p. 112	364×257
95	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	10巻 p. 113	364×257
96	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	10巻 p. 114	364×257
97	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	10巻 p. 117	364×257
98	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	12巻 p. 168	364×257
99	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	13巻 p. 94	364×257
100	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	13巻 p. 95	364×257
101	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	4巻 pp. 104-105	297×420
102	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	5巻 pp. 26-27	295×419
103	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	6巻 pp. 26-27	269×385
104	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	7巻 pp. 66-67	297×385
105	荒川弘	2012年「少年サンデー」47号 表紙		420×298
106	荒川弘	2011年「少年サンデー」50号 表紙		320×240
107	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	4巻 p. 110	364×257
108	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	4巻 p. 111	364×257
109	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	4巻 p. 160	364×257
110	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	4巻 p. 161	364×257
111	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	4巻 p. 162	364×257
112	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	4巻 p. 163	364×257
113	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	4巻 p. 164	364×257
114	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	5巻 p. 136	364×257
115	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	5巻 p. 137	364×257
116	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	5巻 p. 138	364×257
117	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	5巻 p. 139	364×257
118	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	5巻 p. 140	364×257
119	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	5巻 p. 141	364×257
120	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	5巻 p. 136	364×257
121	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 56	364×257
122	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 57	364×257
123	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 58	364×257
124	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 59	364×257
125	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 69	364×257
126	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 70	364×257
127	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 71	364×257
128	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 72	364×257
129	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 73	364×257
130	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 74	364×257
131	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 162	364×257
132	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 163	364×257
133	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	6巻 p. 164	364×257
134	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	7巻 p. 50	364×257
135	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	7巻 p. 51	364×257
136	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	7巻 p. 52	364×257
137	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	7巻 p. 53	364×257
138	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	7巻 p. 54	364×257
139	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	7巻 p. 55	364×257
140	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	7巻 p. 56	364×257
141	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	7巻 p. 57	364×257
142	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 34	364×257
143	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 35	364×257
144	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 36	364×257
145	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 37	364×257
146	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 38	364×257
147	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 39	364×257
148	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 40	364×257
149	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 41	364×257
150	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 42	364×257
151	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 43	364×257
152	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 44	364×257
153	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	8巻 pp. 66-67	385×465
154	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	11巻 pp. 26-27	385×465
155	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	12巻 p. 6	364×245
156	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	13巻 pp. 46-47	256×363
157	荒川弘	2019年「少年サンデー」49号 表紙		363×257
158	荒川弘	2016年「少年サンデー」9号 表紙		297×210
159	荒川弘	2012年「少年サンデー」2号 表紙		385×233

# 芸術の森事業部

## 主催事業

No.	作家名	作品名	単行本掲載頁	寸法(縦×横 mm)
160	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 158	364×257
161	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 159	364×257
162	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 160	364×257
163	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 161	364×257
164	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	8巻 p. 162	364×257
165	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	14巻 p. 138	364×257
166	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	14巻 p. 139	364×257
167	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	14巻 p. 140	364×257
168	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	14巻 p. 141	364×257
169	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	14巻 p. 142	364×257
170	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	14巻 p. 143	364×257
171	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	14巻 p. 144	364×257
172	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 89	364×257
173	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 90	364×257
174	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 91	364×257
175	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 92	364×257
176	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 93	364×257
177	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 98	364×257
178	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 99	364×257
179	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 100	364×257
180	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 101	364×257
181	荒川弘	2016年「少年サンデー」40号 表紙		364×258
182	荒川弘	2019年「少年サンデー」53号 表紙		330×241
183	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 187	364×257
184	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 188	364×257
185	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 189	364×257
186	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 192	364×257
187	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 193	364×257
188	荒川弘	銀の匙 カラー原稿	15巻 p. 167	455×320
189	荒川弘	銀の匙 カラー原稿	15巻 pp. 168-169	320×453
190	荒川弘	銀の匙 モノクロ原稿	15巻 p. 198	364×257
191	荒川弘	単行本第1巻 カバー		355×253
192	荒川弘	単行本第2巻 カバー		386×286
193	荒川弘	単行本第3巻 カバー		320×255
194	荒川弘	単行本第4巻 カバー		385×238
195	荒川弘	単行本第5巻 カバー		305×226
196	荒川弘	単行本第6巻 カバー		310×408
197	荒川弘	単行本第7巻 カバー		290×207
198	荒川弘	単行本第8巻 カバー		317×203
199	荒川弘	単行本第9巻 カバー		363×257
200	荒川弘	単行本第10巻 カバー		355×252
201	荒川弘	単行本第11巻 カバー		319×403
202	荒川弘	単行本第12巻 カバー		363×258
203	荒川弘	単行本第13巻 カバー		420×298
204	荒川弘	単行本第14巻 カバー		335×243
205	荒川弘	単行本第15巻 カバー		364×257
206	荒川弘	2016年「少年サンデー」クリスマスカード企画 カラーイラスト 2017年「少年サンデー」年賀状企画 カラーイラスト		297×419
207	荒川弘	2017年「少年サンデー」クリスマスカード企画 カラーイラスト		297×210
208	荒川弘	2018年「少年サンデー」年賀状企画 カラーイラスト		297×210
209	荒川弘	2019年「少年サンデー」クリスマスカード企画 カラーイラスト		210×297
210	荒川弘	2014年「少年サンデー」7号 表紙		364×257
211	荒川弘	2013年「少年サンデー」20号 表紙		297×210
212	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	9巻 pp. 26-27	300×410
213	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	11巻 pp. 108-109	402×219
214	荒川弘	銀の匙 カラーイラスト	13巻 pp. 108-109	297×417
215	荒川弘	ヒーローズ・カムバック 作家メッセージ		297×210
216	荒川弘	ヒーローズ・カムバック 原稿		
217	荒川弘	ヒーローズ・カムバック 原稿		
218	荒川弘	ヒーローズ・カムバック 原稿		
219	荒川弘	ヒーローズ・カムバック 原稿		
220	荒川弘	ヒーローズ・カムバック 原稿		
221	荒川弘	ヒーローズ・カムバック 原稿		
222	荒川弘	ヒーローズ・カムバック 原稿		
223	荒川弘	ヒーローズ・カムバック 原稿		
224	荒川弘	ヒーローズ・カムバック 原稿		
225	荒川弘	ヒーローズ・カムバック 原稿		
226	荒川弘	「銀の匙展」ビジュアル用 描き下ろし カラーイラスト		420×297

### 札幌市南区区制50周年連携企画 エドウィン・ダンと真駒内牧牛場

No.	作品・資料名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横 mm)	所蔵
1	真駒内牧場で指導するダン	1965	油彩・キャンバス	130×162	エドウィン・ダン記念館(札幌市土木部維持管理課)
2	農林省新冠種畜牧場	1970	油彩・キャンバス	910×1167	エドウィン・ダン記念館(札幌市土木部維持管理課)
3	【模写】旧種畜場			100×1300×1900	エドウィン・ダン記念館(札幌市土木部維持管理課)
4	札幌競馬場 明治10年札幌育種場	1877頃	写真パネル		北海道大学附属図書館
5	新冠御料牧場	1918	写真パネル		北海道大学附属図書館
6	真駒内牧牛場におけるエドウィン・ダンと輸入馬	1877頃	写真パネル		北海道大学附属図書館
7	札幌近傍真駒内パーン(家畜房)	1877頃	写真パネル		北海道大学附属図書館
8	真駒内種畜場放牧の景	1897頃	写真パネル		北海道大学附属図書館
9	真駒内種畜場放牧の景	1897頃	写真パネル		北海道大学附属図書館

③北海道の建築展2022 受け継がれて進む地域性を見つめて **新規**

国際建築家連合 UIA に加盟し、日本唯一の建築家技能集団である JIA 日本建築家協会の北海道支部設立35周年記念事業として開催。北海道の代表的な建築作品を写真パネルや模型で紹介すると共に、中庭や美術館前池では実物大の建築物や建築素材に触れて鑑賞できるインスタレーション作品を展示した。



出品点数：97点

期 日：令和4年9月23日（金・祝）  
～10月10日（月・祝） 18日間

会 場：札幌芸術の森美術館

主 催：公益社団法人日本建築家協会北海道支部、札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）

後 援：国土交通省 北海道開発局、北海道、札幌市、札幌市教育委員会、一般財団法人北海道建築指導センター、一般社団法人日本建築学会北海道支部、一般社団法人北海道建築士会、一般社団法人北海道建築士事務所協会、一般社団法人北海道設備設計事務所協会、一般社団法人日本建築構造技術者協会北海道支部、一般社団法人北海道建築技術協会、一般社団法人北海道デザイン協議会、株式会社北海道建設新聞社、株式会社北海道新聞社、HTB北海道テレビ、HBC北海道放送

協 力：札幌市立大学山田良研究室（インスタレーション協力）、北海道大学（模型協力）、北海道科学大学（模型協力）、国京建築模型工房（一部模型作成協力）

入場料：一般500円、高校・大学生300円、中学生以下無料

※札幌市文化芸術促進事業により半額

入場者数：4,370人

関連事業：（1）磯達雄 講演会「受け継がれて進む地域性を見つめて」

期 日：9月23日（金・祝）

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

参加者数：30人

（2）磯達雄 トークイベント「建築の地域性について」

期 日：9月24日（土）

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

参加者数：30人

（3）植田暁 トークイベント「風景に働きかける建築の魅力」

期 日：9月24日（土）

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

参加者数：30人

（4）トークイベント「みえない空気をデザインする ～くらし×けんちく×まち」

期 日：10月1日（土）

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

参加者数：30人

（5）トークイベント「まちの風景をつくるーみどり野きた住まいるヴィレッジの試みー」

期 日：10月1日（土）

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

参加者数：30人

（6）茶話会「暮らしの中のアート」

期 日：10月2日（日）

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

参加者数：23人

（7）トークイベント「建築家 竹山実 Architecture, you and me」

期 日：10月2日（日）

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

参加者数：30人

（8）JIA 北海道建築大賞 公開審査会

期 日：10月8日（土）

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

（9）キタコブシ賞 受賞講演

期 日：10月8日（土）

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

参加者数：30人

# 芸術の森事業部

## 主催事業

(10) 木工家とつくる木育ワークショップ

期 日：10月9日（日）

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

講 師：KANTO、621（デザイナー：植木  
祐介・祐川諭、職人：藤原誠）

参加者数：60人

関連記事：『さっぽろ10区』『イベントガイド』北海道新聞2022年9月27日発行、「道内の代表的建築紹介」読売新聞2022年9月28日朝刊、「風土が求めた建築の姿」北海道新聞2022年10月1日朝刊、『美術館博物館表』朝日新聞マリオン面2022年10月4日夕刊、「道内各地の風景・気候に調和 美しい建築物一堂に」北海道新聞2022年10月5日朝刊、「道特有の建築とは実物含め100点紹介」毎日新聞2022年10月7日朝刊

### 出品作品

#### 第一部 受け継がれて進む地域性を見つめて

No.	設計者名	建築物名	竣工年	所在地	模型の寸法(高さ×幅×奥行cm)
<b>A 人間が棲む大地の風景</b>					
1	ウィリアム・ホイラー	北海道大学農学部第二農場	1877年-1911年	札幌市	10.0×130.3×89.4
2	井口健	北海道百年記念塔	1970年	札幌市	100.0×70.0×70.0
3	倉本龍彦	ばあちゃん家	1972年	ニセコ町	
4	アトリエブク	平取町立二風谷アイヌ文化博物館	1991年	平取町	20.0×45.0×45.0
5	藤本壮介建築設計事務所	伊達の援護寮	2003年	伊達市	
<b>B 近代都市の発展と復興</b>					
6	滝大吉	旧第七師団借行社（中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館）	1902年	旭川市	
7	佐立七次郎	旧日本郵船小樽支店	1906年	小樽市	
8	伊藤平左衛門九世 （施工者 伊藤平左衛門九世・木田保造）	真宗大谷派函館別院本堂	1915年	函館市	
9	矢橋賢吉、小林正紹、山本万太郎	旧北海道拓殖銀行小樽支店（現小樽芸術村 似鳥美術館）	1923年	小樽市	
10	明石信道	棒ニ森屋百貨店	1936年	函館市	
<b>C 冬でも楽しい北の暮らし</b>					
11	上遠野徹	上遠野徹自邸	1968年	札幌市	16.0×260.0×120.0
12	五十嵐淳建築設計	矩形の森	2000年	佐呂間町	20.0×91.0×182.0
13	北海道岡田新一設計事務所	陸別町庁舎・コミュニティセンター	1988年	陸別町	
14	大成建設株式会社 一級建築士事務所（監修 竹山実）	サッポロファクトリー	1993年	札幌市	
15	原広司+アトリエファイ建築研究所、アトリエブク	札幌ドーム	2001年	札幌市	16.0×260.0×120.0
16	北海道建築工房	蘭越アグ・デ・バンク農園の住宅	2003年	蘭越町	
<b>D 地域と結びついた素材</b>					
17	北海道庁（平井晴二郎）	北海道庁旧本庁舎	1888年	札幌市	
18	間山千代勝	日本基督教団札幌協会礼拝堂	1904年	札幌市	
19	佐藤武夫設計事務所	旭川赤レンガ市庁舎	1958年	旭川市	60.0×93.0×78.5、60.0×108.5×78.5
20	アントニン・レーモンド	札幌聖ミカエル教会	1960年	札幌市	54.0×86.0×59.0
21	象設計集団	北海道ホテル	1995年	帯広市	
22	アープ建築研究所	円を内包する家	1988年	札幌市	
<b>E 新たなデザイン潮流を開く</b>					
23	太田実	登別温泉ふれあいセンター（旧登別温泉科学館）	1957年	登別市	30.0×77.0×77.0
24	田上義也	坂牛邸	1927年	小樽市	
25	毛綱毅曠建築事務所	釧路市立博物館	1984年	釧路市	
26	竹山実建築総合研究所	ベプシ工場	1972年	三笠市	
27	郵政省（小坂秀雄）	旧小樽地方貯金局（小樽文学館・美術館）	1952年	小樽市	
28	関根要太郎	函館海産商同業組合事務所	1920年	函館市	
29	毛綱毅曠	反住器	1972年	釧路市	10.0×10.0×10.0
30	竹山実建築総合研究所	アトリエ・インディゴ	1976年	札幌市	116.0×37.5×136.0

#### 第二部 風景に働きかける建築

No.	設計者名	建築物名	所在地
<b>I 類 開拓が生み出した建築と風景</b>			
31	菅原秀見	北見信用金庫紋別支店	紋別市
32	圓山彬雄	厚岸味覚ターミナル「コンキリエ」	厚岸町
33	下村憲一	帯広市図書館	帯広市
34	中井寿也	『T・B』北7条ごうだ整形外科	札幌市
35	川東隆	さっぽろ創世スクエア	札幌市
36	菅沼秀樹	北海道札幌視覚支援学校	札幌市
37	森徳彦	中屋敷左官工業株式会社社屋	札幌市
38	森徳彦	学校法人西野学園 西野桜幼稚園	札幌市
39	遠藤謙一良	EAA OFFICE	札幌市
40	前川尚治	KG/G	札幌市
41	豊嶋守	Yメディカルビル	札幌市
42	川東隆	WELLNET 札幌本社オフィス	札幌市
43	佐野天彦	琴似の街家	札幌市
44	日黒泰道	House&Office Einbuild	帯広市
45	石塚和彦	帯広まちなかの家	帯広市
46	齋藤弘源	Lodge like house	東川町

No.	設計者名	建築物名	所在地
47	赤坂真一郎	「結いの社屋」小金澤組新社屋	苫小牧市
48	小西彦仁	江別葛屋書店	江別市
49	上遠野克	カトリック大麻教会 学校法人北海道カトリック学園大麻藤認定こども園	江別市
50	石井孝行	認定こども園 日本赤十字社 釧路さかえ保育園	釧路市
51	眞壁喜男	多目的屋内スポーツ施設	厚岸町
52	堀尾浩	重箱の家	札幌市
53	川村弥恵子	TAOYA	札幌市
54	岩澤浩一	河畔の家	札幌市
55	山内一男	宿泊体験施設「光林荘」	乙部町
56	豊嶋守	A RESIDENCE	札幌市
57	米田浩志	FB WALL 2	札幌市
58	名古屋英紀	LE SHIPPO	千歳市
59	鷲見健二	かもめ保育園	張碓町
60	鈴木理	ときわの家	札幌市
61	赤坂真一郎	Restaurant Fenêtre レストラン フェネトレ	中標津町
62	笹栗達夫	神宮茶屋 (北海道神宮休憩所)	札幌市
63	上遠野克	学校法人北海道カトリック学園 花川マリア認定こども園	石狩市
64	柳雅人	彩の丘と夕映えの家	美瑛町
65	伊達昌広	うどんの五衛門	由仁町
66	小倉寛征	積丹の蒸留所	積丹町
67	中館誠治	森のラウンジ	長沼町
68	日野桂子	山と対峙する家	長沼町
69	平尾稔幸	サイレントキャビン	当別町
70	小西彦仁	TSUBASA	ニセコ町
71	遠藤謙一良	北海道立北の森づくり専門学院	旭川市
72	新貝孝之	ニセコ 高橋牧場	ニセコ町
73	米谷智紀	掘立柱の家	岩見沢市
74	櫻井百子	下川町環境共生型モデル住宅美桑	下川町
75	下村憲一	道立オホーツク流水公園あおぞら交流館	紋別市
76	中山真琴	坐忘林	ニセコ町
77	大杉崇	SHAKUZEN	ニセコ町
78	照井康徳	厚真の家	厚真町
<b>Ⅱ類 地形が生み出した建築と風景</b>			
79	川村弥恵子	円山川の家	札幌市
80	堀尾浩	呼人の家	網走市
81	佐藤孝	北海道科学大学体育館“HIT ARENA”	札幌市
82	圓山彬雄	會澤高圧コンクリート株式会社 深川工場	深川市
83	宮崎正之	SHIBETSU SALMON PLAZA	標津町
84	菅原秀見	北見市立留辺蘂小学校	留辺蘂町
85	山之内裕一	浦和協会	浦河町
86	照井康徳	浦河フレンド森のようちえん	浦河町
87	太田司	玄妙	倶知安町
88	戸島健二郎	パンダの家	小樽市
89	眞壁祐企	おーがすと・らっしゅ	釧路市
90	弘田亨一	東森の家	森町
<b>Ⅲ類 人の営みが生み出した建築と風景</b>			
91	山内一男	函館市臨海研究所	函館市
92	鈴木敏司	CONCIERGE FURANO	富良野市
93	山之内裕一	CB+W house	江別市
94	石田純枝	西神楽アグリコレクティブハウス	西神楽

屋外展示

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (高さ×幅×奥行 cm)
95	札幌市立大学デザイン学部 山田良研究室	Cube Installation/竹山実の世界へ近づこうとする試み	2022年	合板	各93.0×93.0×91.0 [20点]
96	圓山彬雄	遺跡への道程「SASA」	2022年	コンクリートブロック	133.0×739.0×999.0
97	山田良	Infinite Landscape/水・光	2022年	合板、再利用木材、鉄、鏡板	200.0×450.0×360.0

## 芸術の森事業部

### 主催事業

#### ④北海道陶芸の変遷 vol. 2 – 現代陶芸の今 –

**新規**

北海道陶芸協会が主催する「北海道陶芸展」の50周年、「北海道シニア陶芸展」の40周年を記念し、同協会の歩みと北海道陶芸の変遷を展観する展覧会を開催。両公募展の会員・会友の作品と共にその足跡を辿ったほか、全国の陶芸家の作品や、茶の空間を設えた「茶と陶」の関わりを展示し、北海道における陶芸の変遷を展観した。



出品点数：219点

期 日：令和4年10月22日（土）～11月6日（日）  
16日間

会 場：札幌芸術の森美術館

主 催：北海道陶芸協会、札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）、北海道新聞社

後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市

#### 出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (高さ×幅×奥行 cm)
1	丹野茂雄	打文様鉢 明ケル		陶	19.0×50.0×50.0
2	福山桂子	赤蕊	2022	陶	45.0×45.0×45.0
3	笹生尚也	信楽粉引耳付八面花入	2014	陶	30.0×18.0×14.0
4	田中一夫	北の自然な紋様 QVEVRI II	2019	陶	31.0×25.0×25.0
5	柏葉武雄	彩色壺-里山に冬の訪れ	2008	陶	32.5×30.5×30.5
6	山下賢太郎	縄文象嵌扁壺-シマフクロウ	2015	陶	30.0×50.0×12.0
7	井口豊重	連帯する楔	2022	陶・鉄	50.0×43.0×40.0
8	菊池昭正	一濃		陶	54.0×30.0×30.0
9	土居万里子	BLUE	2020	陶	10.5×75.5×54.3
10	佐藤広隆	古台	2021	陶	49.0×29.0×39.0
11	五十嵐精子	真夏の夜…すずやかに白い風	2021	陶	38.0×29.0×11.0
12	植木賢一	陶灯-宇宙・黎明-	2022	陶	84.0×43.0×43.0
13	堀由美子	先人達の誇り		陶	40.0×33.0×13.0
14	杉井紀子	復興	2012	陶	32.0×20.0×27.0
15	平貴文	灯り花	2019	陶	30.0×30.0×30.0
16	山本恒雄	ファミリー	2006	陶	67.0×62.0×20.0
17	井上隆	愛は地球を救う	2015	陶	50.0×45.0×45.0
18	柴村志津枝	晩秋の炎	2015	陶	54.0×33.0×33.0
19	小倉裕美子	均衡	2020	陶	43.0×35.0×35.0
20	安野幸子	オホーツクの恵		陶	34.0×90.0×40.0
21	岩田礼子	秋の雨		陶	40.0×40.0×40.0
22	玉池由紀子	うるま		陶	43.0×40.0×40.0

教育委員会

協 賛：株式会社レブニーズ

協 力：ギャラリー創、北海道芸術デザイン専門学校  
助 成：公益財団法人道銀文化財団、伊藤組100年記念基金

入場料：一般600円、大学生以下無料

※札幌市文化芸術促進事業により半額

入場者数：2,369人

関連事業：(1) ギャラリーツアー 美術評論家・森孝一氏による作品解説

期 日：10月22日（土）

会 場：札幌芸術の森美術館 展示室内

(2) ワークショップ

期 日：10月22日（土）、11月5日（土）

会 場：札幌芸術の森クラフト工房 大制作室

講 師：板橋廣美、高橋奈己

参加者数：54人

(3) 呈茶席

期 日：10月23日（日）、29日（土）

会 場：札幌芸術の森美術館展示室

(4) 北海道陶芸協会小品展 暮らしとやきもの

期 日：9月23日（金・祝）～11月6日（日）

会 場：札幌芸術の森工芸館

関連記事：『広報さっぽろ10月号』『イベントカタログ』札幌市2022年10月1日発行、「陶芸の変遷たどる 道協会 公募50周年展」毎日新聞10月29日朝刊、『アートジェンダ』2022年11月19日（WEB）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (高さ×幅×奥行 cm)
23	渡部礼子	朗報	2022	陶	40.0×35.0×35.0
24	宮脇優子	憂い	2015	陶	40.0×48.0×30.0
25	田村恵	コムネージュー白い雪のようなー	2008	陶	49.0×18.0×18.0
26	國島由希子	Midsummer Night's Dreamー真夏の夜の夢ー	2019	陶	41.0×40.0×40.0
27	中村敏美	まねきねこ神社	2020	陶	36.0×27.0×24.0
28	齊藤光恵	黒蝶貝	1995	陶	72.0×35.0×22.0
29	渡辺大輔	寿尽くし	2019	陶	33.9×53.3×28.2
30	塚本ふみ子	みなも	2016	陶	30.0×30.0×28.0
31	西尾敏明	薬	2021	陶	26.0×35.0×30.0
32	佐藤江津子	遺跡ー古代の夢ー	2017	陶	50.0×60.0×60.0
33	橋本雅雪	袈裟懸粉引花壺	2021	陶	55.0×36.0×17.0
34	中田久枝	精霊の杜	1993	陶	64.0×41.0×32.0
35	村上強	BOLT BUILT BOTTLES	2017	陶	70.0×55.0×45.0
36	竹内大武	強者どもの夢の跡ー小田原城ー		陶	21.5×30.5×17.5
37	佐々木優子	天河悠久	2000	陶	54.0×40.0×25.0
38	山下益美	来る・るん 再び	2020	陶	23.0×50.0×16.0
39	境文字	風雪の佇みー今日から明日へ	2018	陶	62.0×90.0×50.0
40	庄野節子	秋うらら	2016	陶	30.0×30.0×30.0
41	鶴田靖子	家紋入八角陶箱	2020	陶	7.0×12.0×12.0
42	森取吾	無題 2019	2019	陶	26.0×60.0×60.0
43	原田昭	札幌軟石袖之華	2021	陶	25.0×37.0×37.0
44	張浦華	花園之歌	2021	陶	16.0×36.0×36.0
45	安住栄子	憩い	2021	陶	26.0×44.0×25.0
46	岩田浩子	森の囁き	2022	陶	41.0×65.0×50.0
47	青井紀子	白昼夢	2013	陶	30.0×25.0×25.0
48	増田芳浩	ジュラシー		陶	40.0×20.0×15.0
49	熊谷哲子	碧紫酔葡萄	2018	陶	40.0×45.0×45.0
50	森雅子	貫入青磁輪花大鉢	2010	陶	11.0×30.0×30.0
51	蘇武真理子	色化粧樹林扁壺	2007	陶	51.0×50.0×15.0
52	古川陽子	想い積み上げる	2014	陶	58.0×30.0×25.0
53	本田操	温故知新	2018	陶	5.0×40.0×40.0
54	畑澤真樹	八角の瓶	2010	陶	19.0×10.0×10.0
55	奥村弘行	北の大地 秋から冬へ そして…	2019	陶	43.0×18.0×18.0
56	辻昌子	お手伝い	2022	陶	50.0×45.0×45.0
57	阿部綾子	しなやかに	2021	陶	60.0×42.0×30.0
58	山内菜穂子	多様性II	2022	陶	38.0×35.0×25.0
59	木戸清孝	SPRING	2022	陶	30.0×30.0×23.0
60	浜本真行	龍谷霧玄	2022	陶	17.0×58.0×15.0
61	尾花涼子	ブクティエール	2021	陶	19.0×31.0×16.0
62	澤田三津恵	円は縁を結んで輪となり環って和を照らす	2022	陶	28.0×90.0×60.0
63	石上京子	Nenrin	2022	陶	35.0×35.0×16.0
64	佐藤雅彰	弾奏	2022	陶	43.0×11.0×11.0
65	河合哲	暖燠	2021	陶	40.0×25.0×25.0
66	岸本洋一郎	珍奇獣	2019	陶	10.0×60.0×30.0
67	勇内山昭次郎	ドレスの女	2012	陶	65.0×20.0×20.0
68	津田美智子	うちの犬	2022	陶	28.0×25.0×12.0
69	山下洋子	花詰のつぼ	2022	陶	24.0×26.0×26.0
70	佐藤彰	マグマの胎動	2017	陶	61.0×38.0×28.0
71	柏木澄枝	大樹	2022	陶	50.0×34.0×34.0
72	山田晶	狸々緋彩器	2021	磁器	15.0×44.0×33.5
73	清水六兵衛	シャフトB	2021	陶・タタラ成形	34.0×31.5×31.5
74	岸映子	心象を積む	2021	土・彩石象嵌	43.0×70.0×15.0
75	美崎光邦	水青彩器	2022	彩泥	32.0×17.0×37.5
76	美崎光邦	彩泥器	2022	彩泥	11.0×8.5×14.5
77	美崎光邦	彩泥器	2022	彩泥	15.5×6.5×9.5
78	美崎光邦	泥彩器		泥彩	7.5×18.0×19.0
79	星野友幸	figure	2019	磁土・練上 ろくろ	42.0×50.0×47.0
80	星野友幸	練漣カップ&ソーサー	2022	磁土・練上 胴漣・ろくろ	7.5×Φ15.0
81	星野友幸	紅玻璃盃	2022	磁土・片切彫り・ろくろ	4.2×7.5
82	星野友幸	糖衣盃	2022	陶土・手びねり	5.3×6.8
83	高橋朋子	銀彩水指 皓月	2022	磁土・上澄 金銀彩上絵	23.0×18.0×18.0
84	高橋朋子	鍍光彩薄茶器 玄月	2022	磁土・上澄 金銀彩上絵	8.0×8.0×8.0
85	高橋朋子	金銀彩盃 遊ぐ月	2022	磁土・上澄 金銀彩上絵	8.5×13.0×13.0
86	高橋朋子	鍍光彩ぐい呑 玄月	2022	磁土・上澄 金銀彩上絵	5.3×7.0×7.0
87	高橋朋子	金銀彩ぐい呑 遊ぐ月	2022	磁土・上澄 金銀彩上絵	5.3×6.3×6.3
88	滝口和男	無題	2020	陶 板造	45.0×47.0×35.0
89	滝口和男	蛙缶慕情	2022	陶 板造	5.5×7.0
90	滝口和男	嬉ぶ象と	2022	陶 手捻り	6.0×10.0×6.0
91	滝口和男	豆 無題	2022	陶 板造	6.0×8.0×7.0
92	戸田浩二	焼締瓶子	2022	陶 薪窯	32.8×23.8×23.8
93	宮本雅夫	緑彩花器 葉音	2022	磁器 色絵	11.6×60.8×11.3
94	齋藤まゆ	NOA	2022	色絵磁器	25.0×22.0×10.5
95	伊勢崎晃一郎	備前 聳	2022	陶 焼締	47.5×24.0×24.0

# 芸術の森事業部

## 主催事業

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (高さ×幅×奥行 cm)
96	和田的	白器「自転車」	2022	磁器 彫り	39.5×17.8×8.3
97	加藤真美	月下	2021	磁土 板造	30.0×45.0×40.0
98	加藤真美	フロスト釉片口	2022		9.5×16.0×10.5
99	加藤真美	フロスト釉酒杯	2022		7.0×8.0×9.0
100	福本双紅	月影	2021	磁土 ろくろ	43.0×43.0
101	大塚茂吉	種まく人	2021	象嵌 焼締	46.0×44.0×35.5
102	森つくし	—ふたつ—	2022	陶	24.0×40.0×30.0
103	森つくし	あかい花いれ	2021	陶	16.5×11.0×11.0
104	森つくし	あかい花いれ	2021	陶	20.5×10.0×10.0
105	見附正康	赤絵細描小紋蓋物	2015	磁器 上絵付	10.5×22.0×22.0
106	奥村博美	緊縛ノ壺	2021	半磁土 樹脂繊維 緊縛手	65.0×35.0×35.0
107	奥村博美	緊縛ノ花生	2022	半磁土 樹脂繊維 緊縛手	27.0×10.0×10.0
108	奥村博美	緊縛手注器	2022	陶土 樹脂繊維 緊縛手	20.0×18.0×12.0
109	奥村博美	緊縛手茶碗	2022	陶土 樹脂繊維 緊縛手	9.0×14.5×13.0
110	市野雅彦	響き	2021	陶	22.5×30.0×30.0
111	吉川千香子	明かるい人	2012	手捻り 型	71.0×51.0×44.0
112	吉川千香子	天使	2022	陶	32.0×17.0×10.0
113	吉川千香子	明かるい女の子	2022	ロクロ 型	16.0×20.0×14.0
114	吉川千香子	ウサギのあかり	2022	陶	38.0×23.0×23.0
115	中田雅巳	SEN 碗	2022	磁土 手捻り 象嵌	8.8×9.5×10.0
116	中田雅巳	雫 cup カラー 赤	2022	磁土 ろくろ 掻き落とし	8.8×9.5×9.5
117	中田雅巳	雫 cup カラー 黄	2022	磁土 ろくろ 掻き落とし	8.8×9.5×9.5
118	中田雅巳	雫 cup カラー トルコブルー	2022	磁土 ろくろ 掻き落とし	8.8×9.5×9.5
119	板橋廣美	Association with white	2002	磁土	6.0×115.0×20.0
120	板橋廣美	三足長皿	2008	磁土	13.5×79.5×12.0
121	板橋廣美	寂	2018	シャモット	22.5×34.0×21.5
122	板橋廣美	黒釉茶碗	2021	石ハゼ土	9.5×11.5×11.5
123	寄神宗美	Re-Creations.SAKURA- I		陶 木	41.5×44.0×15.0
124	鯉江明	焼締タタキ段皿	2022	常滑山土 焼締	3.5×37.5×37.5
125	鯉江明	焼締長頸壺	2022	陶	25.5×14.0×14.0
126	鯉江明	焼締長頸壺	2022	陶	25.0×14.0×14.0
127	鯉江明	焼締タタキ銅鑼鉢	2022	陶	4.5×36.5×36.5
128	鯉江良二	チェルノブイリ I		陶	5.5×29.5×29.5
129	鯉江良二	チェルノブイリ II		陶	13.8×30.0×30.0
130	加藤委	スイスインと	2019	磁石	17.0×60.0×20.0
131	高橋奈己	白磁の実	2022	磁土・鋳込み	34.5×22.0×23.0
132	高橋奈己	カップ&ソーサー	2022	磁土・鋳込み	7.5×16.0×16.0
133	高橋奈己	プラチナ須臾盃	2022	磁土・鋳込み	6.0×7.0×7.0
134	高橋奈己	白磁片口	2022	磁土・鋳込み	10.0×13.0×10.5
135	高橋奈己	白磁片口	2022	磁土・鋳込み	10.0×13.0×10.5
136	高橋奈己	白磁水指	2022	磁土・鋳込み	18.5×20.0×18.5
137	高橋奈己	茶器	2022	磁土・鋳込み	7.5×7.6×7.6
138	高橋奈己	白磁の実	2022	磁土・鋳込み	13.5×12.5×12.5
139	高橋奈己	白磁の実	2022	磁土・鋳込み	22.0×20.0×20.0
140	伊藤秀人	光ノ花	2022	陶	12.5×24.0×24.0
141	武田浪	鯨皿	1994	陶	8.5×32.0×31.0
142	武田浪	鬼ヶ島 器	2012	陶	10.9×Φ11.5
143	武田浪	白釉 器	2012	陶	10.6×Φ12.0
144	武田浪	伊賀 器	2012	陶	10.8×Φ13.0
145	小川待子	Untitled 2022	2022	陶	45.5×41.0×32.0
146	隠崎隆一	備前耳付花器	2019	備前土 ろくろ	33.7×18.5×15.5
147	新里明士	光器	2022	磁器	20.0×28.0×28.0
148	植葉香澄	青龍注器	2021	陶	22.0×35.2×13.0
149	牟田陽日	色絵麒麟大壺	2022	陶	35.5×38.6×29.0
150	内田綱一	untitled	2022	陶 黒陶	42.0×40.0×40.0
151	川上力三	位相 (距離)	2015	黒陶	23.0×21.0×30.0
152	川上力三	風の道	1992	陶 焼締	10.0×12.0×8.0
153	清水しおり	壺	2017	陶 粉引	38.0×30.0
154	前田育子	Tori	2022	陶	45.0×45.0×45.0
155	前田育子	黒陶箱	2022	野幌粘土 黒陶	7.0×6.0×12.5
156	前田育子	カモメ	2018	陶 アメリカン楽	14.0×22.0×7.0
157	前田育子	本	2018	野幌粘土 黒陶	19.5×14.0×2.8
158	南正剛	氷裂〜オマージュ T・T〜	2022	陶	74.0×26.0×25.0
159	南正剛	氷裂2017-1	2017	陶	80.0×43.0×30.0
160	南正剛	氷裂2019	2019	陶	53.0×59.0×22.0
161	南正剛	氷裂2022 A	2022	陶	54.0×70.0×40.0
162	南正剛	氷裂2022 B	2022	陶	46.5×66.0×43.0
163	丹羽シゲユキ	白磁削手華片菓子器「はなゆめあそび」	2022	磁器 削り出し	8.2×24.5×23.3
164	加地学	壺	2018	陶	50.0×40.0
165	北川智浩	白磁水氷文角器	2021	磁土 削り出し	31.0×31.0×30.8
166	五十地裕之	青白磁 長角皿	2013	天草磁土 たたら造り	5.0×71.5×23.5
167	五十地裕之	青白磁 波文蓋物	2015	天草磁土 ワイヤークット	5.5×14.0×14.0
168	五十地裕之	青白磁 印華文五寸皿	2021	天草磁土 印花	3.5×16.0×16.0
169	上ノ大作	ヒト	2021	南蛮焼締 木	38.0×8.0×8.0
170	増原嘉央理	紅白鮮 斜陽 —2110—	2021	陶	34.0×50.0×50.0
171	深田健介	Mitten	2017	半磁土 彫塑	3.0×24.0×17.0
172	板東光太郎	サクバとマタバ	2022	半磁土 結晶釉	40.0×120.0×5.0
173	板東光太郎	nociw	2022	半磁土 結晶釉	15.0×25.0×25.0
174	板東光太郎	かがみもち	2022	半磁土 結晶釉	13.0×15.0×15.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (高さ×幅×奥行cm)
175	板東光太郎	雪結晶ぐいのみ	2022	半磁土 結晶釉	6.5×7.0×8.0
176	下沢敏也	Re-birth<時の記憶>	2021	陶	245.0×35.0×25.0
177	下沢敏也	Re-birth<face of earth>	2022	陶	45.0×45.0×3.0
178	下沢敏也	Re-birth 2022	2022	陶	
179	井川ゆきな	記憶のかたち	2021	陶	105.0×30.0×27.0
180	井川ゆきな	記憶のかたち	2021	陶	26.0×16.0×15.0
181	井川ゆきな	意識のかたち	2021	陶	37.0×25.0×18.0
182	井川ゆきな	記憶のかたち-円-	2021	陶	52.0×40.0×36.0
183	大石俊久	層	2022	野幌粘土 緋襷	30.0×40.0×50.0
184	大石俊久	蓋物	2013	陶	7.0×10.0×10.0
185	大石俊久	一輪挿し	2021	陶	5.0×16.0×11.0
186	大石俊久	小さな水盤	2022	陶	8.0×16.0×14.0
187	大石俊久	底へ...		陶	90.0×48.0×48.0
188	大石俊久	表層		陶	66.0×48.0×60.0
189	大石俊久	層-門-		陶	56.0×22.0×10.0
190	剣吉雄也	rectangular crack 3	2022	陶 鉄 セメント	96.0×40.0×23.0
191	千野秀彰	葉~芽吹き~	2022	陶	55.0×60.0×25.0
192	中島勇	underground	2022	陶	85.0×35.0×40.0
193	中島勇	a gate	2022	陶	
194	中島郁美	a blessing-内包-	2022	陶	39.0×30.0×30.0
195	中島郁美	Life goes on	2011	陶	
196	中島郁美	a blessing-ココロノハナ-	2021	陶	
197	森学	開拓の風	2016	陶	45.0×40.0×25.0
198	宇井えみ	カナデル	2022	陶	12.0×30.0×13.0
199	松井茂樹	倒木更新		陶	65.0×25.0×25.0
200	下澤土泡	荒磯大花生		陶	
201	下澤土泡	荒磯花入れ		陶	
202	下澤土泡	荒磯花入れ		陶	
203	下澤土泡	荒磯 壺		陶	
204	下澤土泡	荒磯 壺		陶	
205	下澤土泡	荒磯茶碗		陶	
206	下澤土泡	荒磯茶碗		陶	
207	下澤土泡	荒磯湯呑み		陶	
208	下澤土泡	陶板 祈り地藏		陶	
209	下澤土泡	笠地藏		陶	
210	下澤土泡	水盤		陶	
211		茶室設え作品一式			
212	中野北溟	光が飛ぶ		書	
213	井浦千文(草月流)	浮遊		華道作品	
214	奥祥華 (池坊光明流清美会)	葉の舞		華道作品	
215	金井恵秋(草月流)	羽ばたけ・空へ!		華道作品	
216	辻祥苔(池坊清月派)	希		華道作品	
217	藤野恵松(龍生派)	枝・伸びる		華道作品	
218	堀田桃櫻(草月流)	想いは空へ		華道作品	
219	横井景(小原流)	Reborn		華道作品	

## 芸術の森事業部

### 主催事業

#### ⑤野田弘志ー真理のリアリズム 新規

日本のリアリズム絵画を代表する画家の一人である、野田弘志（1936ー）。本展では、学生時代やイラストレーター時代の作品から、画壇デビューを果たした頃の静物画群（「黒の時代／金の時代」）、その名が知られる契機となった新聞連載小説『湿原』（加賀乙彦著）の挿絵原画、自身の死生観を示したシリーズ「TOKI JIKU（非時）」「THE」、近年手掛けている肖像画シリーズ「聖なるもの」「崇高なるもの」までを紹介し、その画業の全容を概観した。



出品点数：183点

期 日：令和4年11月19日（土）  
～令和5年1月15日（日） 45日間

会 場：札幌芸術の森美術館

主 催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）、  
札幌テレビ放送株式会社

共 催：朝日新聞社

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

入場料：一般700円、高校・大学生500円、小・中学生  
300円

※札幌市文化芸術促進事業により半額

入場者数：18,688人

関連事業：（1）特別講演「野田弘志ーリアリズムを語る」

期 日：11月19日（土）

会 場：札幌芸術の森美術館 展示室

講 師：野田弘志

参加者数：68人

（2）学芸員によるギャラリーツアー

期 日：11月26日（土）、

令和5年1月7日（土）

会 場：札幌芸術の森美術館展示室

（3）クリスマスコンサート

期 日：12月17日（土）

会 場：札幌芸術の森美術館展示室

出 演：ヴァイオリン&オーボエデュオ more

関連記事：アイエム『[インターネットミュージアム]』

4月（WEB）、『O.tone vol.168』あるた出版  
2022年10月15日発行、『どさんこワイド』「電話でお絵描きですよ！」STV札幌テレビ放送2022年10月18日放送、『mamacha11月号』エムジー・コーポレーション2022年10月25日発行、『暮らし応援情報誌「おしゃべり広場」11月号』クレド/高橋広告事務所2022年10月30日発行、『広報さっぽろ11月号』「イベントカタログ」札幌市2022年11月1日発行、「札幌で画家・野田弘志さんの回顧展 観覧料半額も」札幌経済新聞2022年11月5日（WEB）『美術館博物館表』朝日新聞マリオン面2022年11月15日夕刊、『さっぽろ10区』「イベントガイド」北海道新聞2022年11月15日発行、『美術の窓12月号』「展覧会 PREVIEW」生活の友社2022年11月18日発行、『アートジェンダ』2022年11月19日（WEB）、『poroco12月号』「STAGE&ART」えんれいしゃ2022年11月19日発行、『ふりっぱー12月号』「施設別のイベント」総合商研2022年11月25日発行、『SAPPORO NAVIGATION』三角山放送局2022年11月25日、12月2日、9日放送、『ブレーン1月号』宣伝会議2022年12月1日発行

#### 出品作品

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横) cm	所蔵者
第1章 黎明ー学生からイラストレーター時代ー					
1-1	裸婦習作	1955年頃	油彩、カンヴァス	80.3×60.6	ふくやま美術館
1-2	静物	1958年	油彩、カンヴァス	22.2×27.5	個人蔵
1-3	浜名湖（仮称）	1954年	油彩、カンヴァス	37.9×45.7	個人蔵
1-4	白い風景	1962年	油彩、カンヴァス	162.2×130.3	豊橋市美術博物館

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横) cm	所蔵者
1-5	俳優島原智夫ノ肖像	1968年	油彩、カンヴァス	116.7×80.3	豊橋市美術館
1-7	花	不詳	ペン、紙	15.4×5.3	個人蔵 (ふくやま美術館寄託)
1-8	不詳 (雑誌のためのカット原画)	不詳	ペン、紙	4.6×2.9	作家蔵
1-9	不詳 (女性イラスト)	1970年頃	鉛筆、色鉛筆、紙	12.0×8.2	個人蔵
1-10	ナイフ	不詳	鉛筆、紙	17.8×25.0	個人蔵
1-11	My Minitopia My Minica '70 (三菱自動車ポスター)	1970年	印刷物	103.0×72.8	個人蔵
1-12	『まほうのベッド』挿絵 (講談社・世界名作図書館より)	1968年	書籍	(本体) 23.3×18.7×3.4	個人蔵
1-13	『バーゴルフ』表紙	1969-75年	印刷物	29.6×21.7ほか	作家蔵
1-14	なかにし礼「エロスの美学」挿絵	不詳	印刷物	25.5×29.0	作家蔵
1-15	『吉行淳之介傑作小説選集』挿絵	1967年頃	印刷物	17.2×11.0ほか	作家蔵
1-17	『横溝正史全集』広告	1970年頃	印刷物	25.7×36.6	作家蔵
1-19	『婦人倶楽部』口絵	1969年	印刷物	26.0×36.4	作家蔵
1-20	アールヌーボー展作展	不詳	印刷物	25.6×17.8	作家蔵
1-21	『暮らしの設計』カット	1966-70年	印刷物	25.6×18.2ほか	作家蔵
1-23	読売新聞カット 1970年1月1日号	1970年	印刷物	27.4×26.7	作家蔵
1-25	女性、花カット (原画)	不詳	ペン、インク、紙ほか	16.4×21.8ほか	作家蔵
1-26	ダブル、ギター ※特別追加出品	1970年	水彩、ケント紙	28.5×37.0	一番星画廊
<b>第2章 写実の起点と静物画 ー黒の時代/金の時代ー</b>					
2-1	アーティチョーク	1970年	油彩、板	18.0×14.0	豊橋市美術館
2-2	マンゴー	1970年	油彩、板	36.5×51.5	個人蔵 (ふくやま美術館寄託)
2-3	やませみ	1971年	油彩、板	80.3×116.7	豊橋市美術館
2-4	パネル	1971年	油彩、板	90.9×116.7	豊橋市美術館
2-5	石榴	1971年	油彩、カンヴァス	45.5×53.0	個人蔵
2-6	南瓜Ⅱ	1972年	油彩、カンヴァス	53.0×45.5	北海道伊達市
2-7	葡萄Ⅲ	1972年	油彩、カンヴァス	90.9×72.7	株式会社サンロード
2-8	マンゴスチンとシュガーアップルと南瓜	1973年	油彩、カンヴァス	60.6×40.9	豊橋市美術館
2-9	独楽	1974年	油彩、カンヴァス	100.0×80.3	豊橋市美術館
2-10	きもの	1974年	油彩、カンヴァス	116.7×90.9	豊橋市美術館
2-11	黒い風景 其の老	1974年	油彩、カンヴァス	91.0×72.8	豊橋市美術館
2-12	黒い風景 其の参	1973年	油彩、板、麻布	145.5×112.1	豊橋市美術館
2-13	メダロポリスⅢ	1978年	アクリル、カンヴァス	112.1×145.5	愛知県立時習館高等学校
2-14	貝と静物	1980年	油彩、板	50.0×60.6	一番星画廊
2-15	1・9・4・5	1986年	油彩、板	130.3×97.0	個人蔵
2-16	酒	1988年	油彩、カンヴァス	130.3×97.0	個人蔵
2-17	牡丹	1988年	油彩、板	44.5×44.5	ふくやま美術館
<b>第3章 挿画芸術 ー新聞連載小説『湿原』ー</b>					
3-1	ラーメン [第10回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.3×11.2	個人蔵
3-2	谷地榛の木の实 [第16回連載]	1983年	鉛筆、紙	6.6×8.9	個人蔵
3-3	裏道 [第18回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×11.9	個人蔵
3-4	ヘルメットと角材 [第21回連載]	1983年	鉛筆、紙	6.2×8.4	一番星画廊
3-5	乱闘 [第29回連載]	1983年	鉛筆、紙	6.6×8.9	個人蔵
3-6	散弾の実包12番 (ショットガン) [第31回連載]	1983年	鉛筆、紙	6.0×8.5	個人蔵 (ふくやま美術館寄託)
3-7	刑務所 [第39回連載]	1983年	鉛筆、紙	9.4×12.3	個人蔵
3-8	ホッケー [第40回連載]	1983年	鉛筆、紙	7.1×9.6	個人蔵
3-11	投石 [第45回連載]	1983年	鉛筆、紙	6.2×8.4	個人蔵
3-12	ゲバ棒 [第47回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	一番星画廊
3-13	鳥の巣 [第55回連載]	1983年	鉛筆、紙	23.0×25.0	個人蔵
3-14	雨 [第62回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-15	ヌマガレイ [第64回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-16	厚岸の大牡蠣 (地まきの牡蠣) [第72回連載]	1983年	鉛筆、紙	20.0×28.5	個人蔵
3-17	ブランコ (元町公園にて) [第75回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×11.9	個人蔵
3-18	遊郭跡 [第78回連載]	1983年	鉛筆、紙	6.6×8.9	個人蔵
3-21	谷地坊主 [第83回連載]	1983年	鉛筆、紙	6.6×8.9	個人蔵
3-22	エゾシカのオス [第92回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵 (ふくやま美術館寄託)
3-23	目 [第99回連載]	1983年	鉛筆、紙	15.5×15.5	豊橋市美術館
3-25	手を組む [第102回連載]	1983年	鉛筆、紙	9.4×12.3	個人蔵
3-26	機動隊員 [第106回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-27	安田講堂の塔の内部 [第110回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×11.9	個人蔵
3-29	スリの手 [第114回連載]	1983年	鉛筆、紙	7.1×9.6	豊橋市美術館
3-31	バリケードづくり [第119回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-32	塔の攻防 [第121回連載]	1983年	鉛筆、紙	9.8×13.4	豊橋市美術館
3-33	破壊 [第123回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×11.9	個人蔵
3-35	安田講堂 [第126回連載]	1983年	鉛筆、紙	7.1×9.6	個人蔵
3-36	安田講堂 [第129回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×11.9	個人蔵
3-37	塔の中 [第132回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×11.9	個人蔵
3-38	和香子 [第136回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×11.9	豊橋市美術館
3-39	塔の落城 [第142回連載]	1983年	鉛筆、紙	7.6×10.4	個人蔵
3-41	学生 [第145回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-43	びしょ濡れ [第155回連載]	1983年	鉛筆、紙	7.6×10.4	個人蔵
3-44	焼酎 [第157回連載]	1983年	鉛筆、紙	7.1×9.6	個人蔵
3-45	靖国神社の展示品 [第159回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×16.9	個人蔵
3-46	男女 [第163回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-47	ぶよぶよの床 [第164回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-48	車窓風景 (雪の根室本線) [第169回連載]	1983年	鉛筆、紙	11.1×13.1	個人蔵 (ふくやま美術館寄託)
3-49	舶来水 [第170回連載]	1983年	鉛筆、紙	13.8×18.8	豊橋市美術館
3-50	白鳥 [第172回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵

# 芸術の森事業部

## 主催事業

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横) cm	所蔵者
3-51	水下魚漁 [第174回連載]	1983年	鉛筆、紙	11.0×15.0	個人蔵
3-53	雪 [第181回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×16.9	個人蔵
3-55	子供 [第200回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-56	スケツウ漁船 [第204回連載]	1983年	鉛筆、紙	6.6×8.9	個人蔵
3-57	スケツウダラの競り(羅臼) [第205回連載]	1983年	鉛筆、紙	6.2×8.4	個人蔵
3-58	洞窟の水柱(羅臼) [第206回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-59	溪流(羅臼) [第207回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.3×11.2	個人蔵
3-60	雪山 [第208回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×11.9	個人蔵
3-61	縄 [第215回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×11.9	個人蔵
3-63	レーキ [第227回連載]	1983年	鉛筆、紙	8.8×16.9	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-65	落葉(東大構内で) [第235回連載]	1983年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-66	オオセグロカモメ [第239回連載]	1984年	鉛筆、紙	7.1×9.6	個人蔵
3-71	タバコ [第252回連載]	1984年	鉛筆、紙	6.8×6.8	個人蔵
3-72	竹棒とひも [第258回連載]	1984年	鉛筆、紙	7.6×10.4	豊橋市美術博物館
3-73	鹿とガンのコール [第266回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-74	谷地榛の木の枝 [第267回連載]	1984年	鉛筆、紙	7.1×9.6	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-75	オス鹿とマガモのコール [第274回連載]	1984年	鉛筆、紙	13.7×15.8	個人蔵
3-76	椿 [第287回連載]	1984年	鉛筆、紙	14.2×13.5	個人蔵
3-77	アジサイ [第288回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-81	和香子の手 [第301回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-82	砂 [第304回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-84	夕日 [第315回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-85	しらかばのカサ [第317回連載]	1984年	鉛筆、紙	14.2×12.0	個人蔵
3-86	海タケ [第324回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-92	タンポポのつぼみ [第345回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-94	アヤマ [第357回連載]	1984年	鉛筆、紙	7.6×10.4	個人蔵
3-96	椿 [第363回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-97	拘留所 [第364回連載]	1984年	鉛筆、紙	6.6×8.9	個人蔵
3-98	拘留所の壁 [第368回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-100	やまぶき [第373回連載]	1984年	鉛筆、紙	7.1×9.6	個人蔵
3-101	四谷駅前鉄橋の外燈 [第374回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	豊橋市美術博物館
3-103	外燈 [第381回連載]	1984年	鉛筆、紙	7.6×10.4	個人蔵
3-106	根室の燈台で [第392回連載]	1984年	鉛筆、紙	6.6×8.9	個人蔵
3-107	女の手 [第395回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-108	男、女 [第396回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-109	男の手 [第400回連載]	1984年	鉛筆、紙	8.3×11.2	個人蔵
3-111	東京駅の時計 [第411回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-113	きずついたハンボツミズナギドリ [第420回連載]	1984年	鉛筆、紙	8.3×11.2	個人蔵
3-114	オスビス・ド・ボース'61 [第421回連載]	1984年	鉛筆、紙	10.5×14.3	個人蔵
3-115	シャトー・マルゴー '53 [第422回連載]	1984年	鉛筆、紙	6.6×8.9	個人蔵
3-116	ワインの栓 [第423回連載]	1984年	鉛筆、紙	14.5×19.0	個人蔵
3-117	凧 [第427回連載]	1984年	鉛筆、紙	11.8×16.1	豊橋市美術博物館
3-118	飛ぶカモメ [第431回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-119	カラス [第434回連載]	1984年	鉛筆、紙	6.6×8.9	個人蔵
3-121	中国で(3) [第457回連載]	1984年	鉛筆、紙	13.8×18.8	個人蔵
3-122	中国で(6) [第461回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-124	福寿草 [第470回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-125	海はおずき [第478回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-126	カラフトハナシノブ [第481回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-127	アヒル [第488回連載]	1984年	鉛筆、紙	8.8×11.9	豊橋市美術博物館
3-128	手 [第490回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-129	厚夫 [第503回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-131	ぼたん [第507回連載]	1984年	鉛筆、紙	9.8×13.4	個人蔵
3-133	千葉刑務所 [第519回連載]	1984年	鉛筆、紙	10.5×14.3	個人蔵
3-134	ツブ貝 [第521回連載]	1984年	鉛筆、紙	8.3×11.2	個人蔵
3-135	池にコイ [第532回連載]	1984年	鉛筆、紙	7.1×9.6	個人蔵
3-136	二羽のカラス [第536回連載]	1984年	鉛筆、紙	6.6×8.9	個人蔵
3-137	カラス [第537回連載]	1984年	鉛筆、紙	6.2×8.4	個人蔵
3-138	電線にカラス [第541回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-140	ニワトリ [第552回連載]	1984年	鉛筆、紙	15.0×20.0	豊橋市美術博物館
3-141	海松に寄生する生物 [第557回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-142	破片 [第560回連載]	1984年	鉛筆、紙	13.5×14.1	個人蔵
3-143	セミのヌケガラ [第571回連載]	1984年	鉛筆、紙	11.0×14.0	個人蔵
3-144	厚夫 [第573回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-145	カラス [第581回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-146	ロマネンティのモンラッシェ1976 [第582回連載]	1984年	鉛筆、紙	10.3×14.0	個人蔵
3-147	カラス [第591回連載]	1984年	鉛筆、紙	5.9×8.0	個人蔵
3-148	わかさぎ釣り [第602回連載]	1985年	鉛筆、紙	7.6×10.4	個人蔵
3-149	北海道風景 [第606回連載]	1985年	鉛筆、紙	8.3×11.2	個人蔵
3-150	コーヒーカップ [第607回連載]	1985年	鉛筆、紙	19.7×24.5	個人蔵
3-151	風蓮川口 [第608回連載]	1985年	鉛筆、紙	11.0×15.0	個人蔵
3-152	ミズナラ [第609回連載]	1985年	鉛筆、紙	8.8×11.9	個人蔵
3-153	バラ [第611回連載]	1985年	鉛筆、紙	10.5×14.3	個人蔵
3-154	根室風景 [第615回連載]	1985年	鉛筆、紙	8.8×11.9	個人蔵

### 第4章 風景を描く ―自然への憧憬―

4-1	白根火山	1989年	油彩、カンヴァス	60.6×72.7	個人蔵
4-3	トドワラ(北海道野付半島・8月)	1990年	油彩、カンヴァス	72.7×90.9	法人蔵
4-4	摩周湖・霧	1996年	油彩、カンヴァス	91.0×91.0	ウッドワン美術館

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横) cm	所蔵者
4-5	竹	2000年	油彩、カンヴァス	90.9×90.9	広島県
4-6	朝の美ヶ原	2005年	油彩、カンヴァス	130.0×162.0	松本市美術館
4-7	オロフレ峠	2010年	油彩、カンヴァス	130.3×162.1	ホキ美術館
<b>第5章 生と死を描く -TOKIJIKU シリーズ/ THE シリーズ-</b>					
5-1	貝と化石	不詳	油彩、カンヴァス	21.8×27.2	個人蔵
5-2	化石のある静物	1988年	油彩、カンヴァス	72.8×91.0	ふくやま美術館
5-3	ガラスと骨 II	1990年	油彩、カンヴァス	146.0×112.0	ふくやま美術館
5-4	Skeleton	1995年	油彩、カンヴァス	45.7×52.9	豊田市美術館
5-5	TOKIJIKU (非時) I Egg	1991年	油彩、カンヴァス	145.3×111.3	豊橋市美術博物館
5-6	TOKIJIKU (非時) VII Pyramid	1992年	油彩、カンヴァス	162.1×130.3	一番星画廊
5-10	TOKIJIKU (非時) XII Wing	1993年	油彩、カンヴァス	162.1×130.3	豊橋市美術博物館
5-12	TOKIJIKU (非時) XVII	1995年	油彩、カンヴァス	162.1×130.3	豊田市美術館
5-13	TOKIJIKU (非時) XIX Hornet's Nest	1995-96年	油彩、カンヴァス	162.1×130.3	一番星画廊
5-14	TOKIJIKU (非時) XXI Mammoth II	1996-2002年	油彩、カンヴァス	162.1×162.1	一番星画廊
5-15	TOKIJIKU (非時) XXIII Ankole Longhorn	2000-04年	油彩、カンヴァス	162.1×130.3	豊橋市美術博物館
5-16	THE-1	1997-2000年	油彩、カンヴァス	162.1×162.1	一番星画廊
5-17	THE-2	1997-2000年	油彩、カンヴァス	162.1×162.1	一番星画廊
5-18	THE-4	1999-2007年	油彩、カンヴァス	162.1×130.3	河村アートプロジェクト (北海道伊達市寄託)
5-19	THE-7	2002-05年	油彩、カンヴァス	162.1×162.1	広島市立大学芸術資料館
5-20	THE-8	2002-07年	油彩、カンヴァス	130.3×162.1	河村アートプロジェクト (北海道立近代美術館寄託)
5-21	THE-9	2003-04年	油彩、カンヴァス	162.1×130.3	姫路市立美術館
<b>第6章 存在の崇高を描く -聖なるものシリーズ/ 崇高なるものシリーズ-</b>					
6-1	聖なるもの THE-I	2009年	油彩、カンヴァス	200.0×150.0	ホキ美術館
6-2	聖なるもの THE-III	2011年	油彩、カンヴァス	130.3×162.1	個人蔵
6-4	聖なるもの THE-V	2014年	油彩、カンヴァス	162.1×130.3	北海道伊達市
6-5	聖なるもの THE-VI	2015年	油彩、カンヴァス	162.1×162.1	北海道伊達市
6-6	「崇高なるもの」OP.1-1	2014年	油彩、カンヴァス	200.0×150.0	個人蔵
6-7	「崇高なるもの」OP.1-2	2013年	油彩、カンヴァス	200.0×150.0	個人蔵
6-8	「崇高なるもの」OP.1-3	2019年	油彩、カンヴァス	200.0×150.0	個人蔵
6-11	「崇高なるもの」OP.7	2018年	油彩、カンヴァス	200.0×150.0	ホキ美術館

## 芸術の森事業部

### 主催事業

#### ⑥札幌美術展 昨日の名残 明日の気配

パンデミック以降、あらためて問題があらわとなった自然と人との関係、そして人と人との結びつきをテーマに、札幌を中心に活躍する8人のアーティストたちの作品を展示。かつてあった「昨日の名残」と、これからを予感させる「明日の気配」の狭間で、おぼろげな輪郭をもつ私たちの現在地を探った。出品作家は上村洋一、北川陽稔、熊谷文秀、佐竹真紀、進藤冬華、中島洋、半谷学、渡辺行夫



出品点数：81点

期 日：令和5年1月28日（土）～3月12日（日）  
38日間

会 場：札幌芸術の森美術館

主 催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）、  
北海道新聞社

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

助 成：独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

入場料：一般900円、高校・大学生500円、小・中学生300円

入場者数：4,023人

関連記事：『アルテピア第81号』『ミュージアムインフォメーション』北海道美術館協会2022年9月22日発行、『アートジュンダ』2022年12月15日（WEB）、『広報さっぽろ1月号』『イベントカタログ』札幌市2023年1月1日発行、『アプリマガジン「週刊じゃらん」』『イベントカレンダー』2023年1月5日（アプリ配信）

#### 出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横または高さ×幅×奥行 cm)	所蔵者
1	熊谷文秀	HAPPA	2015	FRP、ステンレス、PC、ACモーター、サーボモーター、圧力センサー	120.0×120.0×150.0	作家蔵
2	熊谷文秀	ABS	2016	アクリル、塩ビ、PC、サーボモーター、LED、圧力センサー	130.0×120.0×150.0	作家蔵
3	熊谷文秀	せんちゃん	2017	MDF（木質ボード）、アクリル、真鍮、塩ビ、PC、ACモーター、ソレノイド、音センサー	90.0×120.0×120.0	作家蔵
4	熊谷文秀	RUNNER	2019	MDF（木質ボード）、ポリカーボネイト、塩ビ、PC、DCモーター、LED	160.0×90.0×70.0	作家蔵
5	熊谷文秀	SPROUT	2020	MDF（木質ボード）、ポリカーボネイト、PC、サーボモーター、ACモーター、LED	180.0×85.0×75.0	作家蔵
6	熊谷文秀	RESONANCE MACHINE	2020	MDF（木質ボード）、ポリカーボネイト、塩ビ、PC、DCモーター、LED	180.0×160.0×80.0	作家蔵
7	熊谷文秀	WALKER	2021	MDF（木質ボード）、アクリル、PLA、紙、塩ビ、PC、サーボモーター、LED	180.0×90.0×90.0	作家蔵
8	熊谷文秀	いろは	2021	MDF（木質ボード）、PC、サーボモーター	35.0×45.0×45.0	作家蔵
9	熊谷文秀	DIALOG MACHINE 2	2021	MDF（木質ボード）、ポリカーボネイト、塩ビ、PC、DCモーター、LED	175.0×190.0×135.0	作家蔵
10	熊谷文秀	DIALOG MACHINE - mini	2022	MDF（木質ボード）、PLA、塩ビ、PC、サーボモーター、LED	160.0×90.0×60.0	作家蔵
11	熊谷文秀	REMNANTS OF DIALOG MACHINE #1	2023	MDF（木質ボード）	60.3×44.8×2.5	作家蔵
12	熊谷文秀	REMNANTS OF DIALOG MACHINE #2	2023	MDF（木質ボード）	62.0×43.9×2.5	作家蔵
13	熊谷文秀	REMNANTS OF DIALOG MACHINE #3	2023	MDF（木質ボード）	60.3×44.8×1.5	作家蔵
14	熊谷文秀	REMNANTS OF RESONANCE MACHINE #1	2023	MDF（木質ボード）	60.4×44.9×2.0	作家蔵
15	熊谷文秀	REMNANTS OF RESONANCE MACHINE #2	2023	MDF（木質ボード）	60.8×45.0×3.5	作家蔵
16	熊谷文秀	REMNANTS OF RESONANCE MACHINE #3	2023	MDF（木質ボード）	60.5×45.2×3.0	作家蔵
17	熊谷文秀	REMNANTS OF RESONANCE MACHINE #4	2023	MDF（木質ボード）	60.4×45.1×2.0	作家蔵
18	熊谷文秀	REMNANTS OF SPROUT #1	2023	MDF（木質ボード）	60.8×45.5×1.5	作家蔵
19	熊谷文秀	REMNANTS OF SPROUT #2	2023	MDF（木質ボード）	60.0×45.0×2.5	作家蔵
20	熊谷文秀	REMNANTS OF IROHA	2023	MDF（木質ボード）	60.0×45.1×2.0	作家蔵
21	佐竹真紀	タイムカプセル	2023	映像（12分13秒）		作家蔵
22	進藤冬華	記録-人物像	2016	写真	24.0×18.0	作家蔵
23	進藤冬華	さまざまな形（小さい布の作品一式）	2010-2013頃	布	可変	作家蔵
24	進藤冬華	架空の衣装（衣装一式）	2014-2016	布、ぬいぐるみ、ビニール、モモヒキなど	可変	作家蔵
25	進藤冬華	最後の住処（窓、テーブルと椅子、洗面台）	2016-2019頃	布	窓130.0×145.0、 テーブル800.0×1050.0、 椅子55.0×40.0、 洗面台135.0×60.0	作家蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横または高さ×幅×奥行 cm)	所蔵者
26	進藤冬華	祖母から習った単衣または浴衣の作り方	2023	冊子	21.0×29.7	作家蔵
27	進藤冬華	大地	2023	ターボリン	130.0×200.0	作家蔵
28	進藤冬華	三角屋根の家の増改築	2023	インクジェットプリント、パネル	84.1×118.9	作家蔵
29	中島洋	死者の唄 水の声	2023	ビデオインスタレーション デジタル映像(8ミリフィルムからの変換含む)、 プロジェクター、スクリーン、土、水、 水道管蛇口、水槽	可変	作家蔵
30	半谷学	さしがさばなの園	2022-2023	アッサンブラージュ、再生製紙技法 廃棄されたもの(傘の部品、ロープから取り 出した繊維、いぐさの切落とし、顔料)	可変	作家蔵
31	渡辺行夫	Power of plant 1	2016	大イタドリ	125.0×70.0×55.0	作家蔵
32	渡辺行夫	Power of plant 2	2017	大イタドリ	150.0×100.0×350.0	作家蔵
33	渡辺行夫	オドリ木	2021	大イタドリ	130.0×120.0×60.0	作家蔵
34	渡辺行夫	時を漂う	2021	大イタドリ	35.0×25.0×40.0	作家蔵
35	渡辺行夫	地下茎植物	2022	大イタドリ	100.0×400.0×100.0	作家蔵
36	渡辺行夫	土中の声	2022	大イタドリ	220.0×90.0×80.0	作家蔵
37-77	北川陽稔	Invisible Red	2022	インクジェットプリント、アルミマウント	103.0×145.6、72.8×103.0、 42.0×59.4、29.7×42.0	作家蔵
78	北川陽稔	Imitation of Plant Ecology No.1	2023	鉄、金属板、プロジェクター (テクニカルディレクター：須之内 元洋)	182.0×90.0×90.0	作家蔵
79	北川陽稔	Imitation of Plant Ecology No.2	2023	鉄、金属板、プロジェクター (テクニカルディレクター：須之内 元洋)	90.5×92.0×92.0	作家蔵
80	上村洋一	no human, no nature	2019	アンティーク・ポストカード、解けた流水の水	113.0×170.0	個人蔵
81	上村洋一	scratch the snow field	2021	ビデオインスタレーション(2分33秒)		作家蔵

## 芸術の森事業部

### 主催事業

#### ⑦札幌芸術の森美術館コレクション選 サッポロ レトロ&モダン

2022年の札幌市市制施行100周年を記念し、当館のコレクションの中から昭和20年代から40年代頃までの都市化が進んだ札幌の風景を描いた絵画を中心に展覧した。また、北海道放送株式会社が記録した、昭和30年代の札幌の貴重な映像で当時を振り返った。

出品点数：11点

期 日：令和4年7月16日（土）～9月11日（日）  
58日間

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

主 催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

協 力：北海道放送株式会社

入場料：無料

入場者数：9,443人

関連記事：「急速に都市化 札幌の姿」読売新聞2022年8月5日朝刊



#### 出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法（縦×横または高さ×幅×奥行cm）
1	伊藤仁	創成川畔	1979年	エッチング、アクアチント、紙	29.5×11.8
2	伊藤仁	さっぽろの郷愁（札幌時計台）	1979年	エッチング、アクアチント、手彩色、紙	23.7×19.6
3	小野州一	大通公園	1962年	油彩、キャンヴァス	53.2×45.7
4	原義行	札幌落日	制作年不詳	油彩、キャンヴァス	53.0×45.7
5	長谷川三雄	大通風景	制作年不詳	油彩、キャンヴァス	41.0×60.6
6	八木保次	〔冬の豊平館〕	1945年	油彩、キャンヴァス	50.0×60.3
7	桜庭彦治	真駒内の並木道	1973年	油彩、キャンヴァス	116.7×116.6
8	桜庭彦治	北の夏（真駒内風景）	1971年	油彩、キャンヴァス	131.0×131.0
9	一木万寿三	リンゴの木・サッポロ	1962年	油彩、キャンヴァス	130.3×97.0
10	田中忠雄	果樹園早春	1948年	油彩、キャンヴァス	45.2×60.9
11	田中忠雄	〔リンゴ収穫〕	1946-1948年頃	油彩、板	23.5×33.0

全て札幌芸術の森美術館蔵

⑧札幌芸術の森美術館コレクション選

加藤顕清 そこに「人間像」はあるか

日本の彫刻界において昭和初期より頭角を現し、1960年代にかけてその発展を支えた加藤顕清。収蔵作品の中から、終生テーマとした人物像や、北海道との関わりをうかがわせる馬の彫刻を中心に15点を展示。アカデミックな彫刻の一典型をつくりあげるとともに、後進の育成にも力を注いだ作家の作品を紹介した。



出品点数：15点

期 日：令和4年11月19日（土）

～令和5年3月12日（日）83日間

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

主 催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：14,837人

関連記事：『ふりっぱー1月号』『施設別のイベント』総合商研2022年12月15日発行

出品作品 No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法（縦×横または高さ×幅×奥行cm）
1	加藤顕清	孤独	1952年	ブロンズ	173.0×50.0×55.0
2	加藤顕清	馬	1966年	石膏	28.0×38.0×9.0
3	加藤顕清	馬	1946年頃	石膏	31.0×32.5×11.0
4	加藤顕清	駿馬	1953年	石膏	25.5×35.0×8.0
5	加藤顕清	南極探検隊樺太犬慰霊碑	1960年	石膏	24.2×115.3×4.8
6	加藤顕清	裸婦臥像	1950年頃	石膏	16.0×23.0×8.5
7	加藤顕清	像	1961年	石膏	21.5×22.5×9.5
8	加藤顕清	裸婦立像	制作年不詳	石膏	33.0×9.0×10.0
9	加藤顕清	トルソ	1965年	ブロンズ	17.5×8.0×5.5
10	加藤顕清	盲目の首	1960年	石膏	19.0×14.5×18.0
11	加藤顕清	アイヌ青年	1960年頃	石膏	19.0×8.5×11.0
12	加藤顕清	女の首B	1960年頃	ブロンズ	10.8×8.5×10.0
13	加藤顕清	裸婦臥像	制作年不詳	石膏	16.0×20.0×8.5
14	加藤顕清	横たわる裸婦	1961年頃	ブロンズ	11.0×26.0×12.2
15	加藤顕清	横たわる裸婦	1961年頃	石膏	11.5×26.4×12.8

全て札幌芸術の森美術館蔵

## 2 野外美術館

### ① ボランティアによる作品解説及び鑑賞サポート

研修を積んだボランティアスタッフによる一般来館者への作品解説を行った。

期 日：令和4年4月29日（金・祝）  
～11月3日（木・祝）

会 場：札幌芸術の森野外美術館

参加人数：387人

解説スタッフ：27人

### ② 彫刻鑑賞ノート、野外美術館シールマップ

札幌芸術の森野外美術館の鑑賞の手引となる小冊子を販売。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森野外美術館 券売、札幌芸術の森美術館ミュージアムショップ

販売数：彫刻鑑賞ノート…293冊  
野外美術館シールマップ…314冊  
(令和5年3月末現在)

## 3 教育普及事業

### ① 佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ

事前予約、または予約なしで創作体験できるプログラムほか、小学校の自由研究向けのワークショップを開催した。

[ワークショップ]

(1) ねんどで彫刻

期 日：通年

会 場：佐藤忠良記念子どもアトリエ

参加料：400円

参加者数：505人

(2) まんがのペンでお絵かき

漫画制作のプロセスを体験することをねらいとし、漫画家が実際に使うGペンなどの道具を用いたワークショップを開催した。

期 日：令和4年7月28日（木）～31日（日）、8月4日（木）～7日（日）、11日（木）～14日（日）、20日（土）、21日（日） 計14日間、28回

会 場：佐藤忠良記念子どもアトリエ

講 師：佐藤忠良記念子どもアトリエスタッフ

参加料：1,000円

参加者数：107人

(3) たべないであじわう！？りんご

りんごを言語化、造形、スケッチといった様々な方法で観察し新たな発見を楽しんでもらうワークショップを開催した。

期 日：令和4年12月3日（土）、4日（日）  
2日間、2回

会 場：佐藤忠良記念子どもアトリエ

講 師：佐藤忠良記念子どもアトリエスタッフ

参加料：1,000円

参加者数：8人

(4) ちびっこ油絵

小さな子どもでも本格的な油絵を楽しめるワークショップを開催した。

期 日：令和5年1月7日（土）～1月9日（月・祝）、14日（土）、15日（日）、21日（土）、22日（日）、28日（土）、29日（日）、2月4日（土）、5日（日）、11日（土・祝）、12日（日）、18日（土）、19日（日） 計15日間、30回

会 場：佐藤忠良記念子どもアトリエ

講 師：佐藤忠良記念子どもアトリエスタッフ

参加料：1,500円

参加者数：116人

## ②子どもの文化芸術体験事業

### ハロー！ミュージアム

市内の小学校5年生児童を対象に、鑑賞活動及び表現活動の楽しさを体験するプログラムを実施。実施前に教員を対象とした説明会を開催し、各コースの会場において事業の手続きや活動内容等の説明及び事前学習に関する模擬授業等を行い、活動で使用する教材「事前学習キット」を配付した。

#### 【芸術の森美術館コース】

札幌芸術の森美術館/鑑賞

#### 【野外美術館コース】

札幌芸術の森野外美術館/鑑賞

#### 【子どもアトリエコース】

佐藤忠良記念子どもアトリエ/鑑賞＋表現

#### 【彫美・鑑賞コース】

本郷新記念札幌彫刻美術館/鑑賞

#### 【彫美・表現コース】

本郷新記念札幌彫刻美術館/鑑賞＋表現

期 日：令和4年5月17日（火）

～令和5年2月28日（火）

会 場：札幌芸術の森美術館、札幌芸術の森野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ、本郷新記念札幌彫刻美術館 本館・記念館

主 催：札幌芸術の森美術館、本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

参加児童数：13,622人

参加学校数：市内小学校192校

活動回数：計209回

※芸術の森美術館コース81校88回5,827人、野外美術館コース87校87回6,787人、子どもアトリエコース11校11回306人、彫美・鑑賞コース11校18回626人、彫美・表現コース2校5回

対 象：札幌市内の小学校及び特別支援学校小学部の第5学年児童

## 4 利用促進

### ①ミュージアムショップ運営

平成25年度より美術館が直接運営し、展覧会関連グッズ及び図録、地元作家の作品やオリジナルグッズを販売した。

#### （1）グッズ販売

展覧会関連グッズをはじめ、アーティストの作品をモチーフにしたグッズや、デザイン性に富んだグッズなどを販売した。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館ミュージアムショップ

#### （2）地域作家による作品・グッズ紹介

ミュージアムショップの一部に地域作家の作品やグッズを取り扱うコーナーを設け、地域作家について紹介するとともに作品を販売した。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館ミュージアムショップ

#### （3）オリジナルグッズ販売

芸術の森美術館オリジナルボールペンの新規作成・販売を行った。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館ミュージアムショップ

#### （4）オンラインショップ

札幌芸術の森美術館が作成した展覧会図録や、芸術の森のオリジナル商品を販売するオンラインショップとして、全国各地から手軽に商品を購入できる環境を整えた。

期 日：通年

#### （5）佐藤忠良記念子どもアトリエ

佐藤忠良の所蔵作品のオリジナルポストカードを販売。

期 日：通年

会 場：佐藤忠良記念子どもアトリエ、札幌芸術の森美術館ミュージアムショップ

## 5 人材育成

### ①博物館実習生受け入れ

学芸員資格取得希望の学生7人を対象として、博物館実習を行った。

期 日：令和4年10月25日（火）～28日（金）、  
31日（月）、11月1日（火） 6日間

### ②ボランティア受け入れ

#### 【作品解説ボランティア】

平成6年から継続している野外美術館の作品解説に引き続き活動の場を提供するとともに、資質を高めるべく、研修を行った。

作品解説ボランティア：27人

活動期間：通年

#### 【協力員（資料整理部）】

新聞記事のスクラップ・スキャン・リスト化、供覧物の仕分け、DMスキャン・リスト化、旧蔵図書整理、展覧会関連作業。

資料整理部：12人

活動期間：通年

#### 【協力員（教育サービス部）】

子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」の参加校増加に伴い、平成23年度から体験授業事業の補助を行うため導入。毎年募集し、養成講座を行い、育成指導している。

教育サービス部：70人

活動期間：通年

## 6 刊行物

図録「札幌美術展 昨日の名残 明日の気配」B5判  
変型 80頁 編集／札幌芸術の森美術館 発行／  
中西出版株式会社

7 資料収集状況

札幌芸術の森美術館 所蔵作品点数

技法的区分	点数	構成比	分野別内訳 * ( ) 内は、令和4年度収蔵作品数			取得方法別	小計
			北海道の美術	日本の近現代美術	海外の美術		
油彩画	647	36.3%	629(9)	18	-	購入	8
						受贈	616
						管理換	23
水彩・素描	156	8.8%	108	45	3	購入	23
						受贈	132
						管理換	1
日本画	41	2.3%	39	2	-	購入	-
						受贈	38
						管理換	3
版画	346	19.5%	286	33	27(2)	購入	5
						受贈	340
						管理換	1
写真	82	4.6%	36	45	1	購入	-
						受贈	82
彫刻	353	19.7%	173(5)	77	29	購入	100
						受贈	178
						管理換	1
野外美術館の彫刻			21	40	13	購入	67
						受贈	2
						賃借	5
工芸	10	0.6%	9	1	-	購入	-
						受贈	10
デザイン	31	1.8%	28	3	-	受贈	31
部族芸術	118	6.7%	-	-	118	購入	-
						受贈	118
合計	1,784	100.0%	1,329(14)	264	191(2)	1,784(16)	1,784
			74.4%	14.8%	10.8%	100.0%	

令和5年3月末現在

8 新収蔵資料

No.	種別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横または高さ×幅×奥行 cm)	収集状況
1	油彩	菊地又男	メノコ	1946年	油彩、キャンバス	53.1×45.4	寄贈
2	油彩	菊地又男	摩周湖の春	1948年	油彩、キャンバス	38.0×45.0	寄贈
3	油彩	砂田友治	呼ぶ	1960年	油彩、キャンバス	130.0×91.7	寄贈
4	油彩	砂田友治	舟と男	1970年	油彩、キャンバス	129.5×161.4	寄贈
5	油彩	砂田友治	水匂う原野	1984年	油彩、キャンバス	162.3×194.5	寄贈
6	油彩	砂田友治	天使宇宙に舞う	1999年	油彩、キャンバス	194.3×227.6	寄贈
7	油彩	竹岡羊子	リハーサル・エトセトラ	1988年	油彩、キャンバス	193.9×258.0	寄贈
8	油彩	竹岡羊子	記念撮影…それから	1999年	油彩、キャンバス	193.9×258.0	寄贈
9	油彩	竹岡羊子	燦めく サンマルコ	2009年	油彩、キャンバス	193.9×258.0	寄贈
10	版画	朴光烈	Memory of the Space	1993年	ミクストメディア	75.3×54.5×2.5	寄贈
11	版画	朴光烈	Memory of the Space-A buried story	2005年	手漉き紙によるキャストイング、スタンプ	106.5×56.5×2.5	寄贈
12	彫刻	砂澤ビッキ	午前3時の玩具	1987年	木彫	45.5×31.0×48.0	寄贈
13	彫刻	藤川叢三	横たわる裸婦 2	1963年頃	ブロンズ	18.5×34.5×15.0	寄贈
14	彫刻	藤川叢三	裸婦 1	1970年	ブロンズ	53.0×30.5×34.0	寄贈
15	彫刻	藤川叢三	頭部	1978年	石膏	34.7×30.0×36.5	寄贈
16	彫刻	本田明二	[母子像]	1966年	テラコッタ	76.0×45.0×33.0	寄贈

## 芸術の森事業部

### 主催事業

## 9 資料の保存・修復

種別	作家・作品	制作年	修復年月日	修復状況・修復業者
彫刻	ハンス・シュタインブレンナー《人物》	1980年	2022年4月5日～21日	防腐剤の塗布。修復者：札幌芸術の森美術館
彫刻	マルタ・パン《浮かぶ彫刻・札幌》小（穴あり）	1986年	2022年7月26日～10月20日	内部乾燥、防水処理、再塗装を実施。修復業者：DAY CRAFT HOME L.i.b gallery 運搬：株式会社四宮造園
彫刻	砂澤ビッキ《四つの風》	1986年	2022年11月9日	防腐剤の塗布。修復者：株式会社青山アリアザープ
彫刻	新宮晋《雲の牧場》	1990年	2022年12月8日	向かって右側上下2点のベアリング部の不調により撤去、彫刻アトリエにて保管。来年度の修復、帆に張替えを予定。修復業者：東興株式会社
彫刻	福田繁雄《椅子になって休もう》	1990年	2022年12月16日～2023年3月29日	昨年度冬季休館中に積雪過多により前から4体目の表面に亀裂が生じ、その亀裂箇所へポリウレタンパテによる充填補強、再塗装。1～3体目塗装表面露出箇所の再塗装。修復業者：松原建築

## 10 資料の貸与

No.	作家名	資料名	貸与先	貸与期間	目的（会場）
1	羽生輝	海霧（北岬Ⅱ）	北海道立近代美術館	2022年3月30日～7月10日	特別展「日本画家 羽生輝展 悠久の岬を望む」へ出品のため（北海道立近代美術館）
2	羽生輝	海霧	北海道立近代美術館	2022年3月30日～7月10日	特別展「日本画家 羽生輝展 悠久の岬を望む」へ出品のため（北海道立近代美術館）
6	藤川叢三	立像4	本郷新記念札幌彫刻美術館	2022年5月27日～9月16日	特別展「生誕100年 藤川叢三展」へ出品のため（本郷新記念札幌彫刻美術館）
7	藤川叢三	立像7	本郷新記念札幌彫刻美術館	2022年5月27日～9月16日	特別展「生誕100年 藤川叢三展」へ出品のため（本郷新記念札幌彫刻美術館）
8	藤川叢三	立像の素描	本郷新記念札幌彫刻美術館	2022年5月27日～9月16日	特別展「生誕100年 藤川叢三展」へ出品のため（本郷新記念札幌彫刻美術館）
3	澤枝重雄	明治天皇鹵簿函館英国領事館前通御ノ図	北海道立近代美術館	2022年7月5日～8月31日	特別展「没後100年 中原梯二郎展」へ出品のため（北海道立近代美術館）
4	オーギュスト・ロダン	眠れる女（裸婦）	北海道立近代美術館	2022年7月5日～8月31日	特別展「没後100年 中原梯二郎展」へ出品のため（北海道立近代美術館）
5	萩原守衛	文覚	北海道立近代美術館	2022年7月5日～8月31日	特別展「没後100年 中原梯二郎展」へ出品のため（北海道立近代美術館）
9	中原梯二郎	憩える女	北海道立近代美術館	2022年7月5日～8月31日	特別展「没後100年 中原梯二郎展」へ出品のため（北海道立近代美術館）
10	高村光太郎	裸婦坐像	北海道立近代美術館	2022年7月5日～8月31日	特別展「没後100年 中原梯二郎展」へ出品のため（北海道立近代美術館）
11	戸張孤雁	トルソ（女の胴）	北海道立近代美術館	2022年7月5日～8月31日	特別展「没後100年 中原梯二郎展」へ出品のため（北海道立近代美術館）
12	保田龍門	裸婦立像	北海道立近代美術館	2022年7月5日～8月31日	特別展「没後100年 中原梯二郎展」へ出品のため（北海道立近代美術館）
13	砂澤ビッキ	集吸呼B	北海道立近代美術館	2022年11月11日～2023年1月28日	特別展「砂澤ビッキ展」へ出品のため（北海道立近代美術館）
14	砂澤ビッキ	神の舌	北海道立近代美術館	2022年11月11日～2023年1月28日	特別展「砂澤ビッキ展」へ出品のため（北海道立近代美術館）

## 11 収蔵図書

冊

種別	分類	令和3年度まで	令和4年度	合計
購入	和書	2,318	8	2,326
	洋書	141	0	141
受贈	和書	12,315	617	12,932
	洋書	726	12	738
計		15,500	637	16,137

（令和5年3月末現在）

## 工 芸 ・ 工 房 事 業

### 1 展覧会事業

#### ①第22期工芸館常設展示事業

クラフト作家への展示機会の提供、市民には良質の作品と出会い購入できる場の提供により、クラフト文化の普及を図るため、工芸館の展示ホールに常設展示スペースを設置している。開設から22期目となる今年度は、夏秋冬の3期ごとに20数人の作家を入れ替えた。作品には作家からのメッセージなどを添えて、来館者が作り手に対してより親しみを持てる展示となるよう工夫した。

今年度の出品作家は北海道内で活動する62名。

期 日：令和4年7月16日（土）

～令和5年3月26日（日）

会 場：工芸館展示ホール・クラフトギャラリー “ベストポケット”

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

入場者数：41,040人

#### ②北海道陶芸協会小品展 暮らしとやきもの

**新規**

10/22から11/6まで札幌芸術の森美術館で開催された「北海道陶芸の変遷 vol.2 -現代陶芸の今-」の関連事業として、北海道陶芸協会の会員作家18名による器などの小品を展示、販売。

期 日：令和4年9月23日（金・祝）～11月6日（日）

45日間

会 場：工芸館展示ホール

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、北海道陶芸協会

入場者数：4,270人

#### ③第28回芸術の森地区文化祭

芸術の森地区の芸術・文化振興のため、芸術の森地区連合会が中心となり開催している「芸術の森地区文化祭」。28回目となった同文化祭には、芸術の森地区で制作活動をされている個人の方や、保養センター、老人福祉センター、札幌市立大学の学生等が参加し、水彩画、油彩画、陶芸、手芸、墨絵、絵手紙等、多種多様な作品を展示。多くの地域住民が作品を通して交流できる場となっている。

期 日：令和4年11月5日（土）、6日（日）2日間

会 場：札幌芸術の森 芸術の森センター・アートロビー及びレクチャー室

主 催：芸術の森地区連合会

協 力：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

入場者数：467人

参加団体：保養センター駒岡（水彩画教室・陶芸教室）、南老人福祉センター、中田教室（手工芸）、自然会（墨絵）、絵手紙教室、札幌市立大学、北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校、札幌市立駒岡小学校・札幌市立芸術の森小学校・常盤中学校 ほか

## 芸術の森事業部

### 主催事業

## 2 普及事業

### ① 講習会事業

毎年、陶芸、テキスタイル、木工、七宝、ガラス、金工、版画の各分野の講習会を毎月企画し、初級から上級までの幅広い内容の個人向け講習会を開催。また、修学・研修旅行やPTA、企業等の団体向けの「グループ講習会」、クラフト工房来館者が事前の申し込みなしで気軽に作品制作を体験できる「ふらっとクラフト体験」、札幌市内の小学校や商業施設などに出張してものづくり体験の場を提供したアウトリーチ活動などを実施。新型コロナウイルス感染拡大対策を十分に施した上で、一年を通して開催した。また前年度に引き

続き気軽に制作体験出来るキット「おうち de クラフト」をクラフト工房窓口やオンラインストアなどで販売し、時間や場所に縛られずに、ものづくりを体験出来る機会を提供した。

期 日：令和4年4月1日（金）

～令和5年3月31日（金）

会 場：クラフト工房（大・中・小制作室）、織工房、染工房、木工房、版画工房ほか

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

延実施回数：316回

受講者数：3,432人

販売個数：1,313個

### 一般講習会

※「〇日間コース」の開催回数は日数にかかわらず1コース1回としてカウント

開催日	講習会名	講師	開催回数	受講人数	受講料	内 容
陶芸講習会						
4/3(日)、9/10(土)、12/4(日)	豆皿をつくろう	岩渕咲貴／兼平和美	5	17	3500	板作りの技法で豆皿を5枚制作
4/23(土)、4/24(日)、5/14(土)、5/15(日)、6/25(土)、6/26(日)、7/2(土)、7/3(日)、8/20(土)、8/21(日)、8/28(日)、9/18(日)、10/8(土)、11/12(土)、11/13(日)、12/11(日)、1/28(土)、2/26(日)、3/5(日)	はじめての電動ろくろ体験	岩渕咲貴／兼平和美	29	137	3000	電動ろくろを使い、湯呑・カップ・茶碗・小鉢の形から好きな形の器を1つ制作
4/29(金・祝)、5/21(土)、7/9(土)、8/27(土)、9/23(金・祝)、11/20(日)、12/18(日)、2/12(日)、3/12(日)	ひとりでろくろを回してみよう	岩渕咲貴／兼平和美	17	38	3300	電動ろくろを使い、カップから小鉢程度のサイズで好きな形の器を1つ制作
5/7(土)	陶器の風鈴	岩渕咲貴	2	4	2800	板づくり技法という板状にのびした粘土を使い、夏にぴったりのオリジナル風鈴を1つ作成する
6/4(土)、6/5(日)、7/23(土)、1/7(土)	陶器小皿の絵付け	岩渕咲貴／兼平和美	13	82	2000	陶器の直径約15cm小皿に陶芸専用の画材を使って下絵付けをする
6/19(日)、8/11(木・祝)	札幌焼～知って楽しむ地元の陶芸～	阿妻一直	1	15	4000	札幌と焼き物の関係を学びながら、手びねり技法で卓上ろくろを使いながら食器を制作
7/17(日)	気軽に陶芸体験	岩渕咲貴	2	18	3300	信楽粘土を使い、小皿やカップ等の器を2個作成
7/30(土)、7/31(日)、8/6(土)、8/7(日)、1/14(土)、1/15(日)、1/28(土)、1/29(日)	こども電動ろくろ体験	岩渕咲貴／兼平和美	24	70	3000	5歳から小学生向けの電動ろくろを使った器制作体験。湯呑・カップ・茶碗・小鉢から好きな形の器を1つ制作
9/11(日)	陶器の Pasta皿	岩渕咲貴	2	5	4200	板作りの技法で Pasta皿 を1枚制作する
1/8(日)	板作りでお皿をつくろう	兼平和美	1	37	2000	板作りという技法で500gの粘土を使い、好きな形のお皿を1枚制作
2/18(土)	玉つくりで花びんをつくろう	兼平和美	1	2	3300	玉つくりという技法で500gの粘土を使い、花びんを1個、又は2個制作
3/19(日)	葉っぱ皿をつくろう	兼平和美	1	18	3200	板作りという技法で500gの粘土を使い、好きな葉っぱ形のお皿を1～2枚制作
テキスタイル講習会						
4/23(土)	草木染め「さくらスモークチップで染める」	濱谷友里	1	0	4000	燻製材として用いられる桜の木のチップを煮出して綿ストールを染める ※コロナのため中止
4/24(日)、4/29(金・祝)、5/5(木・祝)	藍染めでミニこいのぼりをつくろう	濱谷友里	6	15	4000	輪ゴムや割り箸などを使った簡単な絞りに染めて、藍染めのミニこいのぼりを2匹染める ※4/24はコロナのため中止
5/8(日)、5/13(金)	草木染め「くちなしの実で染める」	濱谷友里	2	9	4000	食品の色付けにも使われる「くちなしの実」を煮出して綿ストールを染める
5/21(土)・5/22(日)、6/9(木)・6/10(金)	手織りを楽しむー格子柄のマフラーを織るー(2日間コース)	濱谷友里	2	12	11000	オーストラリア東南にあるタスマニア島で飼育されたメリノ種の羊から採れる、希少性が高く、しっとりと柔らかなタスマニアウールを使って、平織でシンプルな格子柄のマフラーを織る
6/4(土)、7/24(日)、10/23(日)、2/23(木・祝)	織機で裂織コースターを織ろう	濱谷友里	4	54	1200	卓上織機を使って裂織のコースターを織る

6/19(日)	藍染め体験！ろうけつ染めでハンカチを染めよう	濱谷友里	2	7	3200	53cm角の大きめのハンカチに、湯洗いで落とせるロウで自由に模様を描き、インド藍で染色する
6/25(土)、2/26(日)	オパール加工で透かし模様を描く	濱谷友里	2	12	4200	オパール加工糊を使用し、風呂敷サイズの布に筆で自由に模様を描いて透かし模様を作る
7/7(木)、8/20(土)	草木染め「漆で染める」	濱谷友里	2	7	4000	漆の樹のチップを煮出して綿ストールを染める
7/15(金)、7/16(土)	藍染めでストールを染める	濱谷友里	2	9	5500	輪ゴムを使って簡単な絞り模様を施し、インド藍で大判のストールを染める
7/23(土)	手織りを楽しむ-紐巻きポーチを織る-	濱谷友里	1	8	5800	あらかじめ織機にかけてある綿糸の経(たて)糸に、自由に緯(よこ)糸を織り込み、ポーチの織地を制作
7/28(木)	絞り染めでハンカチを染めよう	濱谷友里	2	6	2200	輪ゴムや割り箸などを使って簡単な絞り模様を施し、好きな色でハンカチを染める
8/3(水)	たまねぎでハンカチを染めよう	濱谷友里	2	2	2000	たまねぎの皮を煮出して染液をつくり、輪ゴムを使った簡単な絞り染めでハンカチを染める
8/5(金)、8/6(土)	藍染でハンドタオルを染めよう	濱谷友里	4	19	2000	輪ゴムや洗濯バサミで簡単な絞り模様を入れ、藍染めでハンドタオルを染める
8/7(日)	和紙染めでうちわをつくろう	濱谷友里	2	18	1800	和紙を色とりどりに染めてカラフルなうちわを作る
8/28(日)、11/3(木・祝)	シルクスクリーンでファブリックパネルをつくろう	濱谷友里	2	18	2800	3つの版とお好きな色を自由に組み合わせ、オリジナルのチェック柄を刷り、小さなファブリックパネルに仕上げる
9/3(土)	板締め絞りで手ぬぐいを染める	濱谷友里	1	5	3000	折りたたんだ布を2枚の板で挟み、強く締めて防染することで模様を染め出す「板締め絞り」という技法で手ぬぐいを染める
9/4(日)、9/8(木)	ログウッドで染める	濱谷友里	2	6	4000	中米などの熱帯地方で栽培される植物、ログウッドのチップを煮出してストールを染める
9/24(土)・9/25(日)、10/20(木)・10/21(金)	手織りを楽しむ-はじめての手織り-	濱谷友里	2	10	13500	手織りの基本となる整経から織機のセッティングまでをひと通り体験し、平織でギンガムチェック柄の細巾マフラーを織る
10/13(木)、10/30(日)	草木染め「茜で染める」	濱谷友里	2	11	4000	インド茜で、夕焼けのような、紅葉のような、秋らしい深みのある赤色にストールを染める
11/17(木)、11/19(土)	草木染め「矢車附子で染める」	濱谷友里	2	10	4000	古くから伝承された染材料であり、タンニンを多く含む矢車附子の実を煮出してストールを染める
12/10(土)・12/11(日)・12/17(土)・12/18(日)	手紡ぎと手織りの4日間	下村好子	4	9	30000	テキスタイル作家下村好子氏を講師に迎えた4日間の手織り講習会。クッションカバーを作成
1/7(土)	織機で毛糸のマフラーを織ろう	濱谷友里	1	8	3500	卓上の織機を使い、毛糸のマフラーを織る。よこ糸に好きな色を選ぶことができる
1/8(日)	絞り染めでハンドタオルを染めよう	濱谷友里	1	11	1200	輪ゴムや洗濯バサミで簡単な絞り模様を入れ、好きな色でハンドタオルをカラフルに染める
1/28(土)・1/29(日)	手織りを楽しむ-布張りウッドスツールをつくる-	濱谷友里	2	8	24000	1日目はスツールの座面となる織地を、“山形斜文織”という組織で織り、2日目はクルミ材でできたスツールに織地を布張りする作業までを体験する
2/3(金)、2/4(土)	草木染め「枇杷の葉で染める」	濱谷友里	2	10	4000	刻んだ枇杷の葉を煮出してストールを染める
2/25(土)	型染めで手拭いを染める	濱谷友里	1	2	5500	好きなデザインで型紙を彫り、型模様の部分が白く残る「地染まり」の型染技法で手拭いを染める
七宝講習会		合計	50	352		
4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月	七宝自由制作教室	佐藤歩惟	24	116	3000	熟練度に応じて技法や工程を考えながら、自分で内容を決めて制作する
4/23(土)	ミルフィオリを使った七宝焼をつくろう	佐藤歩惟	1	7	2500	ミルフィオリという花模様のガラスを使った七宝焼をつくる
4/29(金・祝)、2/19(日)	ねこの七宝焼をつくろう	佐藤歩惟	4	52	1200 2000	あらかじめねこの形にカットされた銅板に七宝釉薬を盛り付けて焼き付け、好みのデザインの七宝焼をつくる
5/1(日)	エイリアンの七宝焼をつくろう	佐藤歩惟	2	19	1500	あらかじめカットされた銅板に七宝釉薬を盛り付け、オリジナルデザインのエイリアンの七宝焼をつくる
5/21(土)	ドット絵みたいな七宝焼をつくろう	佐藤歩惟	2	12	2000	あらかじめカットされた銅板に七宝釉薬を盛り付け、ガラスビーズを焼き付けてドット絵のような七宝焼をつくる
6/19(日)	銀のより線をつかった七宝焼	佐藤歩惟	1	2	3500	5cm角の銅板からお好きな形を切り出し、七宝釉薬と銀のより線を使った装飾のある七宝焼をつくる
7/24(日)	犬の七宝焼をつくろう	佐藤歩惟	2	31	1500	あらかじめ犬の形にカットされた銅板に七宝釉薬を盛り付けて焼き付け、好みのデザインの七宝焼をつくる
7/30(土)、8/11(木・祝)	ぬいぐるみのような七宝焼をつくろう	佐藤歩惟	2	20	3200	あらかじめカットされた銅板に好きなデザインで七宝釉薬とビーズで彩色して、パステル調の七宝焼をつくる
8/6(土)、8/12(金)	七宝焼きでフリットザウルスをつくろう	佐藤歩惟	2	20	3200	あらかじめカットされた銅板に好きなデザインで七宝釉薬とフリットガラスで彩色して、透明感のある恐竜の七宝焼をつくる
9/19(月・祝)	銀箔をつかった七宝焼	佐藤歩惟	1	3	3500	好きな形にカットした銅板に七宝釉薬と銀箔で色と模様をつけて焼き付けた七宝焼をつくる
12/3(土)	七宝焼でクリスマスオーナメントをつくろう	佐藤歩惟	1	10	2500	あらかじめカットしてある銅板に七宝釉薬で彩色してクリスマス用のオーナメントを大小1つずつ作る
12/10(土)	七宝焼でクリスマスリースをつくろう	佐藤歩惟	1	3	4000	あらかじめカットしてある銅板に七宝釉薬で彩色し、銀箔をカットして飾り付け、七宝焼のクリスマスリースをつくる

# 芸術の森事業部

## 主催事業

12/17(土)	うさぎの七宝焼をつくろう	佐藤歩惟	2	9	2000	あらかじめカットしてある銅板に七宝釉薬で彩色して、来年の干支の「うさぎ」の七宝焼をつくる
12/18(日)	ちいさなクリスマスツリーをつくろう	佐藤歩惟	1	12	3000	あらかじめにカットしてある銅板に七宝釉薬で彩色して、ちいさなクリスマスツリーの七宝焼をつくる
1/8(日)、1/9(月・祝)	たのしいおうちをつくろう	佐藤歩惟・田村公平	2	14	3500	七宝焼と寄木細工でおうちのオブジェを作成する。窓の中を七宝焼で描き、寄木でおうちをつくる
1/15(日)	七宝焼でキーホルダーをつくろう	佐藤歩惟	1	19	2000	まるい銅板に七宝釉薬を盛りつけて焼き付け、オリジナルデザインの七宝焼キーホルダーをつくる
2/18(土)	七宝焼でリーフペンダントをつくろう	佐藤歩惟	1	3	2000	あらかじめカットされた純銀の土台を七宝釉薬で彩色し、好みの色や模様の葉っぱの形のペンダントをつくる
金工講習会			合計	13	61	
5/15(日)	真鍮でつくるブローチ	佐藤歩惟	1	6	3000	5cm角の真鍮板を形に切り出して、鋸目や刻印を打って装飾し、好きなデザインのブローチを1つ制作
6/11(土)、6/12(日)	銀のバングルをつくろう	佐藤歩惟	2	1	8000	15cm×5mmの純銀シルバーフラットバーに鋸目や刻印、ねじりなどの装飾をして成形し、オリジナルデザインのバングルを制作
7/31(日)、8/13(土)、9/4(日)	銀の匙をつくろう	佐藤歩惟	6	35	3000	スプーンの形にカットされた洋白板(銅・亜鉛・ニッケルの合金)に鋸目や刻印で模様をつけて打ち出し、オリジナルデザインのミニスプーンを制作
9/10(土)	真鍮でつくるアクセサリ	佐藤歩惟	1	5	3000	真鍮板を糸鋸で好きなかたちで切りぬき、金鍮や刻印でも模様をつける
10/23(日)・10/30(日)・11/6(日)・11/13(日)	銅でミルクパンをつくる4日間コース	佐藤歩惟	1	5	33000	円形にカットされた銅板を金鍮でひたすら打ち、立ち上げてゆく「絞り」という鍛金の技法でミルクパンを制作 完成したミルクパンは鍋内を「錫引き」という加工を施して後日参加者に郵送
1/29(日)	アルミ打ち込み象嵌でトレイをつくろう	佐藤歩惟	1	5	3000	銅や真鍮の線やメッシュ板を自由な形に切ってアルミ板に打ち込み、象嵌の装飾をしたトレイを制作
2/4(土)・2/11(土・祝)	銅でつくるおひとりさま鍋2日間コース	佐藤歩惟	1	4	20000	円形にカットされた銅板を金鍮でひたすら打ち、立ち上げてゆく「絞り」という鍛金の技法で1人用両手鍋を制作 完成した鍋は鍋内を「錫引き」という加工を施して後日参加者に郵送
ガラス講習会			合計	11	167	
5/5(木・祝)、5/14(土)、6/9(木)、6/26(日)、7/17(日)、7/29(金)、8/5(金)、8/17(水)、9/3(土)、9/11(日)	サンドブラストでガラスに模様をえがこう	佐藤歩惟	10	161	1500	ガラス容器に好みのデザインにカットしたシールを貼り付けてサンドブラスト技法で削り、オリジナルデザインのガラス容器を制作
10/2(日)・10/9(日)	ステンドグラスでランプをつくる2日間	にゆら	1	6	20000	好きな色ガラスから大小の丸いパーツを切り出し、組み立ててステンドグラスの吊り下げランプを制作
版画講習会			合計	20	97	
4/7(木)・4/14(木)・4/21(木)・4/28(木)・5/12(木)・5/19(木)	感光法でつくる「シルクスクリーン・リトグラフ併用版」6日間コース	風間雄飛	1	9	16000	感光法で製版する「シルクスクリーン」と、同じく感光法で製版する「PS版リトグラフ」、二つの技法を併用した版画作品を6日間かけて制作
5/3(火・祝)	サイアノタイプで日光プリントをしよう!	風間雄飛	1	7	4000	写真の古典技法「サイアノタイプ」を使って、葉っぱや花びら、ドローイングやコピーフィルムなどを日光で焼き付けるフォトグラム(青写真)を制作
6/9(木)・6/16(木)・6/23(木)	凹版ドライポイント・シンコレ 3日間コース	品田佑衣	1	3	8000	塩ビ版にドライポイントで制作した版に、色和紙を貼り込むシンコレ技法を使ってカラーの凹版画を作成
7/7(木)・7/14(木)・7/21(木)・7/28(木)	銅版画をつくろう 4日間コース	品田佑衣	1	5	12000	「ドライポイント」、「エッチング」、「アクアチント」などの技法を使って銅版画の作品を制作
7/23(土)	べたべたステンシルできんちゃくをつくろう!	品田佑衣	2	18	1000	好きな型紙を選んでカラフルな巾着袋を作る
8/10(水)	シルクスクリーンでTシャツを刷ろう!	品田佑衣	1	4	4000	シルクスクリーンの版と新聞紙でつくる型紙を使って、カラフルなオリジナルTシャツを作る
8/20(土)・8/21(日)	神崎智子先生特別講座 版画体験 2日間コース	神崎智子	1	6	12000	版画は、かつて学校のプリント印刷などで使われていた印刷技術で「ガリ版」という愛称で馴染み深い版画 版画を研究している作家の神崎智子先生をお呼びし、希少な技法を学ぶ
9/7(水)・9/14(水)、9/24(土)・9/25(日)	石版リトグラフ体験 2日間コース	鳴海伸一	2	10	15000	版画家鳴海伸一氏による特別講座 現在では希少な「石版」を使った伝統的なリトグラフ技法を2日間かけて体験
10/20(木)	紙版画をつくろう	品田佑衣	1	4	3500	ボール紙に針で描画し版を作り、好きな形に切って組み合わせる多色刷りを行う
11/17(木)・11/24(木)	シーリングスタンプをつくろう 2日間コース	品田佑衣	1	5	5500	2日間でオリジナルの銅製シーリングスタンプを2種類制作
12/13(火)・12/14(水)・12/15(木)	シルクスクリーンで年賀状をつくろう 3日間コース	品田佑衣	1	8	9000	シルクスクリーンの多色刷りでカラフルな年賀状を刷る
1/8(日)、1/12(木)、1/14(土)	シルクスクリーンでトートバッグを刷ろう	品田佑衣	3	11	3500	フィルムにボスカで好きな絵を描いて、シルクスクリーンでオリジナルのトートバッグを刷る
2/2(木)・2/9(木)	はじめてのリノカット 2日間コース	品田佑衣	1	2	5500	リノカットという版画技法の初心者向け講座 ゴム版を使用し、作成した版は紙・布両方に刷る

2/18(土)、2/23(木・祝)	ちよきちよき版画でサコッシュバッグをつくろう	品田佑衣	2	4	3000	はさみでシートを好きな形に切って貼り、スタンプを制作し、オリジナルのサコッシュバッグを作る
3/9(木)・3/16(木)・3/23(木)・3/30(木)	はじめてのリトグラフ 4日間コース	品田佑衣	1	1	12000	アルミ版を使って1色1版のリトグラフを制作、基本から指導する初心者向け講座
木工房		合 計	37	157		
5月、6月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月	木工自由制作相談室	木工房職員	21	74	1500	初心者から上級者まで技術的なアドバイスを受けながら自由に制作
7/29(金)、11/23(水・祝)	小枝であそぼ	木工房職員	3	9	1000 1200	丸太から切った板に、芸術の森産の小枝や木の実を貼って表札を作る
7/30(土)	親子木工～えんじゅの薪割りパズルを作ろう	木工房職員	1	2	1500	ノコギリ、ナタ、小刀など木工の基本的な道具を使用して、芸術の森産イヌエンジュの木を使用した小径木の薪割りパズルを作る
7/31(日)	小さな牧場をつくろう	田村公平	1	34	1200	家や動物等の木材モチーフをボンドで貼り付けて、好きなデザインの牧場を制作
8/3(水)	鉛筆削り器をつくろう	清水郁太郎	1	6	2500	手足や体の形を自由に考え、糸のご盤で切り抜き、ねじで組んで人形型鉛筆削り器を制作
8/13(土)・8/14(日)	はじめてつくるテーブル 2日間コース	木工房職員	1	6	4500	親子で子供用の小さなテーブルを制作
8/18(木)	無垢板のツール	清水郁太郎	1	3	8000	15～20cm、厚さ4～5cmの無垢板でツールを制作
8/30(火)	木製スプーンを作ろう	池野泰明	1	3	5000	貸し出し工具を使いスプーンを彫る 工具の持ち込みも可で、刃物の研ぎ方や手入れなどの相談にも対応
10/9(日)、10/10(月・祝)	木組みでつくる本立て	木工房職員	2	7	3500	木材の性質を利用して、くぎや接着剤を使わずにブックスタンドを制作 糸のご盤を使用して木材を切り抜き、蜜蝋(みつろう)ワックスで仕上げる
12/3(土)、12/4(日)	はじめてつくるイスまたはテーブル	木工房職員	2	2	4500	木工の基本が詰まった題材である椅子とテーブルのどちらかを選んで制作
1/7(土)・1/8(日)	インテリアライトをつくろう	木工房職員	1	8	4500	カッター材を電動糸のこで切り抜き、接着して制作
2/14(火)・2/24(金)・3/5(日)・3/12(日)	「アラレ組みの1リットル枡」の設計と制作	木工房職員	2	3	2300	ルーターテーブルとルーターテーブルジグを使用して「アラレ組み」の技法を使って枡を制作

オリジナル手作りキット

キ ッ ト 名	分野	販売個数	金額	内 容
寄木であそぼ	木工	133	1500	ひし形の3種類の木材ピース(スプルース、ベイスギ、カラマツ)を自由に組み合わせて、オリジナルの寄木細工をつくるキット。ピースの組み合わせる方向や、木目・色合いの配置を工夫して制作可能
陶器のタイルでつくる ペアコースター(全2色)	陶芸	91	2000	陶器のタイルでお好みのコースターをつくるキット
ナチュラル素材でつくるモビール	陶芸	61	2000	半磁器パーツと北海道訓子府町産の麦わらを使ったナチュラル素材のモビールをつくるキット
手織りでつくる 毛糸のコースター(全2色)	テキスタイル	41	2000	タテ糸とヨコ糸を自由に組み合わせ、オリジナルのコースターをつくるキット。織機は繰り返し使用可能で、付属の毛糸以外でも制作可能
カラフル折り染め和紙	テキスタイル	32	1500	和紙をいろいろな形に折りたたみ、カラフルな染料で万華鏡のような模様には紙を染めるキット
銅でつくるブックマーク	金工	35	2000	銅板に、シールの切り貼りや油性ペンで好きな柄を描き、簡単な化学反応で銅の色を変化させてブックマーク(しおり)をつくるキット
四角い小びんでガラスアート(全2色)	ガラス	70	2000	ガラスアートフィルムとリード線をガラスの小びんに貼り付けて、スタンドグラスのようなオリジナルデザインの小びんをつくるキット
まるまる模様のスクリーンプリント/ カクカク模様のスクリーンプリント	版画	3	2000	スクリーン版の柄を自由にプリントし、オリジナルのトートバッグをつくるキット。スクリーン版は繰り返し使用可能

## 芸術の森事業部

### 主催事業

#### 工芸グループ講習会（団体を対象に実施する体験教室）

コース	講師	開催回数	開催日数	参加人数	内容・受講料
【陶芸】 たまつくり・カップ制作コース	岩渕咲貴	8	通年	176	粘土を使い、たまつくりの技法で制作。完成品は宅配便で参加者へ送付。2,200円
			8		
【陶芸】 ひもづくり・カップ制作コース	岩渕咲貴／ 兼平和美	2	通年	37	粘土を使い、ひもづくりの技法で制作。完成品は宅配便で参加者へ送付。2,200円
			2		
【陶芸】 板づくり・皿制作コース	岩渕咲貴	1	通年	21	粘土を使い、板づくりの技法で制作。完成品は宅配便で参加者へ送付。2,600円
			1		
【陶芸】 絵付け・小皿コース	兼平和美	1	通年	16	素焼きの陶器に好みの絵柄を施す。完成品は宅配便で参加者へ送付。2,400円
			1		
【テキスタイル】 絞り染め・バンダナコース	濱谷友里	1	通年	10	輪ゴムや洗濯バサミなどを使った「絞り染め」の技法でバンダナを染める。2,000円
			1		
【七宝】 多色盛り・リーフペンダントコース	佐藤歩惟	6	通年	105	金属にガラス質の釉薬を高温で焼き付ける「七宝焼」の多色盛り技法でペンダントまたはストラップを制作。2,000円
			6		
合計		19	19	365	

#### アウトリーチ「札幌芸術の森クラフトキャラバンワークショップ『街、森、クラフト』

(10/8(土)・10/9(日) 札幌市民交流プラザ2階 SCARTSスタジオ1・2)

コース	講師	開催回数	開催日数	参加人数	内容・受講料
【テキスタイル】 珈琲で染める	濱谷友里	1	10月	14	会場併設の「MORIHICO.芸術劇場」提供の珈琲の出がらしを煮出し、きんちゃく袋を染める。1,500円
			1		
【七宝】 秋いろ七宝焼アクセサリー	佐藤歩惟	1	10月	33	「しずく」か「四角」の形の銅板に七宝釉薬を焼き付け、七宝焼のピアス・イヤリングを制作。1,500円
			1		
【陶芸】 ねこ型小皿の絵付け	岩渕咲貴	1	10月	39	ねこ型の素焼き陶器小皿に陶芸専用の絵の具で絵付けする。完成作品は焼成後郵送。2,000円
			1		
【版画】 パスタマシンで刷る紙版画	品田佑衣	1	10月	16	プレス機の代わりにパスタマシンを使用し、ボール紙に針で描画する技法で紙版画を制作。1,500円
			1		
合計		4	4	102	

#### アウトリーチ「サッポロ モノ ヴィレッジ」

(11/26(土)・11/27(日) 札幌ドーム)

コース	講師	開催回数	開催日数	販売個数	内容・受講料
【陶芸】 陶器小皿の絵付け	兼平和美	2	11月	25	陶器小皿に専用の画材を使って絵付けをする。完成品は宅配便にて参加者へ送付。2,000円
			2		
【テキスタイル】 織機で裂織コースターを織ろう	濱谷友里	2	11月	29	よこ糸にお好きな裂き布を選び、織機を使用してオリジナルの裂織コースターを制作。1,500円
			2		
【金工】 真鍮のネームタグをつくらう	佐藤歩惟	2	11月	18	円形にカットされた真鍮板にお好きなデザインで刻印を打ち、革紐を付けてネームタグを制作。1,500円
			2		
【版画】 べたべたステンシルで巾着をつくらう	品田佑衣	2	11月	29	好きな型紙を選んでカラフルな巾着袋を制作。1,200円
			2		
合計		8	8	101	

#### アウトリーチ「学校DEカルチャー～ものづくりクラフトキャラバン～」(12/14(水) 札幌市立北都小学校)

コース	講師	開催回数	開催日数	参加人数	内容・受講料
木工	田村公平	1	12月	65	自宅で制作可能なキット「寄木であそぼ」を講師が作成手順を指導しながら制作する 1,000円
			1		
合計		1	1	65	

ふらっとクラフト体験（予約なしで作品制作を体験できる）

コース	開催月	参加件数	内容・受講料
陶芸・絵付け	通年	346	素焼き済みの陶器（小皿、湯呑み等）に絵付けを施す。完成品は宅配便にて参加者へ送付。1,200～1,800円
陶芸・たまつくり	通年	293	粘土300gを使い、たまつくりの技法でお好みのカップなどを1個作る。完成品は宅配便にて参加者へ送付。1,500円
テキスタイル・和紙のちぎり絵はがき	通年	162	カラフルに染め上げた和紙をちぎり、ハガキに貼り付け、オリジナル絵ハガキ（3枚セット）を制作。300円
テキスタイル・お絵かきバンダナ	通年	212	クレヨンで絵を描きオリジナルのバンダナを制作。500円
缶バッジ	通年	847	色紙に自由に絵を描きオリジナルカンバッジを制作。300～700円
小さな牧場をつくろう	通年	224	木製パーツを土台に貼り、自分だけの牧場をつくる。1,200円
合計		2084	

クラフト体験（予約なしで作品制作を体験できる）

コース	開催月	参加件数	内容・受講料
テキスタイル・織機でコースターをつくろう	通年	64	足踏み織機でオリジナルコースターを制作。800円～1,000円 ※令和3年度1月より開催開始
合計		64	

R4 工芸講習会事業	延実施回数 ふらっと体験を除く	受講者数 (缶バッジ体験を除く)
一般講習会	285	1,563
グループ講習会	19	365
アウトリーチ	12	203
ふらっと体験	—	1,237
クラフト体験	—	64
合計	316	3,432

R4 商品売上	販売個数
オリジナル手づくりキット	466
缶バッジ体験	847
合計	1,313

②版画工房30周年関連事業 版画

—いま・これから

札幌芸術の森版画工房の開館30周年を記念したトークイベントを開催。

パネラーとして小林敬生氏、渡會純价氏、志摩利希氏を迎え、世界の版画の歴史から始まり、北海道における版画の現状、版画工房の役割を話し合うとともに、コンピューターを使用した作品制作など、これからの版画のあり方について考える機会となった。

期 日：令和4年11月29日(火) 18:00～19:30

会 場：札幌文化芸術交流センター 2階

SCARTS スタジオ

参加者数：35人（ライブ配信視聴者数16人）



## 利 用 促 進

### 1 広報活動

#### ① ホームページ、SNS の活用

札幌芸術の森で開催される展覧会、講習会、イベントなどの各種主催事業及び貸工房をはじめとする施設等について、ホームページとSNSを積極的に活用し情報を提供した。ホームページでは、季節にあわせトップページのメイン写真を変更し、芸術の森の自然を含む魅力を伝えた。SNSでは、Twitter、Facebook、Instagramにてリアルタイムの情報発信を行った。

ホームページ年間アクセス件数：112,535件

#### ② 総合案内パンフレットや集客チラシの製作・配布

広い園内をわかりやすく紹介するため、夏と冬で異なる園内マップを掲載した総合案内パンフレットを作成し、園内のほか区役所等の市内公共施設や観光施設などに配架した。また、市内小学校の全児童に夏休みと冬休み前の年2回、イベントをまとめた子ども向け情報誌「もりくる」を配布した。

#### ③ マスコミへの情報提供、誘致活動

札幌芸術の森の旬な情報をニュースリリース「今週の芸森。」として、マスコミや関係各所へメール配信するとともに、ホームページを通じてインターネットで配信した。各メディアでの記事掲載など露出機会が増加するよう働きかけ、より多くの市民へ情報を提供できるよう努めた。

### 2 地域連携

#### ① 芸術の森地区連合会

##### (1) 第3回芸術の森地区オリエンテーリング大会

芸術の森地区に居住の幼児から中学生までが参加する地域のイベント。札幌芸術の森を会場とし、園内3か所のチェックポイントを回り地域に関するクイズを解きゴールを目指すクイズラリーが開催された。

期 日：令和4年10月8日(土) 9:45~16:00

会 場：園内全域

主 催：芸術の森地区連合会

##### (2) 第28回芸術の森地区文化祭(再掲)

##### (3) 雪あかりの祭典

##### 「SAPPORO ART CAMP 2023」 —YUKIMI HANAMI—

芸術の森地区を雪と灯りでデザインし、地域を彩る「雪あかりの祭典」事業の一つとして、芸術の森では令和2年度・3年度に続き、SAPPORO ART CAMP事業を開催した。「YUKIMI\*HANAMI」をテーマに、野外美術館をプロジェクションマッピングやライトアップで華やかに演出。3回目となる今回は「食」の展開を図り、集客力の高い観光コンテンツの発信に努めた。

期 日：令和5年2月12日(日)~19日(日)

17:30~21:00 ※13日(月)を除く

会 場：野外美術館、レストラン「畑のはる」

主 催：リモ旅北海道実行委員会、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市

特別協賛：パナソニック株式会社エレクトリックワークス社

協 賛：岩田地崎建設株式会社、野口観光グループ、株式会社アミノアップ、株式会社アルクス不動産、RAYARK、株式会社MIRAIRO、株式会社カイエン

特別協力：日本航空株式会社、ヘキサゴンジャパン株式会社

協 力：札幌ばんけい株式会社、ぴあ株式会社

企画・演出協力：株式会社ワントゥーテン、  
有限会社花季(HANAGOYOMI)

**3** 四季を通じた誘客促進事業

内 容：(1) 雪あかりの祭典 HANAMI ルミナリエ  
野外美術館をライトアップした他、株式会社ワントゥーテン（東京）制作協力のもと、プロジェクションマッピングを展開。

(2) MORI のライブ

芸術の森センター・レストラン「畑のはる」にて野外美術館のライトアップを背景にライブを開催。

2月12日 瀬川あやか

18日 1st mahina

2nd 爽

(3) MORI の HANABI

最終日の19日にフィナーレを飾るプログラムとして約700発の花火を打ち上げた。

入場料：前売（平日）大人700円、小中学生400円

（土日祝）大人1,000円、小中学生700円

当日（平日）大人1,000円、小中学生700円

（土日祝）大人1,300円、小中学生1,000円

入場者数：3,582人（12日449人、14日256人、15日283人、16日367人、17日415人、18日724人、19日1,088人）

**②教育機関**

**(1) 職場体験受け入れ**

北海道シュタイナー学園から、職場実習（インターンシップ）の協力依頼を受け、生徒1名の実習を行った。

期 日：令和4年6月13日（月）～22日（水）

**3** 四季を通じた誘客促進事業

市民が札幌芸術の森に気軽に足を運び、来園者の再訪を目的に、一年を通し四季折々に施設開放事業を開催した。

**①野外美術館謎解きイベント・月夜の空想ミュージアム**

野外美術館謎解きイベントを、一般社団法人異言語Lab.とのタイアップにより開催した。彫刻作品や美術館に興味を持つきっかけづくりとなるよう、彫刻作品を注意深く観察することを促す問題や彫刻作品のそれぞれの特徴を活かしたストーリーを盛り込み、多くの方々が楽しめるよう工夫を行った。

期 日：令和4年7月22日（金）～11月3日（木・祝）

会 場：野外美術館

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

参加料：1キットあたり Easy 300円、  
Normal・Hard 500円

参加者数：14,662人

（難易度別コースの内訳 Easy：7,942人、

Normal：4,865人、Hard：1,855人）



**②ホールでピアノを弾いてみよう！in札幌芸術の森 スタインウェイ&ベーゼンドルファーフルコンサートピアノ試奏会** **新規**

アートホール アリーナ内の2台のコンサートピアノの利用促進として、自由に弾き込みを行うことのできる試奏会を開催した。

期 日：①令和4年10月27日（木）

（計6回／10:00～10:50、11:00～11:50、

12:00～12:50、13:00～13:50、

14:00～14:50、15:00～15:50）

②令和5年1月21日（土）、22日（日）

（各日計6回／10:00～10:50、11:00～11:50、

12:00～12:50、13:00～13:50、

## 芸術の森事業部

### 主催事業

14:00～14:50、15:00～15:50)

会場：アートホール アリーナ

主催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

参加料：1 枠 2,000円

参加者数：①11人

②32人

### ③てくてく MORI さんぽ

野外美術館春季オープンに合わせたゴールデンウィークの誘客事業として、歩数計をつけて野外美術館を散策し、歩数に応じた景品がもらえるイベントを開催した。

期 日：令和4年4月29日(金・祝)～5月5日(木・祝)

会場：野外美術館

主催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

参加料：100円

参加者数：108人

### ④芸森バースデー2022

芸術の森開園36周年を記念し、夏の集客イベントとして開催。普段は芸術の森や美術と接点が少ない方も気軽に芸術文化活動に参加できる枠組みを提供した。

期 日：令和4年7月23日(土)～7月24日(日)

会場：野外美術館、芸術の森センター

主催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

内 容：(1) シャボン玉タイム

会場：野外美術館

(2) 押し花でバースデーカードをつくろう

会場：芸術の森センター

参加者数：50人

(3) かんたんペーパーフレームづくり

会場：芸術の森センター

参加料：300円

参加者数：80人

(4) その他同日開催イベント

・芸森アートマーケット（7月24日）

・銀の匙 Silver Spoon 展

・クラフトギャラリー

「VEST POCKET ーとりどりー」

・野外美術館謎解きイベント・月夜の空想ミュージアム

### ⑤有島武郎旧邸朗読会『有島武郎がたどり着いた場所』

有島武郎が大正11年に行った農場解放から100年を記念し開催したもので、朗読会を通じ有島の生い立ち、思想、人生及び有島武郎旧邸の歴史等について紹介し、旧邸についてPRすることができた。

期 日：令和4年9月18日(日)

①15:00～15:30

②16:00～16:30

会場：有島武郎旧邸

主催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

共 催：ニセコ町有島記念館

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

出 演：本郷弦（俳優）

入場料：無料

入場者数：①20人

②18人



### ⑥あしたのげいもり

コロナ禍の中でも安心して参加者に楽しんでいたいただける工夫を凝らした野外フェスイベント。世界一静かなフェスティバルをコンセプトに、映画、音楽ライブ、ダンス等の音声コンテンツをFM電波に変換し配信。参加者はラジオとイヤホンを使い、それぞれのコンテンツを楽しんだ。また、当日だけの特別イベントとして、手話を用いた謎解き『月夜の空想ミュージアム 特別編』を開催した。

期 日：令和4年9月24日(土) 15:00～21:00

会場：野外ステージ、アートホール、野外美術館

主催：NoMaps実行委員会、あしたのしあたあ、札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

③ 四季を通じた誘客促進事業

後 援：（公社）札幌聴覚障害者協会青年部、札幌市教育委員会 南区区制50周年、令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

内 容：（1）映画

野外ステージ及びアートホールを会場に、札幌国際短編映画祭 presents2022開催記念プログラム『シンパシー』のほか、聴覚障がい者の両親をもつ少女を描いた『コーダあいのうた』等の映画を上映。

（2）音楽ライブ

野外美術館を会場に、ライブを開催。出演はgoethe、望月起市、おかもとえみ、碧海祐人。

（3）ダンス

野外美術館を会場に、ライブを開催。出演は石井則仁（山海塾）、OBA。

（4）謎解きイベント

野外美術館を会場に、ろう者が多く所属し、手話を一つの言語として捉え異なる言語によるコミュニケーションの方をを提案している一般社団法人異言語 Lab.による、手話を用いた謎解き『月夜の空想ミュージアム 特別編』を開催。

入場料：前売 3,000円、当日 3,500円

入場者数：343人

⑦ 芸森かんじきウォーク

冬の芸術の森の魅力発信を目的として、かんじきで野外美術館を散策できるかんじきウォークを開催した。併せて、参加者の裾野を広げることを目的に、児童を対象とするミニゲームも開催した。

期 日：令和5年1月7日（土）～3月12日（日）

会 場：野外美術館

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

かんじき貸出料：一般 500円

子ども 無料

入場者数：1,693人

⑧ 雪あかりの祭典

「SAPPORO ART CAMP 2023」

－YUKIMI HANAMI－（再掲）

## 彫刻美術館事業

### 1 展覧会事業

#### ◇特別展

#### ①札幌彫刻美術館 40年のあゆみ展 **新規**

札幌彫刻美術館は、1981年6月29日に開館して以来、本郷新を顕彰するとともに、彫刻をより多くの人に親しんでもらうためのさまざまな活動を行ってきた。それは、各種展覧会や本郷新賞の贈呈、講演会やコンサート、造形教室、各地の彫刻をめぐるツアーなど多岐にわたる。また、次代を担う子どもたちのための活動にも力を入れてきた。本展では、この40年間にわたり展開してきた、それら数多くの事業を目的別に分類して紹介するとともに、展覧会のチラシや館報、関連資料等を展示し振り返った。

#### 期 日：

令和3年7月13日（火）～8月29日（日）42日間、  
10月1日（金）～令和4年1月16日（日）88日間、  
1月28日（金）～5月31日（火）100日間  
（令和4年度52日間）

会 場：本館 展示ロビー

入場料：無料

入場者数：3,608人（令和4年度520人）

関連記事：山中龍之助「本郷新彫刻美術館 開館40年で40万人」北海道新聞2021年10月17日朝刊、  
「本郷新の生涯 作品に感じて」北海道新聞2022年5月13日朝刊



## ②生誕100年 藤川叢三展

新規

藤川叢三（1922-1998）の生誕100年記念展。旭川に生まれ、東京美術学校（現東京藝術大学）彫刻科塑造部卒業後、1951年から35年間にわたり北海道教育大学札幌分校（現札幌校）において彫塑の教官として、多くの彫刻家や教諭を世に送り出した。活動の初期は、堅実な写実的人体像を制作していたが、イタリア留学（1962-64年）で、マリノ・マリニから直接指導を受けたことにより、大胆にデフォルメした素朴な表現へと作風を大きく変化させた。帰国後は、服を脱ぐポーズなど日常の何気ないしぐさのなかに豊かな造形性を湛えた作品を、東京と札幌での個展や道展（北海道美術協会展）にて発表、また、彫刻のほかにリトグラフ制作にも注力し、1975年頃からはその鮮やかな色彩をテラコッタの彩色に取り入れる試みも行っている。

本展では、藤川の初期から晩年までの彫刻、版画、素描60点を、作品の変遷を追いながら紹介するとともに、優れた指導者としての側面も紹介した。

期 日：令和4年6月11日（土）～8月31日（水）

70日間

会 場：本館 展示室

主 催：本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

助 成：公益財団法人花王芸術・科学財団、芸術文化振興基金助成事業

入場料：一般 300円、65歳以上 250円、高校・大学生 200円、中学生以下無料

※札幌市文化芸術鑑賞促進事業により半額

入場者数：1,859人

関連事業：（1）座談会「藤川先生の思い出」

期 日：6月11日（土）15:00～16:30

会 場：本館 研修室

講 話：川井坦（元日本画研究室教授）、  
鈴木吾郎（彫塑研究室、1962年卒）、  
塚野昭臣（1977年卒）

聞き手：吉崎元章

（本郷新記念札幌彫刻美術館館長）

聴講者数：21人



（2）教え子と館長によるギャラリートーク

期 日：①7月9日（土）、②8月14日（日）

各日14:00～14:40

会 場：本館 展示室

講 話：①鈴木吾郎（彫塑研究室、1962年卒）、  
吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館館長）

②山田吉泰（彫塑研究室、1962年卒）、  
吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館館長）

聴講者数：①29人、②13人

関連記事：「生誕100年藤川叢三展」新美術新聞2022年6月11日、安味伸一「作風の変遷知る60点」毎日新聞北海道版2022年6月18日、『美術の窓』No.46（2022年7月発行）、「彫刻家 藤川叢三さん回顧」読売新聞道央版2022年6月22日、北海道新聞さっぽろ10区イベントガイド2022年6月24日、「文化や芸術低料金で」北海道新聞2022年6月25日朝刊、山中龍之助「彫刻家 藤川叢三回顧展」北海道新聞2022年6月28日夕刊、谷織恵「創作 人生 作品でたどる60点」北海道新聞さっぽろ10区2022年7月8日、『O.tone』vol.165（2022年7月15日発行）、北海道新聞2022年8月16日

# 芸術の森事業部

## 主催事業

### 出品作品

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法（縦×横または高さ×幅×奥行cm）	所蔵者
<b>第一章 初期作品～彫刻家を志して</b>					
p-01	自画像	1940年代	油彩、キャンバス	40.3×31.9	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
資料 1	絵の日記 オ1 冊	1946年	水彩・鉛筆・ペン、紙	31.0×23.0 冊子	個人
s-01	裸婦立像	1950年代後半	石膏	160.0×56.0×40.0	個人
c-01	鉄絵女性文花瓶	不詳	施釉陶	34.0×22.0×20.0	個人
c-02	鉄絵女性文壺	不詳	施釉陶	22.0×22.0×22.0	個人
c-03	紅釉八角鉢	不詳	施釉陶	9.0×24.0×24.0	個人
c-04	青磁辰砂灰皿	不詳	施釉陶	6.7×13.0×13.0	個人
s-02	少女像	1950年代	テラコッタ	21.0×20.0×20.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-03	青年像	1955年	石膏着色	72.3×38.0×27.0	個人
p-02	坐像の素描 1	1961年	チョーク・墨、紙	63.0×48.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
<b>第二章 イタリア留学～マリノ・マリーニによる造形的開花</b>					
p-04	イタリアの風景	1963年頃	ペン・インク・ボールペン、紙	38.4×49.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-05	Guiliano e Massimo	1963年	ペン・インク、紙	38.4×49.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-04	立像 1	1964年	ブロンズ	29.5×10.2×5.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-05	横たわる裸婦 1	1963年頃	ブロンズ	8.5×32.5×10.5	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-06	立像 2	1963年頃	ブロンズ	36.5×12.4×10.7	個人
s-07	立像 3	1963年頃	ブロンズ	29.5×10.2×5.0	個人
s-08	横たわる裸婦 2	1963年頃	ブロンズ	18.5×34.5×15.0	個人
<b>第三章 帰国後の展開～「叢三」の名のもとに、しぐさの美を求めて</b>					
s-09	立像 4	1964年頃	ブロンズ	35.2×14.1×8.0	札幌芸術の森美術館
p-06	立像の素描	1964年頃	木炭、紙	63.0×48.4	札幌芸術の森美術館
資料 2	個展案内リーフレット、はがき	1965-78年	印刷物		個人
s-10	春	1965年	ブロンズ	26.7×49.7×13.9	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-11	夏	1965年	ブロンズ	22.4×49.3×12.4	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-12	秋	1965年	ブロンズ	26.4×51.8×15.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-13	坐像 8	1967年	ブロンズ	31.0×17.7×24.7	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-14	坐像 12	1967年頃	ブロンズ	31.0×25.2×18.9	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-15	坐像 13	1967年頃	ブロンズ	40.5×23.7×18.7	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-16	立像 7	1967年	ブロンズ	43.4×14.5×17.8	札幌芸術の森美術館
s-17	立像 10	1966年頃	ブロンズ	60.0×22.6×14.2	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-07	素描 1	1965年	コラージュ・木炭・コンテ、紙	41.2×36.5	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-08	素描 2	1965年	コラージュ・木炭・コンテ、紙	41.2×36.5	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-10	リトグラフ 1	1967年	リトグラフ、紙	54.9×39.5	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-11	リトグラフ 5	1968年	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	56.8×38.2	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-13	リトグラフ 18	1973年	リトグラフ、紙	50.5×65.5	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-18	坐像 15	1968年	ブロンズ	42.7×37.9×43.3	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-19	立像 15	1968年	ブロンズ	66.4×28.5×20.4	北海道立近代美術館
s-20	坐像 14	1969年	ブロンズ	69.4×22.9×40.8	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-21	裸婦 1	1970年	ブロンズ	53.0×30.5×34.0	個人
s-23	立像 20	1971年	ブロンズ	71.7×26.7×23.6	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-22	坐像 20	1970年代	石膏	39.0×22.5×29.5	個人
p-24	なかよし	1974年	石膏（原型）	150.0×102.0×28.0	個人
s-12	リトグラフ 8	1969年	リトグラフ、紙	65.0×50.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-09	コラージュ 1	1966年	コラージュ・水彩・コンテ、紙	63.0×48.0	個人
<b>第四章 リトグラフ～色面と筆致の重なりから生まれる新たな世界</b>					
p-18	リトグラフ 25	1975年	リトグラフ、紙	40.0×44.5	個人
p-14	リトグラフ 20	1973年	リトグラフ、紙	65.8×50.8	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-15	リトグラフ 22	1973年	リトグラフ、紙	65.0×49.5	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-16	リトグラフ 19	1974年	リトグラフ、紙	65.8×50.8	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-17	リトグラフ 23	1974年	リトグラフ、紙	67.1×51.4	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-19	コラージュ 10	1976年	コラージュ・水彩、紙	59.5×59.5	個人
s-25	坐像 17	1973年	ブロンズ	85.0×34.0×47.0	個人
s-26	頭部	1978年	石膏	34.7×30×36.5	個人
<b>第五章 彩色テラコッタ～立体と平面表現の融合</b>					
s-27	テラコッタ 1	1975年	テラコッタ	32.0×22.0×19.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-20	テラコッタのための素描 1	1975年	バステル・インク、紙	54.2×39.6	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-28	テラコッタ 5	1975年	テラコッタ	57.0×38.0×15.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-29	テラコッタ 6	1975年	テラコッタ	58.0×35.0×16.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-30	テラコッタ 12	1978年	テラコッタ	33.8×42.5×28.0	北海道立近代美術館
s-31	テラコッタ 8	1976年	テラコッタ	58.8×42.5×18.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-32	テラコッタ 13	1979年	テラコッタ	61.0×26.0×16.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
s-33	テラコッタ 14	1979年	テラコッタ	58.0×28.0×11.5	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-21	リトグラフ 35	1982年	リトグラフ、紙	65.0×50.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
<b>第六章 最晩年～音楽から広がる色彩のハーモニー</b>					
p-22	対話19 亡き兄に捧ぐ「レクイエム」	1994年	油彩、キャンバス	65.0×91.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
p-23	トッカータ第1番	1997年	アクリル、紙	54.5×72.8	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
<b>第七章 教育者として～物静かななかの厳しさ</b>					
資料 3	美術ノート「彫刻へのいざない」	1960年	映像	12分	北海道放送

### ③建築家上遠野徹と本郷新の宮の森のアトリエ **新規**

本郷新記念札幌彫刻美術館を構成する建物のひとつ「記念館」は、本郷新がアトリエとギャラリーを兼ねた邸宅として、北海道を代表する建築家上遠野徹（かとの・てつ、1924-2009）に設計を依頼し、晩年の1977年に建てられたものである。本展では、図面やイメージスケッチなどを通して、この建物に込められた施主と設計者の思い、そこから立ち現れる北の風土に根ざした清廉なモダニズムを紹介した。

また、北海道内の数多くの住宅建築を手掛けた上遠野徹の仕事を写真や図面、模型等によって紹介し、本郷新が短いながらもここで過ごした日々をたどるとともに、病に伏して入退院を繰り返していた一年間に残した彫刻、素描、草稿などを展示し、最後まで創作に向き合い続けた姿や、ここを美術館とするための動きを紹介した。

期 日：令和4年9月10日（土）～12月11日（日）  
80日間

会 場：本館 展示室、記念館

主 催：本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

入場料：一般 300円、65歳以上 250円、高校・大学生 200円、中学生以下無料

※札幌市文化芸術鑑賞促進事業により半額

入場者数：1,761人

関連事業：（1）建築家による記念館探検ツアー

公開していなかった旧寝室や最も特徴的な緩やかな階段、外壁に使用されている煉瓦の云われなど、建築家とともに巡ることで、本郷新と上遠野徹が記念館に寄せた思いについて理解を深めたり、気づきを得る解説ツアーを行なった。

期 日：①11月5日（土）、②11月12日（土）  
各日14:00～15:00

会 場：本館、記念館

講 師：①圓山彬雄（建築家）、②角幸博  
（北海道大学名誉教授・NPO法人歴史的  
地域資産研究機構代表）

聴講者数：①38人、②35人

（2）ギャラリーツアー

当館館長が、本館展示室と記念館を一緒にまわりながら、展覧会についての解説ツアーを行った。

期 日：①11月3日（木・祝）11:00～12:00、  
②11月3日（木・祝）15:00～16:00、  
③11月20日（日）11:00～12:00、  
④11月23日（水・祝）15:00～16:00、  
⑤12月3日（土）14:00～15:00、  
⑥12月10日（土）14:00～15:00、  
⑦12月11日（日）11:00～12:00

会 場：本館、記念館

講 話：吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館館長）

聴講者数：①32人、②25人、③3人、④5人、  
⑤4人、⑥11人、⑦12人

関連記事：『ふりっぱー』9月号 Vol.205（2022年8月23日発行）、今井美津子「アトリエに込めた思い」毎日新聞2022年9月24日、吉崎元章「建築家上遠野徹と本郷新の宮の森のアトリエ」『アルテピア』第81号（2022年10月発行）、吉崎元章「ぷらっとミュージアム！⑦美術館建築の表裏 北国に適したアトリエをもとに」新美術新聞2022年10月11日、「本郷新アトリエに注目」読売新聞2022年10月12日、『O.tone』Vol.168（2022年10月15日発行）、谷織恵「上遠野の建築 よみがえる思い」北海道新聞さっぽろ10区2022年10月18日、高橋毅「上遠野徹と本郷新アトリエ建設回顧」北海道新聞2022年10月24日夕刊、「記念館探検ツアー」北海道新聞さっぽろ10区イベントガイド2022年11月4日、安味伸一「文化 本郷新と上遠野徹」ガスエネルギー新聞2023年2月20日



# 芸術の森事業部

## 主催事業

### 出品作品

作家・著作者名	資料名	制作年	技法・素材	寸法（縦×横または高さ×幅×奥行 cm）	所蔵者
<b>第一章 上遠野徹の住宅建築1957-1978</b>					
	自邸（1968年、札幌、鉄骨造平屋建）写真（4点）	—			上遠野建築事務所
	自邸（1968年、札幌、鉄骨造平屋建）1/40スケール模型 *10月12日より展示	—			札幌市立大学
	高橋邸（1957年、札幌、木造2階建）写真（2点）	—			上遠野建築事務所
	高橋邸（1957年、札幌、木造2階建）1/100スケール模型	—			
	栗谷川邸（1959-1978年、札幌、木造2階建）写真（3点）	—			上遠野建築事務所
	栗谷川邸（1959-1978年、札幌、木造2階建） 1/100スケール模型	—			
	川上邸（1962年、札幌、木造2階建）写真2点	—			上遠野建築事務所
	川上邸（1962年、札幌、木造2階建）1/100スケール模型	—			
	松野邸（1968年、札幌、鉄骨造2階建）写真（3点）	—			上遠野建築事務所
	松野邸（1968年、札幌、鉄骨造2階建）1/100スケール模型	—			
	大滝邸（1971年、釧路、鉄筋コンクリート造2階建） 写真（4点）	—			上遠野建築事務所
	大滝邸（1971年、釧路、鉄筋コンクリート造2階建） 1/100スケール模型	—			
	坂本邸（1973年、釧路、鉄骨造平屋建）写真（3点）	—			上遠野建築事務所
	坂本邸（1973年、釧路、鉄骨造平屋建）1/100スケール模型	—			
	金川邸（1975年、札幌、鉄骨造2階建）写真（2点）	—			上遠野建築事務所
	金川邸（1975年、札幌、鉄骨造2階建）1/100スケール模型	—			
	田島邸（1978年、札幌、鉄筋コンクリート造3階建） 写真（3点）	—			上遠野建築事務所
	田島邸（1978年、札幌、鉄筋コンクリート造3階建） 1/100スケール模型	—			
<b>第二章 宮の森のアトリエができるまで</b>					
本郷新	宮の森アトリエ構想図面	制作年不詳	鉛筆、色鉛筆、トレーシングペーパー	43.0×61.2	本郷新記念札幌彫刻美術館
設計者不詳	初期設計図（2点）	1976年	青焼き図面	各42.2×59.4	本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	初期設計図（3点）	1976年	青焼き図面	各25.9×37.5	本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	本郷新宛て手紙	1976年12月頃			本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	本郷新宛て手紙	1977年1月12日			本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	本郷新邸設計図（6点）	1977年1月12日	青焼き図面	各42.0×56.0	本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	居住部変更図面	1977年1月頃	鉛筆、トレーシングペーパー	42.0×56.0	本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	各部屋イメージスケッチ（7点）	1977年2月頃	ペン、鉛筆、紙	各25.0×34.5	本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	本郷新邸設計図（12点）	1977年2月11日	青焼き図面	各43.0×60.0	本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	本郷新邸設計図（2点）	1977年3月10日	青焼き図面	各60.5×85.5	本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	本郷新邸1/50スケール模型	—			
上遠野徹	本号新邸1/100スケール模型	—			
<b>第三章 宮の森のアトリエで過ごした日々</b>					
本郷新	《自画像》	1978年	油彩、キャンバス	60.0×50.0	本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	彫刻制作のための芯棒	1978年	針金、シュロ縄	h. 68.0	本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	《オホーツクの塔》設計図（2点）、構造計算書	1977年4月	青焼き図面	各41.5×60.5	本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	小樽市彫刻の森美術館構想の草稿	1977年8月頃			本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	小樽市彫刻の森美術館構設計図（2点）	1977年8月	青焼き図面、彩色	各41.5×60.5	本郷新記念札幌彫刻美術館
<b>第四章 彫刻の美術館へ</b>					
本郷新	《遥かなる母子像》 「六彫展—現代彫刻作家10回の歩み」にブロンズ像出品	1979年	石膏	131.0×43.0×33.0	本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	《十字架のキリスト》	1979年	水彩、紙	53.3×34.8	本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	《はるかなる母子像》 「六彫展—現代彫刻作家10回の歩み」出品	1979年	鉛筆・コンテ、紙	49.0×29.0	本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	《鳥の碑》 「六彫展—現代彫刻作家10回の歩み」出品	1979年	水彩・コンテ、紙	49.0×29.0	本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	《海の碑》 「六彫展—現代彫刻作家10回の歩み」出品	1979年	墨・水彩、紙	49.0×29.0	本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	《白樺の詩》 札幌市教育文化会館大ホール緞帳下絵	1980年	鉛筆・水彩、紙	29.4×59.5	本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	「彫刻十戒」草稿	1979年11月頃			本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	「財団法人本郷新彫刻美術館（仮称）設立に関するお願い」	1979年10月			本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	札幌市長宛て手紙	1979年12月17日			本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	北海道新聞1980年1月5日記事				
本郷新	新館構想図（6点）	1979年12月頃	鉛筆・色鉛筆、紙／鉛筆・ペン、 トレーシングペーパー	29.7×21.0cm／ 20.5×36.5	本郷新記念札幌彫刻美術館
本郷新	上遠野徹宛て手紙	1979年1月6日			本郷新記念札幌彫刻美術館
田上義也	札幌彫刻美術館新築工事設計図（4点）	1980年7月	青焼き図面	各42.0×59.5	本郷新記念札幌彫刻美術館
<b>第五章 記念館—現在の宮の森のアトリエ（会場：記念館）</b>					
上遠野徹	マントルピース設計図（7点）	1977年	青焼き図面、着彩	各21.0×29.5	本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	居住部階段イメージスケッチ（2点）	1977年	ペン、色鉛筆、紙	各41.0×60.5	本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	本郷邸設計図（6点）	1977年3月10日	青焼き図面	60.5×85.5／42.0×60.8	本郷新記念札幌彫刻美術館
上遠野徹	本郷邸設計図（37点）	1977年3月10日	青焼き図面	各42.0×60.8	本郷新記念札幌彫刻美術館

#### ④札幌彫刻賞歴代受賞者パネル展

本郷新記念札幌彫刻美術館では、公共彫刻の振興と次代を担う彫刻家の育成を目指し、開館以来、札幌市と共同で彫刻賞の授与を実施してきた。本展では、推薦形式で選考した前身の「本郷新賞」、公募形式に変更した現行の「本郷新記念札幌彫刻賞」の各受賞者とその作品をパネルで紹介した。また、後者については、過去3回の受賞作品（模型）も展示した。

期 日：

令和4年9月10日（土）～12月11日（日）80日間、  
12月24日（土）～令和5年4月16日（日）93日間  
（令和4年度79日間）

会 場：本館 展示ロビー

入場料：無料

入場者数：3,135人（令和4年度）



## 芸術の森事業部

### 主催事業

#### ⑤New Eyes 視線のはなし

若手作家の育成を願った本郷新の想いを受け2012年より開催しているシリーズ展「New Eyes」。北海道、札幌を拠点に活動する美術家を数名ほど選出し、我々をとりまく世界を見つめる作家たちの新たな視点を紹介する。5年ぶり4回目となる今回は「視線」をテーマに、野澤桐子（視線のドラマ）、岩永啓司（内向の視線）、小林知世（触れる視線）、国松紗智子（視線と痕跡）、佐藤一明（一途な視線）の5人の作品52点を展観した。

期 日：令和4年12月24日（土）  
～令和5年4月16日（日）93日間  
（令和4年度79日間）

会 場：本館 展示室、記念館

主 催：本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

入場料：一般 500円、65歳以上 400円、高校・大学生 300円、中学生以下無料

入場者数：1,265人（令和4年度）

関連事業：（1）アーティストトーク

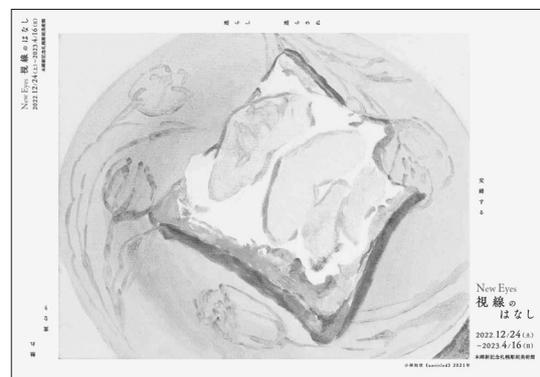
野澤桐子、岩永啓司、小林知世、国松紗智子、佐藤一明ら5人の出品作家が展示室を巡りながらそれぞれ自作について語った。

期 日：12月24日（土）11:00～12:00

会 場：本館 展示室

聴講者数：10人

関連記事：『アルテピア』第81号（2022年10月発行）、『ふりっぱー』1月号 vol.173（2022年12月15日発行）、『O.tone』vol.170（2022年12月15日発行）、『poroco』vol.409（2022年12月20日発行）、北海道新聞さっぽろ10区イベントガイド2022年12月20日、『ギャラリー』2023年 vol.1通巻453号（2023年1月1日発行）、安味伸一「「視線」テーマに5人展 独創的な絵画、彫刻52点」毎日新聞北海道版2023年1月7日、神田恵「絵や彫刻で視線を表現」北海道新聞2023年1月30日、谷織恵「「視線」際立つ表現多彩」北海道新聞さっぽろ10区2023年2月3日、「「視線」題材 5人の表現」読売新聞2023年3月29日



#### 出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法（縦×横または高さ×幅×奥行cm）
1	野澤 桐子	Who is the joker ?	2002年	油彩、キャンバス	181.8×227.3
2	野澤 桐子	Red berry woods	2006年	油彩、キャンバス	162.0×194.0
3	野澤 桐子	Japanese 2011	2012年	油彩、キャンバス	194.0×130.3
4	野澤 桐子	青の民の青年	2016年	油彩、パネル	122.0×61.0
5	野澤 桐子	12月26日	2019年	油彩、キャンバス	162.0×130.3
6	野澤 桐子	人形遣い	2021年	油彩、キャンバス	162.0×130.3
7	野澤 桐子	カモノハシ鍵貸シハ飲モカ	2020年	油彩、キャンバス	15.8×22.7
8	野澤 桐子	博士は焼きたてパンの夢を見るか	2022年	油彩、キャンバス	38.0×45.5
9	野澤 桐子	未知との遭遇	2022年	油彩、キャンバス	24.2×33.3
10	岩永 啓司	静かな騒	2010年	白樺、樺、米松、鉄	270.0×80.0×135.0
11	岩永 啓司	静かな聲	2012年	櫻、榛の木、錫箔、鉄	220.0×80.0×70.0
12	岩永 啓司	黒い境界	2017年	黄蘗、桂	180.0×90.0×90.0
13	岩永 啓司	HORIZON	2022年	樺、胡桃、鉄	130.0×90.0×30.0
14	小林 知世	untitled	2021年	ジェッソ、油彩、綿布、木枠	22.0×27.5
15	小林 知世	untitled	2021年	ジェッソ、油彩、雲母、綿布、木枠	60.5×72.7
16	小林 知世	untitled	2022年	ジェッソ、油彩、綿布、木枠	73.0×91.0
17	小林 知世	untitled	2021年	ジェッソ、油彩、綿布、木枠	73.0×91.0
18	小林 知世	untitled	2022年	ジェッソ、油彩、綿布、木枠	73.0×91.0
19	小林 知世	untitled	2021年	ジェッソ、油彩、アクリル、鉛筆、綿布、木枠	73.0×91.0
20	小林 知世	untitled	2021年	ジェッソ、油彩、綿布、木枠	26.7×51.5
21	小林 知世	untitled	2021年	ジェッソ、油彩、アクリル、雲母、綿布、木枠	45.5×53.0
22	小林 知世	untitled	2020年	アクリル、インク、墨、雲母、綿布、木枠	91.0×73.0
23	小林 知世	untitled	2022年	アクリル、インク、墨、雲母、綿布、木枠	73.0×91.0
24	小林 知世	untitled	2022年	アクリル、インク、墨、雲母、綿布、木枠	80.0×53.0
25	小林 知世	ether	2020年	アクリル、インク、墨、雲母、綿布、木枠	80.0×53.0
26	小林 知世	untitled	2022年	ジェッソ、油彩、綿布、木枠	44.0×99.0
27	小林 知世	untitled	2022年	ジェッソ、鉛筆、油彩、銀箔、木板	30.0×25.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法（縦×横または高さ×幅×奥行 cm） （空間サイズ）
28	国松 紗智子	Line of Sight	2022年	鉛筆、コンテ、マット紙	272.0×562.0×475.0 （空間サイズ）
29	佐藤 一明	見てくる犬	2020年	ベニア、オイルステイン、ニス	74.0×36.0×79.0
30	佐藤 一明	見てくる犬	2020年	ブリキ、ペンキ	23.0×11.0×27.0
31	佐藤 一明	見てくる犬	2021年	銅板	16.0×8.0×18.0
32	佐藤 一明	見てくる犬	2021年	ブリキ、ペンキ	13.0×6.5×15.0
33	佐藤 一明	見てくる犬	2021年	ブリキ、ペンキ	26.0×7.0×35.0
34	佐藤 一明	見てくる犬	2021年	ブリキ、ペンキ	17.0×5.0×26.0
35	佐藤 一明	見てくる犬	2021年	ブリキ、ペンキ	14.0×4.0×21.0
36	佐藤 一明	見てくる犬	2021年	ブリキ、ペンキ	28.0×12.0×17.0
37	佐藤 一明	見てくる犬	2021年	ブリキ、ペンキ	16.0×7.0×11.0
38	佐藤 一明	見てくる犬	2021年	ブリキ、ペンキ	16.0×7.0×40.0
39	佐藤 一明	見てくる犬	2021年	ブリキ、ペンキ	10.0×4.0×24.0
40	佐藤 一明	見てくる犬	2021年	ブリキ、ペンキ	8.0×3.5×20.0
41	佐藤 一明	見てくる犬	2021年	銅板	7.0×3.0×17.0
42	佐藤 一明	見てくる犬	2020年	ブリキ、ペンキ	22.0×14.5×34.0
43	佐藤 一明	見てくる犬	2022年	木彫	36.0×8.0×24.0
44	佐藤 一明	飼い主よりも先に寝室に行こうとして階段を駆け上がって一度こちらを見てくる	2022年	油彩、キャンバス	33.3×24.2
45	佐藤 一明	トイレに入ってきて様子をうかがう	2022年	油彩、キャンバス	33.3×24.2
46	佐藤 一明	飼い主が帰宅したが盗み食いをしてしまっている	2022年	油彩、キャンバス	33.3×24.2
47	佐藤 一明	暖かい場所を陣取る	2022年	油彩、キャンバス	33.3×24.2
48	佐藤 一明	諦めずにキッチンに居続けると何かくれると思っている	2022年	油彩、キャンバス	22.7×16.1
49	佐藤 一明	視線以外のすべてをこちらに向けている	2022年	油彩、キャンバス	22.7×16.1
50	佐藤 一明	遠まきの猫	2022年	油彩、キャンバス	22.7×16.1
51	佐藤 一明	目を逸らさずにこちらに向かってくる	2022年	油彩、キャンバス	16.1×22.7
52	佐藤 一明	まだ散歩に行っていない	2022年	油彩、キャンバス	16.1×22.7

## 芸術の森事業部

### 主催事業

#### ⑥ さっぽろ雪像彫刻展2023

さっぽろ雪像彫刻展実行委員会との共催事業。14回目となった今回は、本館庭園を会場に美術家や工芸家、美術・デザインを学ぶ学生が、それぞれに雪の特性を生かした独創性にあふれる雪像彫刻11基と滑り台1基を制作した。また、本館ロビーでは、作家たちが日頃手がける彫刻や絵画、工芸作品などを併せて展示した。なお、本館、記念館とも開館時間を午後6時まで延長した。

期 日：令和5年1月27日（金）～1月29日（日）  
3日間

会 場：本館 庭園、本館 ロビー

主 催：さっぽろ雪像彫刻展実行委員会、本郷新記念  
札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

入場料：無料

入場者数：714人

出品作家：伊藤隆弘、河崎ゆかり、高坂孝明、佐藤一明、  
佐藤隆之、清水郁太郎、清水宏晃、高坂孝明、  
前田裕人、チーム119（丸山恭子・泉山桂子）、  
北海道芸術デザイン専門学校 クラフトデザ  
イン専攻学生、水戸麻記子\*、  
くまがいきよし\*、板本伸雄\*

\*印は滑り台制作

関連事業：（1）アーティストトーク

期 日：①1月28日（土）、②29日（日）  
各日15:00～15:30

会 場：本館 庭園

講 話：①佐藤一明、清水郁太郎、前田裕人、  
チーム119（丸山恭子・泉山桂子）  
（発表順）

②北海道芸術デザイン専門学校学生、

河崎ゆかり、佐藤隆之、清水宏晃  
（発表順）

聴講者数：①13人、②26人

（2）オリジナル紙芝居実演

期 日：①1月28日（土）、②29日（日）  
各日14:00～14:30

会 場：本館 庭園

出 演：カミシバイズム

聴講者数：①37人、②42人

（3）キッチンカー出店

期 日：①1月28日（土）、②29日（日）  
各日11:00～18:00

会 場：本館 門前

出 店：スムーチコーヒースタンド

関連記事：『ふりっぱー』1月号 vol.173（2022年12月15日発行）、『広報さっぽろ』754号（2023年1月1日発行）、「情報ランド」北海道新聞2023年1月20日夕刊、北海道新聞さっぽろ10区2023年1月24日、安味伸一「街角 真っ白な造形美を」毎日新聞北海道版2023年1月27日、『第650回札幌交響楽団定期演奏会プログラム』2023年2月4・5日発行、北海道新聞さっぽろ10区2023年2月21日



#### 出品作品

No.	作家名	作品名
1	伊藤隆弘	風道
2	河崎ゆかり	KAGUYA
3	高坂孝明	one step beyond
4	佐藤一明	見てくる犬
5	佐藤隆之	Merry-Go-Round of Cats
6	清水郁太郎	会えるかな
7	清水宏晃	残像
8	前田裕人	ふ
9	チーム119（丸山恭子・泉山桂子）	Mother Tree
10	北海道芸術デザイン専門学校クラフトデザイン専攻1年	深海3000m
11	北海道芸術デザイン専門学校クラフトデザイン専攻2年	森のものしり
12	水戸麻記子、くまがいきよし、板本伸雄	HOCHA-LAY

## ◇コレクション展

## ①はじめてのほんごうしん

戦後日本の彫刻界を代表する札幌出身の彫刻家、本郷新（1905-1980）。具象表現を基盤としながらも、対象の簡略化を効果的に組み込んだ独自の造形を探究した。また、人々の平和と共生を願い、戦後、野外彫刻の制作に熱意を傾けたことでも知られる。

今なお色褪せない作品の魅力、彫刻に込められたさまざまな願いを次世代へと語り継ぐべく、本展では、主だった作品や業績を改めて整理して紹介することに加え、最新の研究成果に基づいた知られざる作家像を浮き彫りにし、本郷芸術の普遍性、そして新たな価値を見出した。

期 日：令和4年1月28日（金）～5月31日（日）

106日間（令和4年度52日間）

会 場：本館 展示室

主 催：本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

入場者数：846人（令和4年度519人）

関連記事：『おしゃべり BOXneo』（2022年3月発行）、  
「本郷新 不戦祈る彫刻」読売新聞2022年3月29日、「札幌生まれの彫刻家 本郷新の作品に迫る」『広報さっぽろ』745号（2022年4月1日発行）、吉崎元章「季評 美術 雪や寒さ 取り入れたアート」北海道新聞2022年4月16日、今井美津子「発見！地域のお宝第2弾 学芸員のとおき秘話 本郷新記念札幌彫刻美術館 吉崎元章さん 戦争で苦しむ人表現」北海道新聞2022年5月1日毎日新聞北海道版、長谷川さち「本郷新の生涯 作品に感じて」北海道新聞2022年5月13日夕刊



## 出品作品

## Chapter 1. 彫刻家・本郷新

No.	管理番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法（縦×横または高さ×幅×奥行 cm）
1	S-06-071	本郷新	泉の像（部分）	1959年	石膏	226.0×48.0×63.0（全身）
2	S-06-072	本郷新	泉の像（部分）	1959年	石膏	211.4×48.0×61.0（全身）
3	S-06-073	本郷新	泉の像（部分）	1959年	石膏	222.0×46.0×59.0（全身）
4	P-01-164	本郷新	男裸像	1930年	水彩、紙	34.5×23.8
5	P-01-158	本郷新	ふたりの裸婦	1930年	水彩、紙	29.8×23.5
6	P-01-159	本郷新	母子像	1920～1930年頃	水彩、紙	38.7×23.3
7	S-06-025	本郷新	少女の首	1928年	石膏	51.0×29.0×28.5
8	S-04-014	本郷新	瀕死のキリスト	1939年	クスノキ	36.0×20.0×20.0
9	S-01-119	本郷新	三つ編みの少女	1936年	ブロンズ	61.0×54.0×33.0

No.	著者名・書籍名	発行年	出版社
10	高村光太郎『ロダンの言葉』	1929年	叢文閣
11	高村光太郎『続ロダンの言葉』	1929年	叢文閣
12	本郷新『彫刻の美』初刊	1942年	富山房
13	本郷新『彫刻の美』再刊	1951年	中央公論社
14	本郷新『彫刻の美』新装版	1980年	中央公論美術出版
15	本郷新『彫刻の美』生誕100年記念復刊	2005年	中央公論美術出版

## Chapter 2. 野外彫刻の黎明

No.	管理番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法（縦×横または高さ×幅×奥行 cm）
15	S-01-012	本郷新	わだつみの声	1950年	ブロンズ	77.5×33.0×19.0
16	S-06-158	本郷新	わだつみの声（部分）	1950年	石膏	215.5×60.0×51.0（全身）
17	S-01-015	本郷新	嵐の中の母子像	1953年	ブロンズ	37.0×43.5×19.0
18	S-01-084	本郷新	緑の賛歌	1972年	ブロンズ	83.0×18.0×14.0
19	S-01-100	本郷新	冬の像	1977年	ブロンズ	50.0×13.0×14.0
20	S-06-149	本郷新	漁民の像	1977年	石膏	100.0×37.0×23.0
21	S-06-061	本郷新	啄木像	1952年	石膏	56.0×42.0×38.0
22	S-06-137	本郷新	石川啄木像	1972年	石膏	83.0×26.0×18.0
23	S-06-139	本郷新	千人同心（A）	1973年	石膏	55.0×18.0×14.5
24	S-06-140	本郷新	千人同心（B）	1973年	石膏	31.0×17.0×22.0
25	S-01-057	本郷新	鳥を抱く女	1966年	ブロンズ	122.0×43.0×33.0
26	S-06-136	本郷新	太陽の讃歌	1972年	石膏	25.5×105.0×70.0

## 芸術の森事業部

### 主催事業

#### Chapter 3. 彫刻家の仕事

No.	管理番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横または高さ×幅×奥行 cm)
27	S-01-83	本郷新	花束 (A)	1971年	ブロンズ	50.0×15.0×18.0
28	S-01-82	本郷新	花束 (B)	1971年	ブロンズ	48.0×15.0×16.0
29	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、紙	
30	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、紙	
31	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、紙	
32	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、紙	
33	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、紙	
34	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、紙	
35	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、アクリルグワッシュ、紙	
36	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、紙	
37	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、紙	
38	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、紙	
39	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、紙	
40	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、紙	
41	—	本郷新	アイデアスケッチ	—	鉛筆、複写	
42	S-06-128	本郷新	雪華の像	1971年	石膏	47.0×44.0×15.0

#### Chapter 4. 土との戯れ

No.	管理番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横または高さ×幅×奥行 cm)
43	S-07-059	本郷新	少年の壁	1969年	テラコッタ	30.0×21.0×6.5
44	S-07-007	本郷新	土と火の祭り	1969年	テラコッタ	24.0×22.0×23.0
45	S-07-021	本郷新	女の首	1967年	テラコッタ	30.0×10.5×17.0
46	S-07-006	本郷新	土と火の祭り	1969年	テラコッタ	25.5×20.0×13.0
47	S-07-015	本郷新	土と火の祭り	1969年	テラコッタ	25.0×13.0×16.0
48	S-07-009	本郷新	土と火の祭り	1969年	テラコッタ	26.0×16.0×19.5
49	S-07-010	本郷新	土と火の祭り	1969年	テラコッタ	21.5×21.0×18.0
50	S-07-017	本郷新	土と火の祭り	1969年	テラコッタ	22.0×17.5×17.0
51	S-07-008	本郷新	土と火の祭り	1969年	テラコッタ	21.0×20.0×19.0
52	S-07-030	本郷新	雪国習作	1966年	テラコッタ	22.0×15.5×8.5
53	S-07-022	本郷新	首	1969年	テラコッタ	16.0×14.0×13.0
54	S-07-025	本郷新	北方シリーズ「へんな人」	1966年	テラコッタ	13.5×19.5×9.0
55	S-07-005	本郷新	土と火の祭り	1969年	テラコッタ	19.0×14.5×14.5
56	S-07-058	本郷新	少年の壁	1969年	テラコッタ	27.5×19.0×6.5
57	S-07-027	本郷新	老婆	1966年	テラコッタ	17.0×14.0×11.5
58	S-07-002	本郷新	北方シリーズ「漁夫」	1966年	テラコッタ	23.0×23.0×11.0
59	S-07-024	本郷新	北方シリーズ「雪の子」	1966年	テラコッタ	23.5×24.5×12.5

#### Chapter 5. いまを生きる彫刻

No.	管理番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横または高さ×幅×奥行 cm)
60	S-01-133	本郷新	原生の譜	1967年	ブロンズ	69.0×47.0×38.0
61	S-06-221	本郷新	哭	1959年	石膏	135.0×43.0×47.0
62	S-01-077	本郷新	無辜の民 油田地帯Ⅱ	1970年	ブロンズ	26.0×27.0×30.0
63	S-01-076	本郷新	無辜の民 堰	1970年	ブロンズ	28.0×15.5×43.0
64	S-06-121	本郷新	無辜の民 堰	1970年	石膏、布	28.0×15.5×43.0
65	S-01-068	本郷新	無辜の民 砂漠の女	1970年	ブロンズ	30.0×31.0×19.0
66	S-01-073	本郷新	無辜の民 虐われた人Ⅱ	1970年	ブロンズ	15.5×48.0×16.0
67	S-01-080	本郷新	無辜の民 ヨルダンの人	1970年	ブロンズ	28.5×34.0×32.5
68	S-01-074	本郷新	無辜の民 メコン河Ⅰ	1970年	ブロンズ	32.0×73.0×22.0
69	S-01-067	本郷新	無辜の民 油田地帯Ⅰ	1970年	ブロンズ	30.0×16.0×33.0
70	S-01-079	本郷新	無辜の民 デルタ	1970年	ブロンズ	22.0×48.0×16.5
71	S-01-070	本郷新	無辜の民 乾いた砂Ⅰ	1970年	ブロンズ	25.0×20.0×25.0
72	S-01-081	本郷新	無辜の民 仏生	1970年	ブロンズ	31.0×48.0×42.0
73	S-01-071	本郷新	無辜の民 乾いた砂Ⅱ	1970年	ブロンズ	24.5×27.0×22.5
74	S-01-072	本郷新	無辜の民 アラブ	1970年	ブロンズ	21.5×43.0×15.0

## ②本郷新・全部展④ 100の石膏像

館蔵石膏像364点のうち、4メートル級の野外彫像からレリーフやメダルに至るまで100点を厳選して紹介。石膏原型の役割を見つめなおすとともに、石膏像特有の魅力に迫った。

期 日：令和3年4月29日（木・祝）

～令和4年5月31日（火）247日間

（令和4年度52日間）

\*新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、令和3年5月4日（火）～7月11日（日）、8月31日（火）～9月30日（木）を臨時休館（85日間）。当初は336日間の予定であった。

会 場：記念館 展示室

主 催：本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

入場者数：4,583人（令和4年度515人）

関連記事：「本郷新の石膏像 間近で」読売新聞北海道版2021年12月4日朝刊、竹内美江「力強い石こう像100点」北海道新聞さっぽろ10区2022年1月18日



出品作品 No.	管理番号	作品名	制作年	技法・素材	寸法（高さ×幅×奥行cm）
<b>【1階 A】</b>					
1	S-06-093	暁（鳥を抱く女「暁」）	1962年	石膏	190.0×64.0×62.0
2	S-06-005	氷雪の門	1963年	石膏	239.0×75.0×69.0
※3	S-06-221	哭	1959年	石膏	135.0×43.0×47.0
*※4	S-06-071	泉の像	1959年	石膏	226.0×48.0×63.0
*※5	S-06-072	泉の像	1959年	石膏	211.4×48.0×61.0
*※6	S-06-073	泉の像	1959年	石膏	222.0×46.0×59.0
※7	S-06-158	わだつみの声	1950年	石膏	215.5×60.0×51.0
※8	S-06-061	啄木像	1952年	石膏	56.0×42.0×38.0
9	S-06-253	鳥を抱く女	1965年	石膏	58.0×19.0×15.0
10	S-06-247	鳥を抱く女	1962年	石膏	50.0×14.5×16.0
11	S-06-261	鳥を抱く女	1966年	石膏	123.0×37.5×35.0
<b>【1階 B】</b>					
12	S-06-138	踊る女	1973年	石膏	154.0×66.0×63.0
13	S-06-022	太陽の母子（像）	1976年	石膏	140.0×115.0×90.0
14	S-06-009	風雪の群像 部分（コタン）	1970年	石膏	164.0×143.0×85.0
15	S-06-151	北の母子像	1978年	石膏	200.0×102.0×73.0
16	S-06-002	嵐の中の母子像	1953年	石膏	148.0×182.0×63.0
17	S-06-017	緑の環	1974年	石膏	262.0×59.0×67.0
18	S-06-096	ライラック像 トルソー	1964年	石膏	200.0×45.0×49.0
19	S-06-157	冬の像（道東の四季「冬」）	1977年	石膏	242.0×83.0×80.0
20	S-06-019	天の扉（A）	1976年	石膏	240.0×120.0×85.0
21	S-06-020	天の扉（B）	1976年	石膏	280.0×78.0×66.5
22	S-06-021	天の扉（C）	1976年	石膏	240.0×90.0×65.5
23	S-06-150	リズム	1978年	石膏	232.0×73.0×42.0
24	S-06-084	蒼穹	1961年	石膏	208.0×118.0×70.0
25	S-06-013	千人同心（A）（勇払千人同心）	1973年	石膏	275.0×98.0×70.0
26	S-06-014	千人同心（B）（勇払千人同心）	1973年	石膏	154.0×81.0×124.5
27	S-06-140	千人同心（B）	1973年	石膏	31.0×17.0×22.0
※28	S-06-012	石川啄木像	1972年	石膏	250.0×85.0×67.0
29	S-06-023	漁民の像（オホーツクの塔）	1977年	石膏	298.0×113.0×80.0
※30	S-06-149	漁民の像	1977年	石膏	100.0×37.0×23.0
31	S-06-015	緑の賛歌	1973年	石膏	430.0×107.0×81.0
32	S-06-016	緑の賛歌	1973年	石膏	433.0×98.0×78.0
33	S-06-143	牧野富太郎翁像	1974年	石膏	62.0×20.0×20.0
34	S-06-287	牧野富太郎像	1974年	石膏	54.5×26.0×25.0
<b>【2階 C】</b>					
35	S-06-312	遙かなる母子像	1978年	石膏	131.0×43.0×33.0
36	S-04-009	遙かなる母子像	1979年	クルミ、チーク	226.0×73.5×64.0
37	S-06-313	顔のない母子像	1978年	石膏	104.0×41.5×34.5
38	S-06-167	老人	1943年	石膏	124.0×47.0×33.0
39	S-06-166	古老	1942年	石膏	123.0×38.5×33.0
40	S-01-014	横たわる青年 トルソー	1952年	ブロンズ	70.0×132.0×84.0
41	S-01-104	青年坐像	1941年	ブロンズ	79.0×40.0×50.0
42	S-06-042	青年坐像	1941年	石膏	79.0×40.0×50.0
<b>【2階 D】</b>					
43	S-06-203	裸婦	1957年	石膏	21.5×30.0×11.0
44	S-06-200	裸婦	1957年	石膏	40.0×12.0×12.5
45	S-06-052	裸婦	1950年	石膏	45.5×10.0×13.0

# 芸術の森事業部

## 主催事業

No.	管理番号	作品名	制作年	技法・素材	寸法（高さ×幅×奥行 cm）
46	S-06-087	裸婦	1961年	石膏	73.0×16.0×22.5
47	S-06-081	裸婦坐像	1960年	石膏	37.0×19.0×42.0
48	S-06-311	朝	1978年	石膏	79.0×22.0×16.5
49	S-06-228	裸婦	1959年	石膏	56.0×22.0×23.0
50	S-06-198	裸婦	1957年	石膏	48.0×23.0×13.0
51	S-06-308	裸婦	1977年	石膏	56.0×17.5×13.0
52	S-06-202	裸婦	1957年	石膏	35.0×11.5×15.5
53	S-06-304	裸婦	1976年	石膏	47.0×15.5×10.5
54	S-06-154	裸婦	1960年	石膏	51.0×11.0×12.0
55	S-06-235	裸婦	1961年	石膏	60.0×20.0×18.0
56	S-06-082	裸婦坐像	1960年	石膏	37.0×19.0×42.0
57	S-06-194	裸婦	1956年	石膏	62.0×24.0×12.5
58	S-06-188	裸婦	1955年	石膏	61.5×17.0×22.0
59	S-06-214	裸婦	1958年	石膏	33.5×10.0×16.0
60	S-06-211	裸婦	1957年	石膏	25.5×7.5×8.0
61	S-06-239	裸婦	1961年	石膏	29.0×12.0×11.0
62	S-06-227	裸婦	1959年	石膏	23.5×8.0×10.0
63	S-06-079	裸婦	1958年	石膏	68.0×13.0×18.0
64	S-06-226	裸婦	1959年	石膏	27.0×9.5×7.0
65	S-06-048	泉	1947年	石膏	52.0×27.0×27.0
66	S-06-054	裸婦	1950年	石膏	64.0×16.0×26.0
67	S-06-201	裸婦	1957年	石膏	33.5×11.0×8.5
68	S-06-224	裸婦	1959年	石膏	45.5×14.5×8.5
69	S-06-279	緑の賛歌	1972年	石膏	50.0×10.0×10.0
70	S-06-215	裸婦	1958年	石膏	31.0×10.5×14.0
71	S-06-213	裸婦	1958年	石膏	32.0×14.5×8.5
72	S-06-216	裸婦	1958年	石膏	39.5×15.0×13.0
73	S-06-223	裸婦	1959年	石膏	32.0×12.5×7.0
74	S-06-225	裸婦	1959年	石膏	29.0×10.0×11.0
75	S-06-280	緑の賛歌	1972年	石膏	49.0×11.5×9.0
76	S-06-197	裸婦	1957年	石膏	35.5×16.5×12.0
77	S-06-066	砂	1957年	石膏	86.0×68.0×57.0
【2階 D（ケース内）】					
78	S-06-335	3人の頭像	不詳	石膏	21.0×29.5×4.0
79	S-06-332	友好のために	不詳	石膏	18.0×25.0×3.0
80	S-06-360	母子像	1979年	石膏	19.0×18.5×2.5
81	S-06-357	馬と少年 友達	不詳	石膏	19.0×20.0×3.0
82	S-06-349	馬と少年	不詳	石膏	15.0×15.0×3.5
83	S-06-339	山羊と少年	不詳	石膏	31.0×31.0×2.0
84	S-06-327	牛と少年	不詳	石膏	10.0×18.5×1.5
85	S-06-331	女3人M・M	1947年	石膏	18.0×19.5×3.0
86	S-06-356	若人	1978年	石膏	10.5×11.0×2.0
87	S-06-344	若人	不詳	石膏	10.5×9.0×1.5
88	S-06-347	線描・女の顔	不詳	石膏	20.5×14.0×2.0
89	S-06-345	ゲーテ	不詳	石膏	23.0×23.0×2.5
90	S-06-328	女の首	不詳	石膏	18.0×17.5×2.0
91	S-06-362	G	不詳	石膏	16.0×17.0×2.5
【2階 E】					
92	S-06-004	哭	1959年	石膏	135.0×43.0×47.0
93	S-04-006	哭	1959年 (1978年再制作)	クスノキ	139.0×50.0×43.5
94	S-06-058	青年像	1952年	石膏	53.5×19.0×14.0
95	S-06-059	女性像	1952年	石膏	45.0×14.0×14.0
96	S-06-056	塔「わだつみのこえ」	1951年	石膏	68.0×19.0×18.5
97	S-06-057	裸婦	1951年	石膏	40.0×15.0×23.0
98	S-06-037	男B	1935年	石膏	23.0×43.0×21.0
99	S-06-161	横たわる裸婦	1932年	石膏	22.5×45.5×19.0
100	S-06-030	裸婦	1933年	石膏	84.0×40.0×65.0
101	S-06-035	仔牛	1935年	石膏	15.5×18.5×10.0
102	S-06-165	馬	1942年	石膏	30.5×35.0×11.0
【1階 F】					
103	S-03-004	嵐の中の母子像	1953年	樹脂	145.0×179.0×62.0
104	S-06-008	風雪の群像 部分（怒涛）	1970年	石膏	196.0×105.0×91.0
105	S-06-363	踊り子	1947年頃	石膏	163.4×87.2×18.0
106	S-06-156	朔北の母子像	1961年	石膏	195.5×98.0×62.0
107	S-02-001	駄々っ子	1955年	コンクリート	81.0×55.0×63.0
108	S-03-002	A・少年の壁	1967年	樹脂	213.0×101.0×50.0
109	S-06-001	横たわる青年	1952年	石膏	107.0×207.0×101.0
110	S-06-062	奏でる乙女	1954年	石膏	98.0×42.0×56.0

\*は、4月29日（木・祝）～7月11日（日）、「本郷新・全部展③彫刻の設計図」展に展示

※は、2022年1月28日（金）～5月31日（火）、「はじめてのほんごうしん」展に展示

## ③コレクション展2022-23 〈記念館〉

本郷新の没後40年、美術館開館40年を経て、改めて、今、戦後日本を代表する屈指の社会派スカルプターの偉業と足跡を数々の代表作とそれらに付け加えた鑑賞補助掲示物を通じて解き明かすことを試みた。

期 日：令和4年6月11日（土）  
～令和5年4月16日（日）257日間  
（令和4年度243日間）

会 場：記念館 展示室

主 催：本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

入場料：札幌市文化芸術鑑賞促進事業により無料

入場者数：3,852人（令和4年度）

関連記事：「河井道 女子教育にささげた生涯」北海道新聞2022年8月30日夕刊、吉崎元章「新・北の美 本郷新 戦没学生記念碑「わだつみの声」」『北方圏』第192号（9月16日発行）、佐竹直子「まど 太陽の手」北海道新聞2022年

10月2日夕刊、「深まる秋、街なか彫刻巡り」北海道新聞さっぽろ10区 2022年10月25日、「札幌の美術館紹介」『通信文化』130号 通巻1340号（2023年1月5日発行）、吉崎元章「水の中の踊り 本郷新」『第650回札幌交響楽団定期演奏会プログラム』2023年2月4・5日発行



## 出品作品

No.	管理番号	作品名	制作年	技法・素材	寸法（高さ×幅×奥行 cm）
1	S-06-071	泉の像	1959年	石膏	226.0×48.0×63.0
2	S-06-072	泉の像	1959年	石膏	211.4×48.0×61.0
3	S-06-073	泉の像	1959年	石膏	222.0×46.0×59.0
4	S-06-005	水雪の門	1963年	石膏	239.0×75.0×69.0
5	S-03-004	嵐の中の母子像	1953年	樹脂	145.0×179.0×62.0
6	S-06-093	暁（鳥を抱く女「暁」）	1962年	石膏	190.0×64.0×62.0
7	S-06-138	踊る女	1973年	石膏	154.0×66.0×63.0
8	S-06-009	風雪の群像 部分（コタン）	1970年	石膏	164.0×143.0×85.0
9	S-06-151	北の母子像	1978年	石膏	200.0×102.0×73.0
10	S-06-002	嵐の中の母子像	1953年	石膏	148.0×182.0×63.0
11	S-06-017	緑の環	1974年	石膏	262.0×59.0×67.0
12	S-06-096	ライラック像 トルソー	1964年	石膏	200.0×45.0×49.0
13	S-06-157	冬の像（道東の四季「冬」）	1977年	石膏	242.0×83.0×80.0
14	S-06-019	天の扉（A）	1976年	石膏	240.0×120.0×85.0
15	S-06-020	天の扉（B）	1976年	石膏	280.0×78.0×66.5
16	S-06-021	天の扉（C）	1976年	石膏	240.0×90.0×65.5
17	S-06-150	リズム	1978年	石膏	232.0×73.0×42.0
18	S-06-084	蒼穹	1961年	石膏	208.0×118.0×70.0
19	S-06-013	千人同心（A）（勇払千人同心）	1973年	石膏	275.0×98.0×70.0
20	S-06-014	千人同心（B）（勇払千人同心）	1973年	石膏	154.0×81.0×124.5
21	S-06-012	石川啄木像	1972年	石膏	250.0×85.0×67.0
22	S-06-023	漁民の像（オホーツクの塔）	1977年	石膏	298.0×113.0×80.0
23	S-06-015	緑の賛歌	1973年	石膏	430.0×107.0×81.0
24	S-06-016	緑の賛歌	1973年	石膏	433.0×98.0×78.0
25	S-06-143	牧野富太郎翁像	1974年	石膏	62.0×20.0×20.0
26	S-06-287	牧野富太郎像	1974年	石膏	54.5×26.0×25.0
27	S-06-313	顔のない母子像	1978年	石膏	104.0×41.5×34.5
28	S-04-009	遙かなる母子像	1979年	クルミ、チーク	226.0×73.5×64.0
29	S-01-014	横たわる青年 トルソー	1952年	ブロンズ	70.0×132.0×84.0
30	S-06-136	太陽の讃歌（部分）	1972年	石膏	25.5×105.0×70.0
31	S-06-042	青年坐像	1941年	石膏	79.0×40.0×50.0
32	S-01-104	青年坐像	1941年	ブロンズ	79.0×40.0×50.0
33	S-06-062	奏でる乙女	1954年	石膏	98.0×42.0×56.0
34	S-06-128	雪華の像	1971年	石膏	47.0×40.0×15.0
35	S-01-082	花束（B）	1971年	ブロンズ	48.0×15.0×16.0
36	S-01-083	花束（A）	1971年	ブロンズ	50.0×15.0×18.0
37	S-01-012	わだつみの声	1950年	ブロンズ	77.5×33.0×19.0
38	S-06-158	わだつみの声（部分）	1950年	石膏	215.5×60.0×51.0（全身）
39	S-01-075	無辜の民 メコン河II	1970年	ブロンズ	33.0×75.0×18.0
40	S-01-076	無辜の民 堰	1970年	ブロンズ	28.0×15.5×43.0
41	S-01-072	無辜の民 アラブ	1970年	ブロンズ	21.5×43.0×15.0
42	S-01-079	無辜の民 デルタ	1970年	ブロンズ	22.0×48.0×16.5
43	S-01-080	無辜の民 ヨルダンの人	1970年	ブロンズ	28.5×34.0×32.5

# 芸術の森事業部

## 主催事業

No.	管理番号	作品名	制作年	技法・素材	寸法（高さ×幅×奥行cm）
44	S-01-068	無辜の民 砂漠の女	1970年	ブロンズ	30.0×31.0×19.0
45	S-01-081	無辜の民 仏生	1970年	ブロンズ	31.0×48.0×42.0
46	S-01-067	無辜の民 油田地帯Ⅰ	1970年	ブロンズ	30.0×16.0×33.0
47	S-01-077	無辜の民 油田地帯Ⅱ	1970年	ブロンズ	26.0×27.0×33.0
48	S-01-069	無辜の民 虐われた人Ⅰ	1970年	ブロンズ	25.0×40.0×48.0
49	S-01-073	無辜の民 虐われた人Ⅱ	1970年	ブロンズ	15.5×48.0×16.0
50	S-01-070	無辜の民 乾いた砂Ⅰ	1970年	ブロンズ	25.0×20.0×25.0
51	S-01-071	無辜の民 乾いた砂Ⅱ	1970年	ブロンズ	24.5×27.0×22.5
52	S-01-074	無辜の民 メコン河Ⅰ	1970年	ブロンズ	32.0×73.0×22.0
53	S-06-066	砂	1957年	石膏	86.0×68.0×57.0
54	S-02-001	駄々っ子	1955年	コンクリート	81.0×55.0×63.0
*55	S-01-097	聖女昇天	1974年	ブロンズ	74.0×30.0×21.0
*56	S-01-127	水の中の踊り	1974年	ブロンズ	65.0×25.0×17.0
*57	S-01-096	飛びおる女	1974年	ブロンズ	59.0×28.0×32.0
58	S-01-042	飛天	1961年	ブロンズ	54.0×122.0×28.0
59	S-06-030	裸婦	1933年	石膏	84.0×40.0×65.0
60	S-01-123	腕をくむ女	1956年	ブロンズ	99.0×25.5×38.5
61	S-04-006	哭	1959年 (1978年再制作)	クスノキ	139.0×50.0×43.5
62	S-06-004	哭	1959年	石膏	135.0×43.0×47.0
63	S-06-165	馬	1942年	石膏	30.5×35.0×11.0
64	S-06-035	仔牛	1935年	石膏	15.5×18.5×10.0
65	S-06-001	横たわる青年	1952年	石膏	107.0×207.0×101.0
66	S-06-008	風雪の群像 部分（怒涛）	1970年	石膏	196.0×105.0×91.0
67	S-06-363	踊り子	1947年頃	石膏	163.4×87.2×18.0
68	S-06-156	朔北の母子像	1961年	石膏	195.5×98.0×62.0
69	S-03-002	少年の壁	1967年	樹脂	213.0×101.0×50.0

\*印は2023年2月4日（土）より展示

## 2 貸館事業

## ① いけばな伝統文化宮の森教室発表会

いけばな伝統文化宮の森教室の生徒がいけばなを展示した。

期 日：令和4年11月12日（土）～13日（日）2日間

会 場：本館 研修室

主 催：いけばな伝統文化宮の森教室

入場料：無料

入場者数：97人

## 3 札幌彫刻賞

## ① 本郷新記念札幌彫刻賞 募集

本郷新の功績を記念するとともに、若手作家の育成を願った本郷の遺志を受け、50歳未満の若い彫刻家を対象に、優れた彫刻作品に「本郷新記念札幌彫刻賞」を贈る事業。過去3回の受賞作は、1日約7万人が往来する札幌市中心部の公共空間「大通交流拠点地下広場」に約3年間設置されてきたが、今回から設置場所を札幌芸術の森美術館中庭に変更した。受賞作家の個展はこれまで通り本郷新記念札幌彫刻美術館にて開催する。

募集期間：令和5年3月下旬～令和5年9月3日（日）

## 4 普及事業

## ① 子どもの文化芸術体験事業

## ハロー！ミュージアム

子どもたちにすぐれた芸術に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むことを目的に、札幌市の小学校5年生を対象に美術館に招待する事業。学校は、対話による作品鑑賞とワークシートを組み合わせた「彫美・鑑賞コース」と粘土による造形（ひもづくり）に重きを置いた「彫美・表現コース」のいずれかを選択する。なお、参加校のひとつ、北海道札幌視覚支援学校（対象生徒数5人）に対しては触れる作品鑑賞を目的とした事前学習（アウトリーチ）を行った。

期 日：通年

会 場：本館、本館庭園、記念館

参加校数：①鑑賞コース：11校18回

②表現コース：2校5回

参加者数：①鑑賞コース：児童626人、引率54人、その他2人

②表現コース：児童76人、引率11人、その他0人



## ② 彫美連続講座2022

彫刻の見方、楽しみ方を学び、芸術鑑賞の幅を広げる連続講座を実施した。

## (1) 「本郷新のメッセージを聴く」

反戦・平和を謳う本郷新作「わだつみのこえ」像を軸に、本郷新の生き様や彫刻芸術の社会での受容、さらに学校教育との関係について講話した。

期 日：令和4年5月7日（土）10:30～12:00

会 場：札幌市民交流プラザ SCARTS スタジオ

講 師：佐藤広也（全道学校図書館協会幹事）

受講料：500円（会場聴講、オンライン聴講とも）

受講者数：59人（会場聴講40人、オンライン聴講19人）



## ④札幌市民カレッジ講演会

札幌市生涯学習センターとの連携事業として札幌市民カレッジの講座のひとつを当館学芸員が担当。学芸員の立場から展覧会づくりの舞台裏について講話した。

## (1) 裏側から楽しむ美術館の世界

## ～展覧会のつくりかた～

期 日：令和4年8月29日（月）10:00～12:00

会 場：札幌市生涯学習センター

講 師：岩崎直人（本郷新記念札幌彫刻美術館学芸員）

受講料：1,100円

受講者数：15人

## ⑤野外彫刻のメンテナンスを学ぶ

ブロンズ彫刻の制作や屋外に設置された彫刻の保存に関する講演会とその実践を行った。

期 日：令和4年10月1日（土）

10:30～12:00、13:00～15:00

会 場：本館研修室、記念館庭園

主 催：本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）、札幌彫刻美術館友の会

講 師：黒川弘毅（武蔵野美術大学造形学部）

受講料：無料

受講者数：22人

関連記事：「1日に屋外彫刻手入れのセミナー」北海道新聞2022年9月29日、吉村卓也「まちの文化財を守る」朝日新聞2022年11月21日

## ⑥さっぽろ雪まつり出品

新規

さっぽろ雪まつり実行委員会との連携事業として、当館が選出した美術家や工芸家が、芸術性と独創性あふれる雪像彫刻3基を「第73回さっぽろ雪まつり」に制作・出品した。

期 日：令和5年2月4日（土）～11日（土・祝）  
8日間

会 場：大通会場3丁目

第73回さっぽろ雪まつり入場者数：1,750,000人

出品作家：清水宏晃（木工家）、清水郁太郎（木工家）、熊谷文秀（造形作家）



## ⑦図書・情報コーナー

本郷新および彫刻美術館に関する図書や北海道内に設置された野外彫刻の写真資料を公開し、来館者の閲覧に供した。これまでは、曜日を特定しての限定公開であったが、令和3年10月からは常時開設とした。

期 日：通年

会 場：記念館2階 図書・情報コーナー

5 協力事業

① 学校教育への協力

三角山・大倉山・宮の森小学校における総合的な学習の時間や社会科等の授業、宮の森・啓明・向陵中学校における職場体験、聖心女子学院中学校による彫刻清掃ボランティア活動、北海道高等学校文化連盟石狩支部美術専門部の団体鑑賞の受け入れ、大学での調査・研究、博物館実習の受け入れなど学校教育への協力をやってきたが、今年度も新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、規模の縮小もしくは中止を余儀なくされた。

そのなかにあって、三角山小学校は、児童の来館は控えつつも、引き続き、当館を「調べ学習」の題材として取りあげた。学習のまとめとして児童が製作した粘土像の作品展「本郷新の思いへ JUMP 笑顔と成長の彫刻展」を本館研修室にて開催した。

(1) 聖心女子学院中学校2年生による彫刻清掃ボランティア活動

期 日：令和4年6月21日(火)

参加者数：生徒8人、引率者3人



(2) 学芸員資格取得希望の大学生を対象とした博物館実習(館園実習)生の受け入れ

期 日：①第1期 令和4年6月1日(水)、2日(木)、3日(金)、8日(水)、9日(木)、10日(金)計6日間37.5時間

②第2期 令和4年8月29日(月)、31日(水)、9月6日(火)、7日(水)、8日(木)、9日(金)計6日間34時間

③第3期 令和4年12月13日(火)、16日(金)、21日(水)、22日(木)、23日(金)計5日間30時間

参加者数：大学生4人(①八洲学園大学、②京都ノート

ルダム女子大学、北海道教育大学岩見沢校、③札幌大学)

(3) 三角山小学校3年生の総合的な学習の時間枠での博物館利用

期 日：令和4年①6月22日(水)、②6月24日(金)、③7月1日(金)、④12月6日(火)、⑤12月14日(水)、⑥12月15日(木)、⑦12月16日(金)、⑧12月20日(火)、⑨令和5年1月27日(金)、⑩2月10日(金)

参加者数：児童延べ363人、引率者延べ18人

(4) 三角山小学校作品展「本郷新の思いへ JUMP」笑顔と成長の彫刻展

期 日：令和4年12月17日(土)、18日(日)

入場者数：109人

② ボランティアの受け入れ

団体、個人等のボランティア活動の受け入れ、対応を行った。なお、令和3年度より、図書・情報コーナーの常時開設に伴い、「図書・情報コーナーボランティア」と「スクラップブックボランティア」を一本化し、「資料整理ボランティア」と改称した。また、オーストラリア発のボタニカルスキンケアブランド「Aesop(イソップ)」札幌店の従業員による社会奉仕活動を受け入れ、本館での資料整理、記念館展示の石膏像清掃、庭園設置のブロンズ像清掃などを行った。



(1) 資料整理ボランティア受け入れ

活動者数：延べ72人

(2) 解説ボランティア受け入れ

活動者数：延べ7人

(3) ハロー!ミュージアム協力員(教育サービス部)の受け入れ

活動者数：延べ65人

(4) 一般企業による社会奉仕活動の機会と場の提供

期 日：①令和4年7月2日(土)、②15日(金)、③

28日(木) 各日10:00~12:30

活動者数：①3人、②4人、③4人

## 6 利用促進事業

### ① サンクスデー（夏）

日頃の感謝を込めて、開館記念日（6月29日）にほど近い日曜日を無料開館し、さまざまな催しを実施し、賑わいを創出した。

期 日：令和4年6月26日（日）

入場者数：本館151人、記念館123人

- （1）館長のとっておきの話「なぜ美術館でマンガやアニメの展示会がひらかれるのか」

時 間：15:00～16:00

会 場：本館 研修室

講 話：吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館 館長）

参加者数：25人

- （2）寝室スペース公開+映像上映

時 間：10:00～17:00（開放）

会 場：記念館 2階

上映作品：

「現代彫刻・創る 本郷新の世界」（1973年、30分）

「せたがや文化人 人と風土 本郷新」（1982年、20分）

- （3）ものづくり体験 ポリヘドロン・ボックス

時 間：10:00～17:00

会 場：本館 ロビー

参加者数：40人

- （4）パン販売

時 間：10:00～17:00

会 場：本館 ロビー

販売物：ミニパン詰め合わせ30袋（1袋4個入、500円）

製造者：ブランジェリー ラ・フォンティヌ・ドゥ・ルルド

- （5）ワインとチーズの出張販売

時 間：10:00～17:00

会 場：本館 ロビー

販売物：①本郷新記念札幌彫刻美術館オリジナルラベルワイン39本（1本1,890～2,390円）

赤（ラベル「鳥を抱く女」）、白（ラベル「月」）、  
ナイアガラ（ラベル「泉の像」）

- ②チーズ（1個800～1,500円程度）

製造者：ばんけい峠のワイナリー

- （6）札幌アートコミュニケーター★プログラム

①鑑賞サポート「のぞく、感じる、伝える、体験。」

時 間：10:00～17:00

会 場：本館、記念館

指 導：札幌アートコミュニケーターズ（6人）

参加者数：130人

- ②動画製作・配信「「ちょうび」って知ってるかい？」

配信期間：令和4年6月19日（日）～26日（日）

映像時間：4分15秒

配信方法：YouTube

関連記事：北海道新聞さっぽろ10区イベントガイド2022年6月24日、佐藤圭史「彫刻もっと身近に」北海道新聞2022年7月1日夕刊



### ② サンクスデー（秋）

日頃の感謝を込めて、文化の日を無料開館し、さまざまな催しを実施し、賑わいを創出した。

期 日：令和4年11月3日（木・祝）

入場者数：本館253人、記念館241人

- （1）館長のとっておきの話ギャラリーツアー「本郷新の夢のアトリエへようこそ」

時 間：①11:00～12:00、②15:00～16:00

会 場：本館、記念館

講 話：吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館 館長）

参加者数：①32人、②25人

- （2）ものづくり 小さなペーパーバッグ

時 間：10:00～17:00

会 場：本館 研修室

参加者数：65人

- （3）食べる彫刻オリジナルパン販売

時 間：10:00～17:00

会 場：本館 ロビー

販売物：本郷新《北方シリーズ へんな人》を象ったパン30個（300円）

製造者：cafe スロープ

- （4）洗って味わう 彫刻のカタチ

時 間：13:30～14:30

会 場：本館 前庭

参加者数：10人

## 芸術の森事業部

### 主催事業

(5) 札幌アートコミュニケーターズ★プログラム

①鑑賞サポート「のぞく、感じる、伝える、体験。」

時 間：10:00～17:00

会 場：記念館

指 導：札幌アートコミュニケーターズ（4人）

参加者数：209人

②動画製作・配信「本郷新が過ごした空間を感じて」、  
「おはよう、おはよう」

配信期間：令和4年10月22日（土）～12月11日（日）

映像時間：6分12秒、11分35秒

配信方法：YouTube

関連記事：北海道新聞さっぽろ10区イベントガイド2022  
年10月28日



## 7 広報活動

### ①ホームページ、SNSの活用

平成30年度にリニューアルしたホームページにより、札幌彫刻美術館で行う展覧会等の事業の情報のほか、本郷新に関する情報を積極的に発信した。また、Twitter、Facebook、Instagram等のSNSを活用し、こまめな情報発信によりPRを行った。

### ②地域住民への情報提供

町内会や近隣小学校等への事業チラシ配布や、町内会だよりの活用により、地域住民への情報提供に努めた。

## 8 刊行物

刊行物	規格	頁数	編集・発行
図録「生誕100年 藤川叢三 テキスト集」	A5判横	44頁	編集／本郷新記念札幌彫刻美術館 発行／藤川叢三作品を守る会
図録「建築家上遠野徹と本郷新の宮の森のアトリエ」	B5判	44頁	編集／本郷新記念札幌彫刻美術館 発行／公益財団法人札幌市芸術文化財団
図録「New Eyes 視線のはなし」	A5判横	50頁	編集／本郷新記念札幌彫刻美術館 発行／公益財団法人札幌市芸術文化財団

## 9 資料収集状況

技法的区分	点数	素材別内訳数		取得別内訳数		
		素 材	点数	受贈	受託	铸造
彫刻	669	ブ ロ ン ズ	154	141	1	12
		コンクリート	3	2	1	
		樹 脂	4	3	1	
		木	14	14		
		石	10	9	1	
		石 膏	365	163	202	
		テラコッタ	64	57	7	
		レ リ ー フ	50	34	16	
		その他	5	5		
油彩	126	—	126	108	18	
素描	985	—	985	122	863	
版画	93	—	93	37	56	
画皿	6	—	6	5	1	
書	6	—	6	6		
合計	1,885		1,885	706	1,167	12

## 10 新収蔵資料

該当なし

## 11 資料の保存・修復

該当なし

## 12 資料の貸与

作家名	資料名	貸与先	貸与期間	目的（会場）
本郷新	鳥を抱く女	宮の森明和会	4月1日～2023年3月31日	宮の森明和地区会館前への設置のため（継続）

## 13 資料の寄託

作家名	資料名	寄託先	寄託期間	目的
三岸好太郎	札幌校外	北海道立三岸好太郎美術館	1989年10月11日～	広く道民の鑑賞に供するため
本郷新	奏でる乙女	札幌市中央区土木部土木事業所	1989年4月1日～	「彫刻の道」の景観づくりに資するため（市道宮の森3・4条12丁目線内の花壇中央）

